

IT の経済分析に関する調査
報 告 書

平成 16 年 3 月

総務省 情報通信政策局 情報通信経済室

委託先 株式会社トリサーチ研究所

IT の経済分析に関する調査 報告書

目 次

第1章 日米の IT 投資及び情報通信資本ストックの比較

1. 情報通信資本ストックの推計.....1
2. 日米の IT 投資の動向.....12
3. 日米の情報通信資本ストックの動向.....15

第2章 情報化投資による経済成長、生産性、雇用に対するインパクト分析

1. 分析の目的.....19
2. 生産関数による分析.....19
3. 産業連関モデルによる分析.....29

第3章 ユビキタスネットワーク関連市場のインパクト分析

1. 分析の目的.....31
2. 分析のフレームワーク.....31
3. ユビキタスネットワーク関連市場規模.....34
4. 産業連関モデルによる経済インパクトの予測.....36

第4章 情報通信産業の経済規模等の分析

1. 日本における情報通信産業の範囲.....41
2. 日本における情報通信産業の国内生産額、国内総生産、雇用者数の推計方法.....42
3. 米国における情報通信産業の範囲と国内生産額、国内総生産雇用者数の推計方法.....46
4. 日米における情報通信産業の比較.....47
5. 日本における情報通信産業と一般産業との比較.....61

第5章 電子商取引市場規模の試算

1. 推計方法.....73
2. 推計結果.....73

< 付属資料 目次 >

1. 情報化投資(日本).....	75
2. 情報化投資(米国).....	76
3. 情報通信資本ストック(日本).....	77
4. 情報通信資本ストック(米国).....	78
5. 名目国内生産額(日本).....	79
6. 実質国内生産額(日本).....	80
7. 名目GDP(日本).....	81
8. 実質GDP(日本).....	82
9. 雇用者数(日本).....	83
10.労働生産性(日本).....	84
11.実質国内生産額(米国).....	85
12.実質GDP(米国).....	86
13.雇用者数(米国).....	87
14.名目国内生産額の他産業との比較.....	88
15.実質国内生産額の他産業との比較.....	89
16.名目GDPの他産業との比較.....	90
17.実質GDPの他産業との比較.....	91
18.雇用者数の他産業との比較.....	92
19.労働生産性の他産業との比較.....	93
20.DVD ビデオ、薄型テレビの輸出額、数量、単価.....	94
21.デジタルカメラ、カーナビの輸出額、数量、単価.....	95
22.DVD ビデオ 輸出額、数量、単価の指数(グラフ).....	96
23.薄型テレビ 輸出額、数量、単価の指数(グラフ).....	97
24.デジタルカメラ 輸出額、数量、単価の指数(グラフ).....	98
25.カーナビゲーションシステム 輸出額、数量、単価の指数(グラフ).....	99

第 1 章 日米のIT投資及び情報通信資本ストックの比較

第1章 日米のIT投資及び情報通信資本ストックの比較

1. 情報通信資本ストックの推計

1.1. 推計対象

投資主体を民間法人企業と個人企業とし、民間部門の生産に関わる情報通信資本ストックを推計する。

1.2. 推計方法

資本ストックは、ある時点の再生産可能な資本財のストック量を示したものである。推計にあたっては、各期首において既存の資本ストックの持つ資本サービスが生産要素として投入され、期末にその資本サービス量に対して、資本サービス価格が支払われ、同時に投資がなされるとともに設備年齢が1つだけ加算される(vintage model)ものと仮定する。

下式は恒久棚卸法(Perpetual inventory method)による情報通信資本ストックの推計式である。この推計式が示すように資本ストックは設備投資額の時系列データと耐用年数および償却率の3つの要素から推計するものである。

・ 式：

$$K_t^i = I_t^i + (1 - d_1^i)I_{t-1}^i + (1 - d_2^i)I_{t-2}^i + \dots + (1 - d_{s_i}^i)I_{t-s_i}^i$$

i ：情報通信資本財 i であることをしめす

K_t ： t 時点の資本ストック

d_j ：設備年齢 j 年の累積償却率、 $j \in \{1, 2, \dots, s\}$

I_t ： t 年の設備投資額（新設設備と中古設備の区別をしない）

s ：耐用年数

財別に資本ストックを推計し、その和集計を求める。和集計が意味を持つためには、異なるタイプの財間または各設備年齢間で資本サービスが完全代替であることが必要条件である。

1.3. 情報通信資本財の範囲

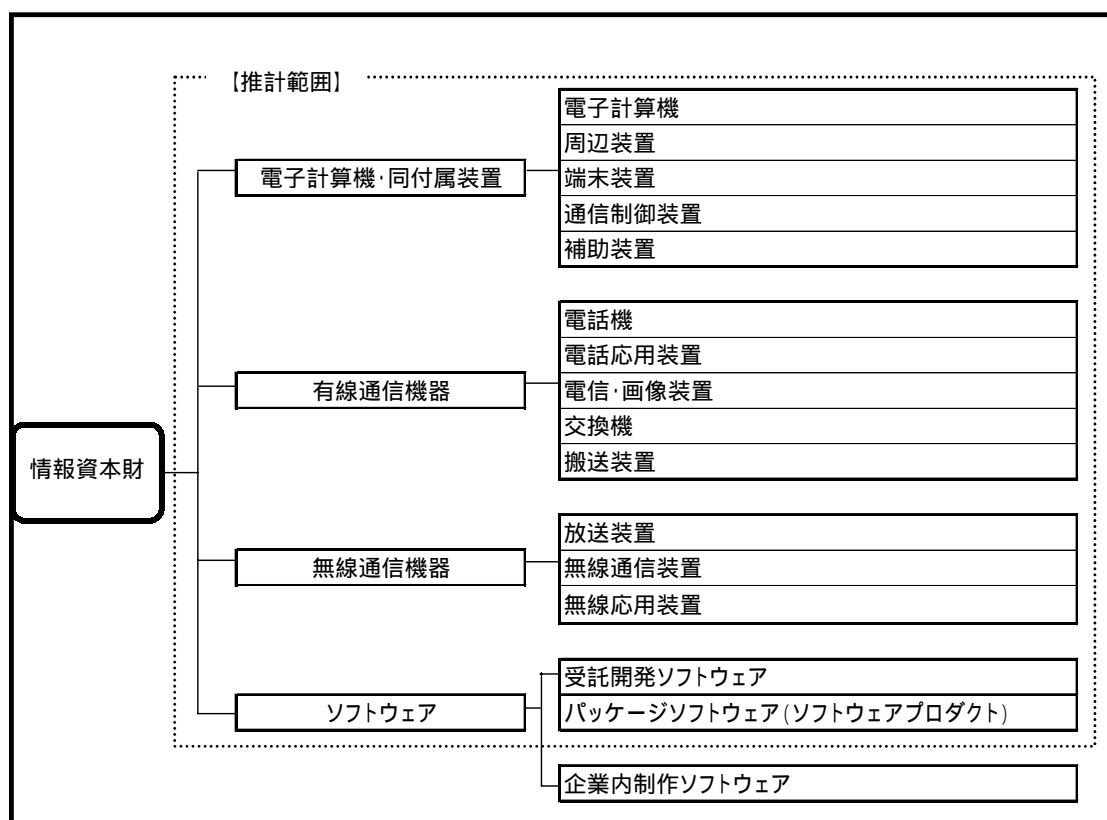
1.3.1. 定義と対象範囲

- ・ 情報通信資本財を「情報通信ネットワークに接続可能な電子装置及びコンピュータ用ソフトウェア」と定義する。
- ・ 上記の定義に基づく情報通信資本財の範囲は下図に示すとおりである。このうち、ソフ

トウェアについては、統計上の制約から受託開発ソフトウェアとパッケージソフト¹を推計範囲とし、自社開発ソフトウェアは除外する。

- ・ なお、後に投資額及びストック量について日米比較を行う都合上、米国国民所得統計（NIPA: National Income Product Accounting）で記載されている「情報処理機器及びソフトウェア」との違い、さらには日米における標準産業分類の違いを記す。

図表 1-1 情報通信資本財の範囲



1.3.2. 米国の NIPA（国民所得計算）における情報通信資本財の範囲

「情報処理機器及びソフトウェア」の概要

米国の NIPA では民間国内投資の内訳として「情報処理機器及びソフトウェア」という項目が設けられている。この項目が米国の公的統計における情報通信資本財に対する民間固定資本形成である。この項目の中はさらに「コンピュータと周辺機器」「ソフトウェア」「その他」の 3 つに分かれているが、商務省経済分析局（BEA: Bureau of Economic

¹ 2000 までに行った推計では受託開発ソフトウェアのみを範囲としていた。

Analysis)によると、「情報処理機器及びソフトウェア」には下記の財が含まれる。

- computers and peripheral equipment
- software
- communications equipment
- scientific instruments
- photographic and photo processing equipment

「情報処理機器及びソフトウェア」の詳細な財構成

上記のそれぞれの財は米国産業分類に対応して範囲が定められていると考えられる。1987年米国標準産業分類(U.S.SIC)から該当すると思われる部門をリストアップしたのが次表である。

なお、商務省センサス局(Census Bureau)の「米国統計総覧1999」(Statistical Abstract of the United States:1999)²にある表917及び表918³にはIT産業(Information Technologies Industries)の部門構成が示されている。これを参考として表中の各財に該当すると思われるものに“y”を、そうでないものに“n”記入した。

ソフトウェアのNIPAへの計上

NIPAへのソフトウェアの計上は93SNAの国連勧告に基づく改定措置である。BEAのRobert Parker氏の論文「Recognition of Business and Government Expenditures for Software as Investment: Methodology and Quantitative Impact,1959-98」(ソフトウェアへの民間及び政府支出に対する投資としての認知；方法論及び量的インパクト1959-98)から、上記のソフトウェアには下記の3種類のソフトウェアが含まれていることがわかる。

- Prepackaged software (パッケージソフトウェア)
- Custom software (受注開発ソフトウェア)
- Own-account software (社内開発ソフトウェア)

このうち、パッケージソフト及び受注開発ソフトウェアは統計として補足されてきたものであるが、社内開発ソフトウェアについては、BEAによる開発経費(人件費、消耗品、減価償却、税金、コンサルタント・人材派遣等の人件費、間接経費など)からの推計値である。

一方、我が国のSNAではソフトウェアのうち投資財として計上されているのは受注開発ソフトウェアとパッケージソフトウェアに限定されており、この違いには特に注意を要する。

米国の場合、パッケージソフトウェアの割合は1998年で26%(市場価格ベース)であり、しかもパッケージ系価格は他がやや価格を上げている中でパソコンの普及に伴う規模の経済性により1992-98年で年率6.8%の割合で低廉化しており、この価格指数を用いて実質

² 1999年後の同資料も同様。

³ 「米国統計総覧2002」では表1096,表1097に相当。

ベースでみると、パッケージソフトを投資に加えるか否かではGDP成長率の計測でも無視し得ない違いが生じると考えられることから、わが国の推計については、2000年（平成14年の調査研究）からはこのパッケージソフトについても対象範囲に組み入れている。

図表 1-2 米国のNIPAにおける「情報処理機器及びソフトウェア」の範囲

1987 SiC CODE	1987 U.S. SIC Description	Correspondence
Computers and peripheral equipment		
3571	Electronic Computers	y
3572	Computer Storage Device	y
3575	Computer Terminals	y
3577	Computer Peripheral Equipment, NEC	y
Software		
Communication equipment		
3661	Telephone and Telegraph Apparatus	y
	Telephone and Telegraph Apparatus, Except Telephone Transformers, and Consumer External Modems	y
	Telephone Transformers	y
	Consumer External Modems	y
3663	Radio and Television Broadcasting and Communication Equipment	y
3669	Communications Equipment, NEC	n
Instruments		
3812	Search, Detection, Navigation, Guidance, Aeronautical, and Nautical Systems and Instruments	n
3821	Laboratory Apparatus and Furniture	n
3822	Automatic Controls for Regulating Residential and Commercial Environments and Appliances	n
3823	Industrial Instruments for Measurement, Display, and Control of Process Variables; and Related Products	y
3824	Totalizing Fluid Meters and Counting Devices	n
3825	Instruments for Measuring and Testing of Electricity and Electrical Signals	y
3825	Portable Instrument Transformers	y
3825	Except Portable Instrument Transformers	y
3826	Laboratory Analytical Instruments	y
3827	Optical Instruments and Lenses	n
3829	Measuring and Controlling Devices, NEC	n
3829	Medical Thermometers	n
3829	Except Medical Thermometers	n
3841	Surgical and Medical Instruments and Apparatus	n
3842@	Orthopedic, Prosthetic, and Surgical Appliances and Supplies, except	n
3842@	Electronic Hearing Aids	n
3842@	Orthopedic, Prosthetic, and Surgical Appliances and Supplies	n
3843	Dental Equipment and Supplies	n
3844	X-Ray Apparatus and Tubes and Related Irradiation Apparatus	n
3845	Electromedical and Electrotherapeutic Apparatus	n
3845	CT and CAT Scanners	n
3845	Other Electromedical and Electrotherapeutic Apparatus	n
3851	Ophthalmic Goods	n
Photocopy and related equipment		
3861	Photographic Equipment and Supplies	y
3861	Photographic Equipment and Supplies (Except Photographic Film, Paper, Plate and Chemicals)	y
Office and accounting equipment		
3578	Calculating and Accounting Machines, Except Electronic Computers	y
	Point of Sales Terminals and Fund Transfer Devices	y
	Calculating and Accounting Machines, Except Point of Sales Terminals and Fund Transfer Device	y
3579	Office Machines, NEC	y
	Pencil Sharpeners, Staplers, and Other Office Equipment	y
	Time Clocks and Other Time Recording Device	y
	Other Office Machines	y

1.3.3. 情報通信資本財における日米の統計上の問題と対応

電子計算機・同付属装置

下表は日本標準産業分類に照らした電子計算機・同付属の財構成と NAICS(North American Industry Classification System)との対応をしめたものである。日本の方は経済産業省の動態調査における財区分である。

図表 1-3 電子計算機・同付属装置の財構成と米国部門の対応

1995 J SIC コード	部 門	1997 NAICS CODE	1987 U.S.SIC CODE	1987 U.S. SIC Description
305	電子計算機・同付属装置			Computers and peripheral equipment
	電子計算機	334111	3571	Electronic Computers
	汎用コンピュータ			Computers: digital, analog, and hybrid
	ミニコンピュータ			Mainframe computers
	オフィスコンピュータ			Microcomputers
	ワークステーション			Minicomputers
	パーソナルコンピュータ			Personal computers
	周辺装置			
	外部記憶装置	334112	3572	Computer Storage Device
	固定磁気ディスク装置			Auxiliary computer storage units
	フレキシブルディスク装置			Computer storage units
	光ディスク装置			Disk drives, computer
	その他			Drum drives, computer
				Magnetic storage devices for computers
				Optical storage devices for computers
				Recorders, tape; for computers
				Tape storage units, computer
	入出力装置	334113	3575	Computer Terminals
	印刷装置			Cathode ray tube (CRT) teleprinter, multistation
	表示装置 (CRT,液晶ディスプレイ)			Computer terminals
	その他の入出力装置 (OCR,イメージスキャナー等)			Multistation CRT/teleprinters
				Teleprinters (computer terminals)
		334119	3577	Computer Peripheral Equipment, NEC
				card punching and sorting machines
				Card-type conversion equipment, computer peripheral equipment
				Computer output to microfilm units, computer peripheral equipment
				Computer paper tape punchers and devices, computer peripheral
				Decoders, computer peripheral equipment
				Disk pack inspectors, computer peripheral equipment
				Document entry conversion devices, computer peripheral equipment
				Graphic displays, except graphic terminals: computer peripheral
				Input/output equipment, computer: except terminals
				Key-disk or diskette equipment, computer peripheral equipment
				Key-tape equipment: reel, cassette, or cartridge
				Keying equipment, computer peripheral equipment
			Key punch/verify cards, computer peripheral equipment	
			Magnetic ink recognition devices, computer peripheral equipment	
			Media-to media data conversion equipment, computer peripheral	
			Optical scanning devices, computer peripheral equipment	
			Plotter controllers, computer peripheral equipment	
			Plotters, computer	
			Printers, computer	
			Punch card equipment: card readers, tabulators, collators, sorters, and	
			Tape cleaners, magnetic: computer peripheral equipment	
			Tape print units, computer peripheral equipment	
通信制御装置				
端末装置				
汎用端末装置				
専用端末装置				
金融用端末装置 (CD,ATM等)				
ハンディターミナル				
その他の専用端末装置 (流通POS端末等)				
補助装置				
				Other Office Equipment
	333313	3578	Calculating and Accounting Machines, Except Electronic Computers	
			Accounting machines, operator paced	
			Adding machines	
			Automatic teller machines (ATM)	
			Billing machines	
			Bookkeeping machines	
			Calculating machines, operator paced	
			Cash registers, including adding machines with cash drawers	
			Change making machines	
			Coin counters	
			Funds transfer devices	
			Point-of-sale devices	
			Registers, credit account	

【日米の違い】

日本の分類には通信制御装置が含まれている。経済産業省によるとこの通信制御装置にはルータなどが含まれるとのことである。ルータなどは通信機器とみなすか電子計算機の付属装置とみなすか統計調査上あいまいであるため計上されている模様である。これらは米国では通信機器に計上される。

また、日本では端末装置が含まれている。米国でも **Computer Terminals** という分類があるが内容において大きな違いがあり、米国の場合は日本でいう入出力装置がこれに該当する。日本でいう端末装置には流通用の POS や金融用の ATM も含まれ、米国ではこれらは事務用機器に含まれる。

【本調査の対応】

- ・ 通信制御装置は有線通信機器とする（概念的というより調査技術上の問題であったため）。端末装置は米国で事務用機器の中の POS や ATM だけを取り出して補足するのは難しいことから、特別な推計は行わない。その分析への影響は端末装置の割合は生産額ベースで 2002 年において 7.3%程度（日本）であることから、結果に影響を与えることにはならないと考えた。

通信機器

次表は日本標準産業分類に照らした有線通信機器製造業及び無線通信機器製造業の財構成と NAICS の対応をしめたものである。日本の方は経済産業省の動態調査における財区分と同じである。

【日米の違い】

米国では一般的に通信機器という場合には火災報知機や交通信号装置等の「他に分類されない通信機器」も含める。ただし、米国の統計ではこの「他に分類されない通信機器」を IT 産業に含めているものと含めないものがあり、概念的には「情報処理機器及びソフトウェア」に含めている可能性が高い。

一方、日本では無線応用装置として方向探知機や航行用無線機器が含まれる。これらは米国では通信機器ではなく、「1997NAICS コード:334511 Search, Detection, Navigation, Guidance, Aeronautical, and Nautical Systems and Instrument Manufacturing」として扱われる。

米国の諸統計は、1987SIC コードから 1997NAICS コードに移行が進んでいる。NAICS の有線通信機器製造業（電話装置製造業：33421 Telephone Apparatus Manufacturing）は、SIC の 3661 Telephone and Telegraph Apparatus の一部を 334418 Printed Circuit Assembly (Electronic Assembly) Manufacturing の一部として除いたものである。つまり、この分だけ NAICS コードでは狭い範囲に変更されている。

図表 1-4 通信機器の財構成と米国部門の対応

1995 JSIC コード	部 門	1997 NAICS CODE	1987 U.S.SIC CODE	1987 U.S. SIC Description
3041	有線通信機器	33421	3661	Telephone and Telegraph Apparatus
	電話機			Auto-transformers for telephone switchboards
	コードレス送受話器付きの有線電話機			Carrier equipment, telephone and telegraph
	その他のもの			Communications headgear, telephone
	電話応用装置			Data sets, telephone and telegraph
	ボタン電話装置			Facsimile equipment
	留守番電話装置			Headsets, telephone
	インターホン			Message concentrators
	その他の電話応用装置			Modems
	電信・画像装置			Multiplex equipment, telephone and telegraph
	ファクシミリ			Switchboards, telephone and telegraph
	テレプリンター			Switching equipment, telephone
	その他の電信画像装置			Telegraph office switching equipment
	交換機			Telephone answering machines
	搬送装置			Telephone central office equipment, dial and manual
	3042			無線通信機器
放送装置		Amplifiers: RF power and IF		
ラジオ用送受信機器		Antennas, transmitting and communications		
テレビ用送受信機器		Broadcast equipment (including studio), radio and television		
テレビカメラ		Cable television equipment		
無線通信装置		Cameras, television		
移動電話		Carrier equipment, radio communications		
ワイヤレスマイクロホン		Cellular radio telephones		
長中短波送受信機器		Citizens' band (CB) radios		
超短波送受信機器		Closed circuit television equipment		
送受信機器(その他)		Digital encoders		
無線電電話用受信機		Encryption devices		
トランシーバ		Light communications equipment		
無線応用装置		Marine radio communications equipment		
レーダ		Microwave communications equipment		
ロランレーシーバ		Mobile communications equipment		
方向探知機		Multiplex equipment, radio		
その他の航行用無線機器		Pagers (one-way)		
無線遠隔制御装置		Phototransmission equipment		
			33429	3669
	Burglar alarm apparatus, electric			
	Fire alarm apparatus, electric			
	Fire detection systems, electric			
	Highway signals, electric			
	Intercommunications equipment, electronic			
	Marine horns, electric			
	Pedestrian traffic control equipment			
	Railroad signaling devices, electric			
	Signaling apparatus, electric			
	Signals: railway, highway, and traffic-electric			
	Sirens, electric: vehicle, marine, industrial, and air raid			
	Smoke detectors			
	Traffic signals, electric			

【本調査研究の対応】

- ・ 「他に分類されていない通信機器」については米国で通信機器から除外。
- ・ 「無線応用装置」については、日本の無線位置測定装置は2002年の生産額で通信機器全体の1.1%（332億円）を示すに過ぎないことから、日本側の推計にこれらを含めても結果に影響を与えることにはならないものとする。

ソフトウェア

米国では受託開発ソフトウェア、パッケージソフトウェア、社内開発ソフトウェアの3種類が投資財として扱われている。一方、我が国のSNA、産業連関表（総務庁）では統計的制約によるやむを得ない措置として受託開発ソフトウェアとパッケージソフトウェアのみを計上しており、本調査でも推計対象範囲を受託開発ソフトウェアとパッケージソフトウェアに限定する。

図表 1-5 ソフトウェアの日米部門対応

1995 JSIC コード	部 門	1997 NAICS CODE	1987 U.S.SIC CODE	Description
8211	受託開発ソフトウェア	541511		Custom Computer Programming Services
			7371	Computer Programming Services
8212	パッケージソフトウェア(ソフトウェアプロダクト)	51121 334611		Software Publishers Software Reproducing
			7372	Prepackaged Software, Software Publishing, Reproduction of Software
				Own-account software(in house)

1.4. 設備投資額の推計

1.4.1. 推計方法

情報通信資本財の民間設備投資額の推計は Commodity flow method（以下、コモ法と略す）をベースとする。すなわち、工場出荷額を出発点として

$$\begin{aligned} & \text{工場出荷額} + \text{輸入額} - \text{輸出額} - \text{中間需要} - \text{民間消費支出} - \text{政府消費支出} \\ & - \text{公的固定資本形成} - \text{在庫純増} + \text{流通マージン}（\text{運賃} + \text{商業マージン}） \end{aligned}$$

として推計する。

「全国産業連関表」の最終需要の推計は、内閣府のコモ法（平成2年基準で2,143品目に分けて推計）が基になっていることから、上記の産業連関表を基に財の産出先を推計する。また、米国でもコモ法から投資額が推計されており、基本的には日米の違いはない。

1.4.2. 推計

日本

次表に示す統計資料から各年次の投資額を推計する。価格指数を基準年価格による投資額推計に用いるものである。ソフトウェアの価格指数は、日本銀行の企業向けサービス価

格指数を用いるが、1990年以前については推計値がないため、1985年、1980年は産業連関表のデフレーターを使い、その間はGDPインプリシットデフレーターで補間推計を行った。1980年より以前については、GDPインプリシットデフレーターにより延長推計した。

また、産業連関表に基づく生産者価格ベースの投資額を、商業マージン表、国内貨物運賃表から流通マージンを加え、購入者価格とした。さらに、名目投資額を1995年基準価格に換算した。

図表 1-6 情報通信資本財の民間設備投資額推計資料

	推 計 資 料				
	生産額	輸出入額	産出係数	流通マージン率	価格指数
電子計算機・同付属装置 有線電気通信機器 無線電気通信機器	「産業連関表」 「接続産業連関表」 (総務省) 「延長産業連関表」 「工業統計表」 (経済産業省)	「貿易統計」 (財務省)	「産業連関表」 (総務省) 「延長産業連関表」 (経済産業省)	商業マージン表 (総務省) 国内貨物運賃表 (総務省)	国内卸売物価指数 (日本銀行)
ソフトウェア (コンピュータ用)	「特定サービス産業実態調査」 (経済産業省)	-	-	-	企業向けサービス価格指数 (日本銀行)

米国

主に下表の商務省資料を基に把握する。なお、商務省は2002年分から連鎖価格指数(Chain-typed Price Indexes)を公表していないことから、遡っての価格指数を用いて計算している。

図表 1-7 情報通信資本財の民間設備投資額推計資料

	推 計 資 料 (投資額、価格)
電子計算機・同周辺機器	Private Fixed Investment in Equipment and Software by Type(BEA) Price Indexes for Private Fixed Investment in Equipment and Software by Type(BEA)
電気通信機器	Recognition of Business and Government Expenditures for Software as Investment : Methodology and Quantitative Impact , 1959-98(BEA) Service Annual Survey(Census Bureau)
受託開発ソフトウェア パッケージソフトウェア	Annual Survey of Manufactures (Census Bureau) Producer price indexes(BLS)

民間部門の受託開発ソフトウェアとパッケージソフトに対する投資額は、1998年までは上記資料 から得ることができる。ただし、この資料は特別な調査論文であり、毎年実施されるものではないので、1999年以降については資料 から受託開発ソフトウェア、資料 からパッケージソフトを推計し、これらを1998年のそれぞれのソフトウェアに対する民間部門の割合で按分した後、これを同論文に倣いPPIのprepackaged applications softwareの価格指数により実質化した。なお、PPIは製造品については詳細な品目の系列が用意されているが、サービスについては、一部のサービスのみが推計対象となっており、残念ながら受託開発ソフトウェアは推計対象に含まれていない。

なお、図表1-6に示した各データは、一旦公表した後も、NIPA等の確報値が出ればそれにあわせて修正が施される。その結果は、前年に公表された数値と一致しないのが通常であり、本年も例に漏れない。

1.5. ストックの推計

1.5.1. 評価方法

1995年の暦年価格による純資産額（net stock）を推計する。なお、純資産額とは減価償却後の資産額である。

1.5.2. 推計式

- ・ 1.2に示した恒久棚卸法（PI法 perpetual inventory method）を用いる。

- ・ 式：

$$K_t^i = I_t^i + (1 - d_1^i)I_{t-1}^i + (1 - d_2^i)I_{t-2}^i + \dots + (1 - d_{s_i}^i)I_{t-s_i}^i$$

i ：情報通信資本財 i であることをしめす

K_t ： t 時点の資本ストック

d_j ：設備年齢 j 年の累積償却率、 $j \in \{1, 2, \dots, s\}$

I_t ： t 年の設備投資額（新設設備と中古設備の区別をしない）

s ：耐用年数

- ・ 財別に資本ストックを推計しその和集計を求める。

$$K_t = \sum_{i=1}^m K_t^i$$

1.5.3. 耐用年数及び償却率（service time and depreciation rate）

米国・商務省が資本ストック推計に用いている償却率は、実証研究の積み重ねから得られたものである。一方、わが国においては残念ながら、このような実証研究が乏しいため、ここではわが国・財務省令（旧大蔵省令）に基づく償却率を採用して、日米比較を行う。

情報通信資本財についてみると、米国の耐用年数及び償却率は日本よりも全般的に長い傾向が見られる。特に通信機器においては、たとえばファクシミリの耐用年数が財務省令

では5年であるのに対して、米国では15年とかなりの隔たり⁴がある。

なお、電子計算機及び同付属装置については、米国のように年率31.2%の定額で除却すると、4年目には資産価値はゼロとなり、日本の財務省令よりも早い償却となる。また、ソフトウェアは日米ともに5年で同じである。

図表 1-8 財務省令に基づく耐用年数、償却率と米国・商務省が採用している耐用年数、償却率

	日本		米国			
	耐用年数	償却率 (定率、残存10%)	耐用年数	償却率	除却 パターン	根拠
電子計算機本体	6	0.3187	7	0.3119	定額	B
電子計算機周辺機器	6	0.3187				
有線通信機器					定率	C
デジタル交換機	6	0.3187	11	0.1500		
ファクシミリ	5	0.3690	15	0.1100		
その他	10	0.2057				
無線通信機器						
放送用設備	6	0.3187	11	0.1500		
その他			15	0.1100		
受託開発ソフトウェア	5	0.3690	5	0.3300		

日本:大蔵省「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」(平成10蔵令第50号一部改正)

米国:商務省「the Survey of Current Business」(July 1997)

米国は中古市場価格に関する実証研究をもとに償却率を推計している

米国根拠B:BEAの実証研究(Jorgenson and Stiroh 1994,Oliner 1992)

米国根拠C:default option(Hulten-Wyckoffの実証研究等で多くの財が等比級数パターンを示したことが根拠)

本調査の耐用年数、減価償却率

日米ともに原則として日本の財務省令に準拠するものとする。ただし、電子計算機・同付属装置については米国・商務省の減価償却パターンを仮定。また、通信機器には様々な耐用年数の機器が含まれるが、一律6年として計算する。

図表 1-9 本調査研究の耐用年数、減価償却率

	耐用年数	償却率 (定率、残存10%)	除却 パターン
電子計算機本体	6	0.3119	定額
電子計算機周辺機器	6	0.3119	
有線通信機器	6	0.3187	定率
無線通信機器	6	0.3187	
受託開発ソフトウェア	5	0.3690	

⁴ 米国・BEAは当局の概念定義に基づいて情報通信資本財の純資本ストックを公表している。本調査の推計結果と比較すると、通信機器ストックにおいて耐用年数の違いを反映し大きな差がある。

2. 日米の IT 投資の動向

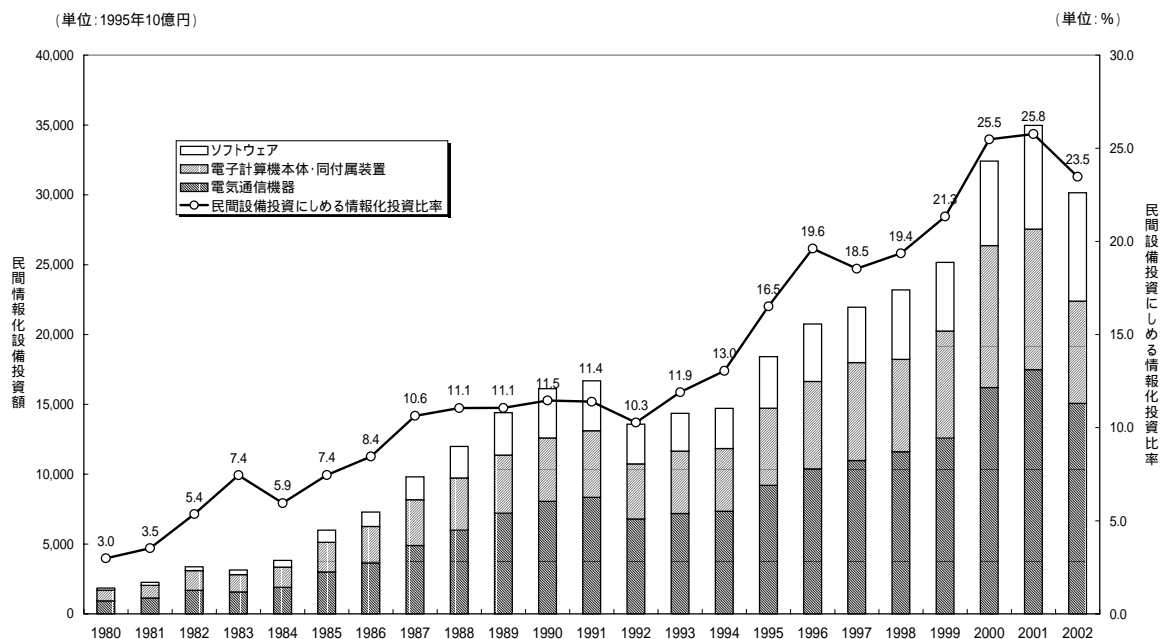
2.1. 日本の IT 投資

2002 年におけるわが国の民間部門による電子計算機・同付属装置、電気通信機器、ソフトウェアに対する IT 投資は民間企業設備投資の 23.5% に相当する 19.5 兆円(1995 年価格)である。その内訳は、ソフトウェア(受託開発及びパッケージソフト)が 7.8 兆円で最も多く、次いで電子計算機・同付属装置が 7.3 兆円、電気通信機器が 4.5 兆円となっている。

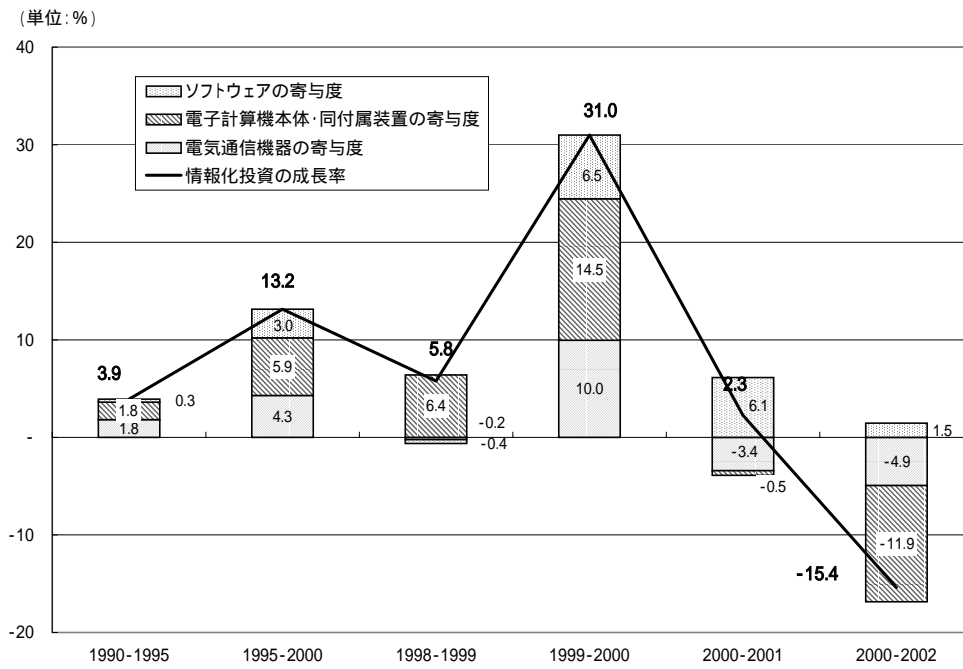
民間企業設備投資に占める IT 投資比率は、80 年代及び 90 年代を通して上昇傾向が見られる。IT 投資の伸びが 2000 年には 1999 年に続いて 2 割の大台を超えたため、IT 投資比率は上昇し、2001 年には 25.8% に達したが、2002 年には 5 年ぶりの減少となっている。

これは、2001 年から 2002 年の IT 投資の伸びが 15.4% と不況の煽りを受け大幅減少となったためである。減少に陥ったのは、電子計算機・同付属装置及び電気通信機器であり、それぞれ 27.3%、20.4% と 2 桁台の減少を記録し、前年の米国 IT 不況を大きく上回る落ち込みとなっている。

図表 1-10 日本の IT 投資の推移



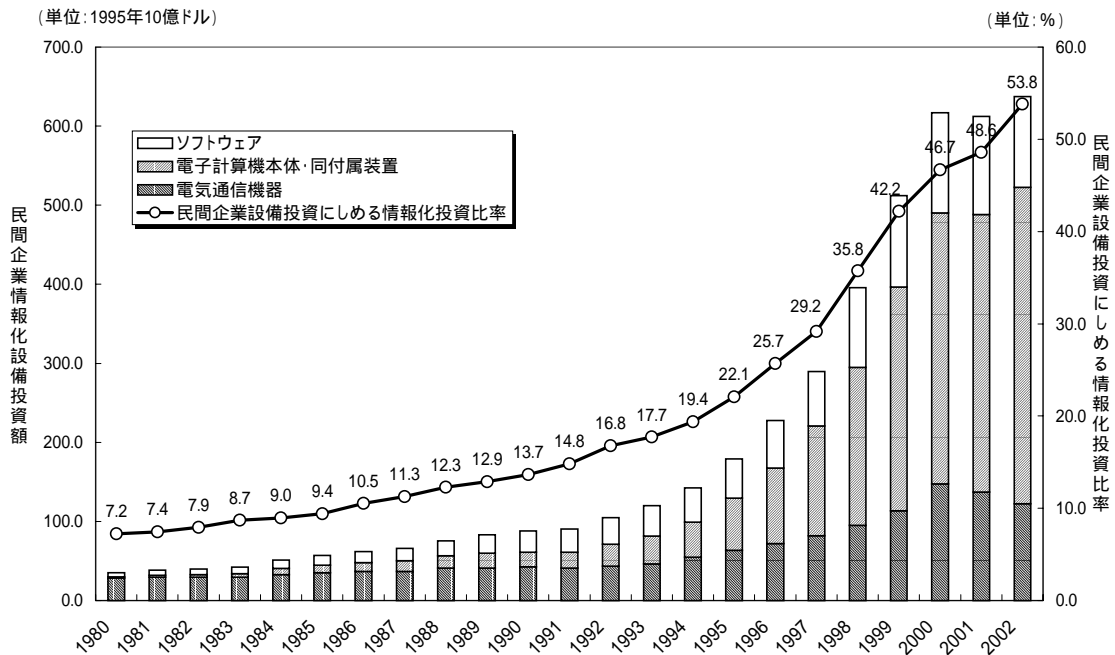
図表 1- 11 日本の IT 投資の伸び率



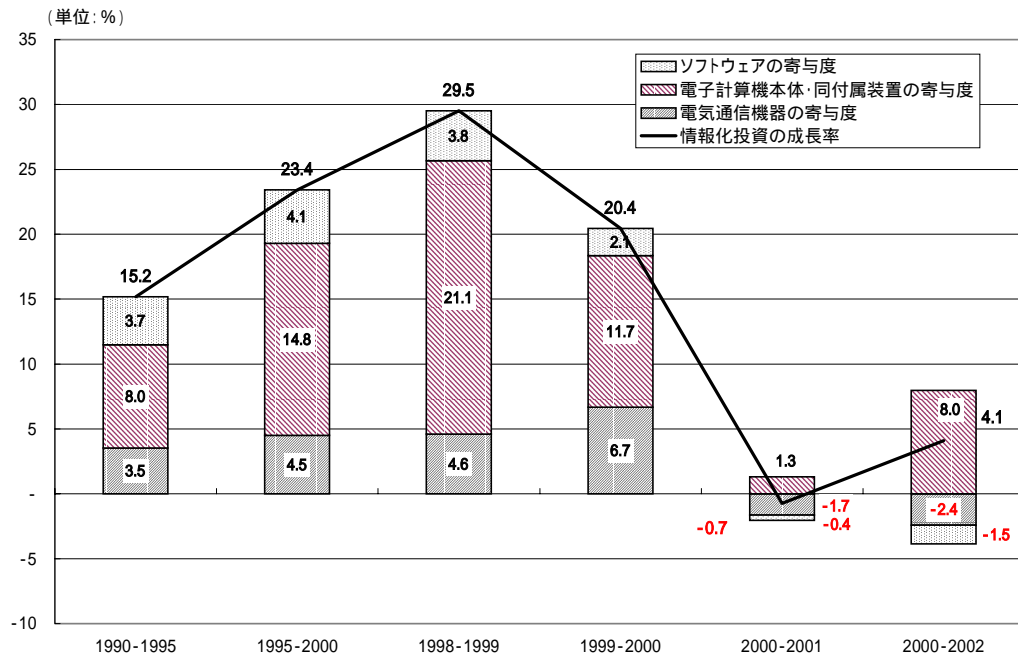
2.2. 米国の IT 投資

2002 年における IT 投資を 1995 年価格で見ると 6,375 億ドルであり、民間企業設備投資の 53.8%をしめている。前年は IT 不況によりそれまでの年率 2 割以上の高い伸びから一転して 0.7%の減少⁵となったが、2002 年には再び 4.1%の成長軌道に回復している。

図表 1-12 米国の IT 投資の動向



図表 1-13 米国の IT 投資の伸び率



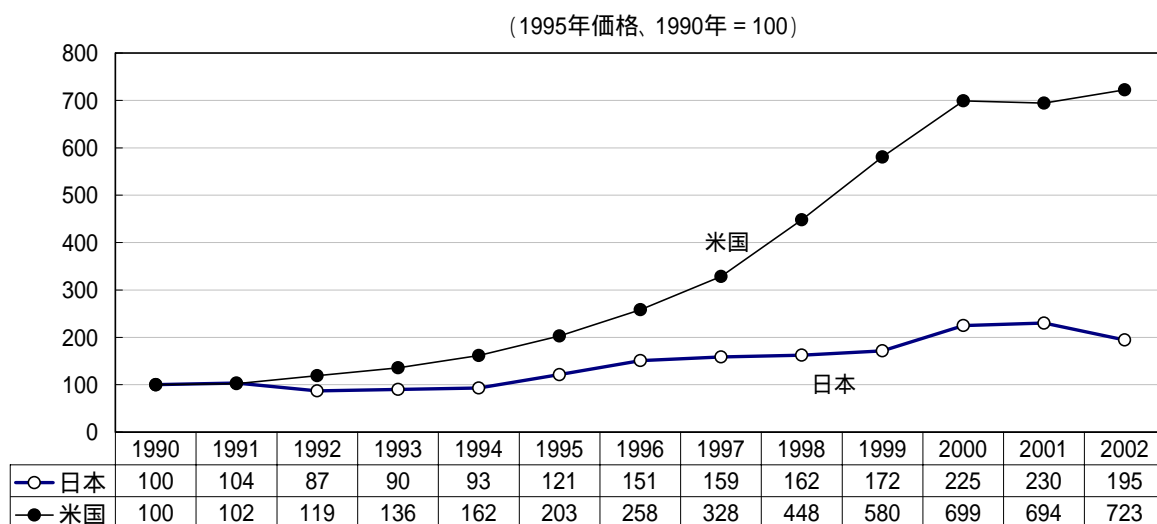
⁵ 名目価格の IT 投資額は 2001 年が 8.9%、2002 年 8.2%とともに前年割れ。価格低下が、実質 IT 投資額の伸びに貢献した形である。また、BEA の資料は前年公表の値に比べ上方に修正されている。

2.3. 日米の IT 投資の比較

2002 年における日本の IT 投資額は 1995 年価格で 19.5 兆円、一方の米国は 6,375 億ドルである。これを 2002 年の円為替レート（東京外為、銀行間、中心、平均）の 125.11 円/ドルで試算すると、約 79.8 兆円となり、おおよそ日本の 4.1 倍の規模である。

また、伸び率では、日本が 15.4% の大幅減少、一方の米国が 4.1% の増加となったため、再び日米格差は拡大している。

図表 1-14 日米の民間 IT 投資の伸び率比較



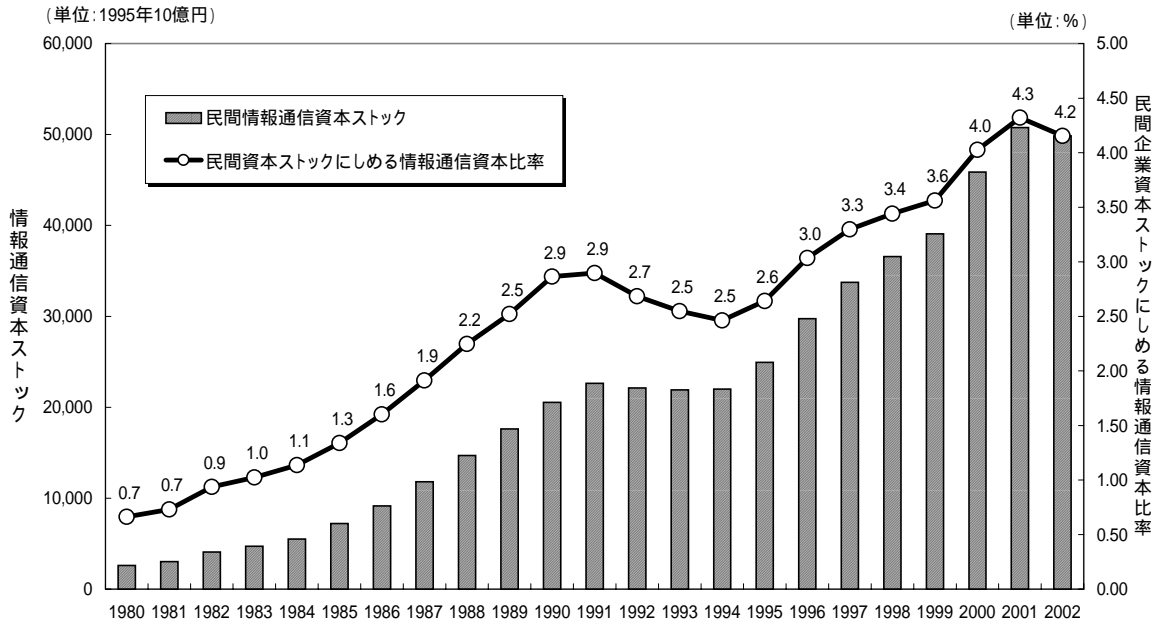
3. 日米の情報通信資本ストックの動向

3.1. 日本の情報通信資本ストック

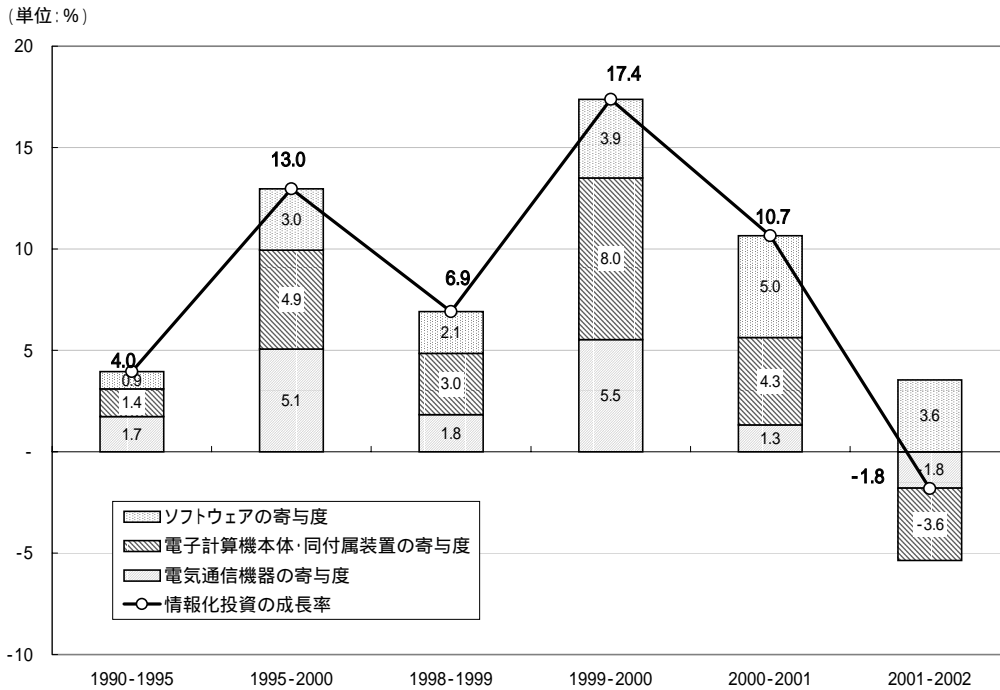
2002 年においてわが国の民間部門が所有する情報通信資本ストックは約 49.8 兆円（1995 年価格）で、民間資本ストックの 4.2% をしめる。

情報通信資本ストックは長期的には概ね右肩上がりの伸びを示してきたが、90 年代前半には、IT 投資がバブル経済崩壊による影響から停滞したこと、分散ネットワークシステムが普及したこと、またダウンサイジングが進んだことから、民間資本ストックにしめる情報通信資本ストックの比率は、この時期において減少している。しかし、90 年代後半以降の情報通信資本ストックの伸びは 2 桁台の成長を示し、さらに 2000 年代に入っても 2001 年まではこの勢いを維持してきた。しかし、2002 年には IT 投資の減少から 1.8% の前年割れに陥っている。

図表 1-15 日本の情報通信資本ストックの推移



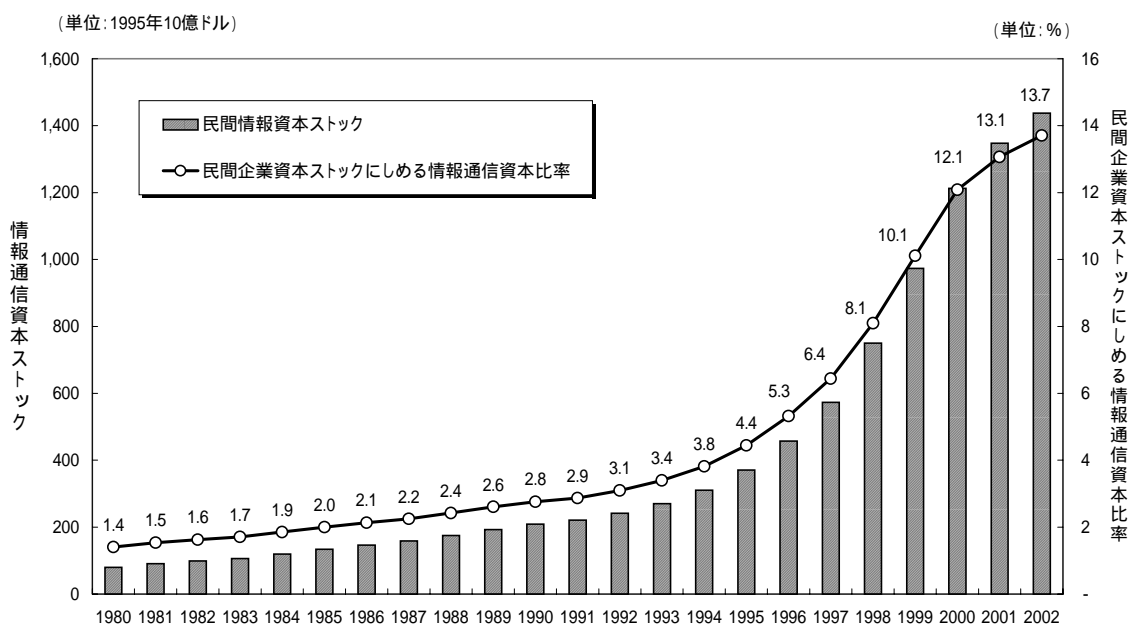
図表 1-16 日本の情報通信資本ストックの伸び



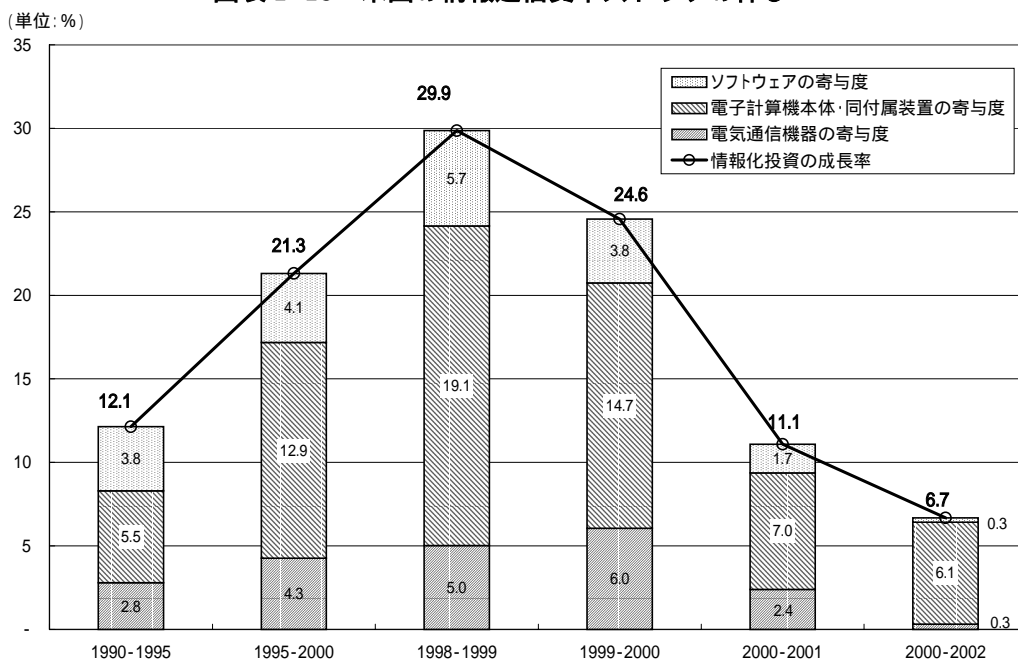
3.2. 米国の情報通信資本ストック

わが国の情報通信資本ストックの伸びが 90 年代前半で大きく停滞したのとは対照的に、米国は 1990 年代に入ると伸びは加速し、90 年代後半には年率 20.9% の勢いで情報通信インフラが整備され、90 年代の 10 年間で 5 倍以上に増加してきた。2001 年の伸びは IT 不況による投資の鈍化からストックの伸びは 11.1% に半減した。また、2002 年には投資が持ち直したものの前年の投資が低調であった影響を受け、ストックの伸びは 6.7% まで落ちている。

図表 1-17 米国の情報通信資本ストックの動向



図表 1-18 米国の情報通信資本ストックの伸び

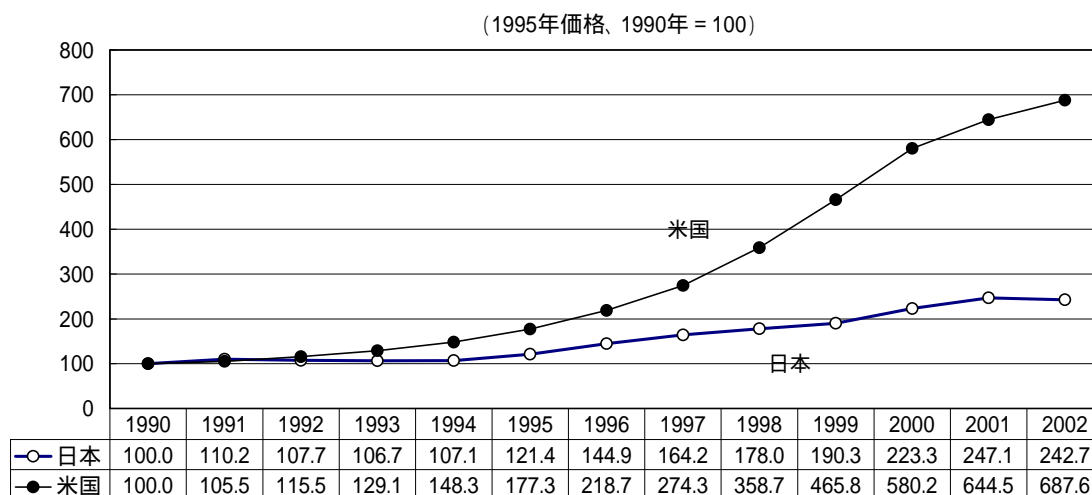


3.3. 日米の情報通信資本ストックの比較

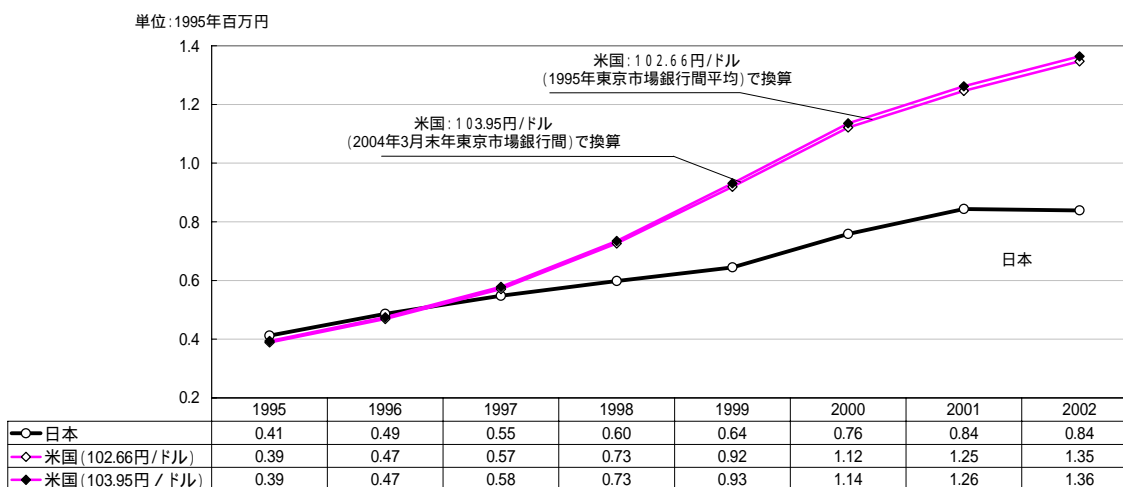
90年代に入ると日米における情報通信資本ストックの伸びの違いは顕著となる。1990年から2000年の10年間に日本が2.2倍に成長する間に、米国は5.8倍に成長し、そのスピードは2倍以上も開いた。さらに2000年から2002年の2年間についてみると、2002年に日本が大きく停滞したため、格差は一層拡大している。

情報通信資本ストックを就業者数（民間部門）で割り、一人あたり情報通信資本ストックを日米で比較してみると、2002年において円ドルレートを2004年3月末（17時時点）の東京市場銀行間為替レート（103.95円/ドル）として計算すると、米国が約135万円であるのに対して、日本は84万円であった。このような装備率の格差は1998年から開いたものであるが、2002年には日本の停滞により、その差は一段と拡大している。

図表 1-19 日米の情報通信資本ストックの伸び率比較



図表 1-20 日米・民間就業者一人当たりの情報通信資本ストック



第2章 情報化投資による経済成長、生産性、労働への インパクト分析

第2章 情報化投資による経済成長、生産性、雇用に対するインパクト分析

1. 分析の目的

情報通信ネットワークの利用は業種や企業規模を問わず、広範な産業に及んでいる。

情報化投資の実施状況を見ると、従業者 100 人以上の規模では、7 割以上の企業が実施しており、その 7 割以上の企業が、例えば業務の効率化や迅速化、経営情報の共有化、顧客満足度の向上、一般管理費の削減、受発注や決済時間の短縮化、企業イメージの向上、組織の簡素化・効率化、取引コストの低下などの効果を認めている⁶。

本章では、上記のような情報化投資による供給効果を、マクロ的視点からコブ・ダグラス生産関数によって分析し、経済成長への寄与、生産性への影響等を明らかにするほか、情報化投資の需要効果を産業連関モデルによって経済波及効果として計測し、これを明らかにするものである。

2. 生産関数による分析

2.1. コブ・ダグラス型生産関数(Cobb-Douglas Production Function)モデル

生産関数

生産要素として労働、非情報通信資本、情報通信資本の 3 つを要素とする一次同次の式 1 のようなコブ・ダグラス型生産関数を考える。

(式 1 : コブ・ダグラス型生産関数)

$$Y = A_0 e^{\lambda t} K_1^\alpha L^\beta K_2^{1-\alpha-\beta}$$

この両辺について対数をとると下式を得る。

(式 2)

$$\log Y = a_0 + \lambda t + \alpha \log K_1 + \beta \log L + (1 - \alpha - \beta) \log K_2$$

また、式 3 が成り立つから、式 2 は情報通信資本ストックが 1% 成長した場合に生産量が $(1 - \alpha - \beta)$ % だけ成長することを意味する。もし、限界生産力命題が成り立つなら、コブ・ダグラス型の生産技術の下では、生産要素に対する分配率がそれぞれ α 、 β 、 $(1 - \alpha - \beta)$

⁶ 総務省「平成 14 年版通信利用動向調査」第 6 章参照。

に一致するとき、生産活動による利潤は極大となる。

(式3)

$$\frac{\partial \log Y}{\partial \log K_2} = \frac{\Delta Y/Y}{\Delta K_2/K_2} = \frac{\partial Y}{\partial K_2} \cdot \frac{K_2}{Y} = 1 - \alpha - \beta$$

また、経済成長を要因分解すると式4になる。

(式4)

$$\frac{dY}{Y} = \frac{\partial Y}{\partial K_1} \frac{dK_1}{Y} + \frac{\partial Y}{\partial L} \frac{dL}{Y} + \frac{\partial Y}{\partial K_2} \frac{dK_2}{Y} + \lambda$$

ゆえに、情報通信資本ストックの経済成長に対する寄与は、式5に示すように要素の成長率に情報通信資本ストックの生産量に対する弾力性(1 -)を乗じて求めることができる。

(式5)

$$\begin{aligned} \frac{dY}{Y} &= \frac{\partial Y}{\partial K_1} \frac{dK_1}{Y} + \frac{\partial Y}{\partial L} \frac{dL}{Y} + \frac{\partial Y}{\partial K_2} \frac{dK_2}{Y} + \lambda \\ &= \alpha \frac{dK_1}{K_1} + \beta \frac{dL}{L} + (1 - \alpha - \beta) \frac{dK_2}{K_2} + \lambda \end{aligned}$$

以上は、一般資本サービス・インプットと情報通信資本サービス・インプットは、それぞれのストック量に比例することを前提とするものである。

今、資本ストックは情報通信資本ストックと一般の資本ストックとの和集計として表せると仮定⁷し、資本サービスと資本ストックに次のような関係があるものと仮定する。すなわち、1単位の情報資本ストックは、1+ のサービスを行うものと仮定する。一般資本財も同様に1+ のサービスを行うものと仮定する。

⁷ 和集計が意味を持つのは、一般資本と情報通信資本の資本サービスが完全代替であるときである。

(式 6)

$$\begin{aligned}\bar{K} &= \bar{K}_1 + \bar{K}_2 \\ K &= (1+\eta)\bar{K}_1 + (1+\delta)\bar{K}_2 \\ &= \bar{K} + \eta\bar{K}_1 + \delta\bar{K}_2 \\ &= \bar{K}\left(1 + \eta\frac{\bar{K}_1}{\bar{K}} + \delta\frac{\bar{K}_2}{\bar{K}}\right) \\ &= \bar{K}(1 + \eta(1-Z) + \delta Z)\end{aligned}$$

ゆえに

$$K = \bar{K}(1 + \eta + (\delta - \eta)Z)$$

\bar{K}_1 : 一般財資本ストック

\bar{K}_2 : 情報通信資本ストック

Z : 情報通信資本率

(式 7)

$$Y = A_0 e^{\lambda t} K^\alpha L^{1-\alpha}$$

(式 7) の対数を取り、これに (式 6) を代入して、さらに近似式をもとめると、次式のように表せる。

$$\begin{aligned}\log(y/L) &= \lambda t + \alpha \log(K/L) \\ &= \lambda t + \alpha \log(\bar{K}(1 + \eta + (\delta - \eta)Z)/L) \\ &= \lambda t + \alpha \log(\bar{K}/L) + \alpha \log(1 + \eta + (\delta - \eta)Z) \\ &\approx \lambda t + \alpha \log(\bar{K}/L) + \alpha(\delta - \eta)Z + \alpha\eta \\ &\approx \lambda t + \alpha \log(\bar{K}/L) + \theta Z + c\end{aligned}$$

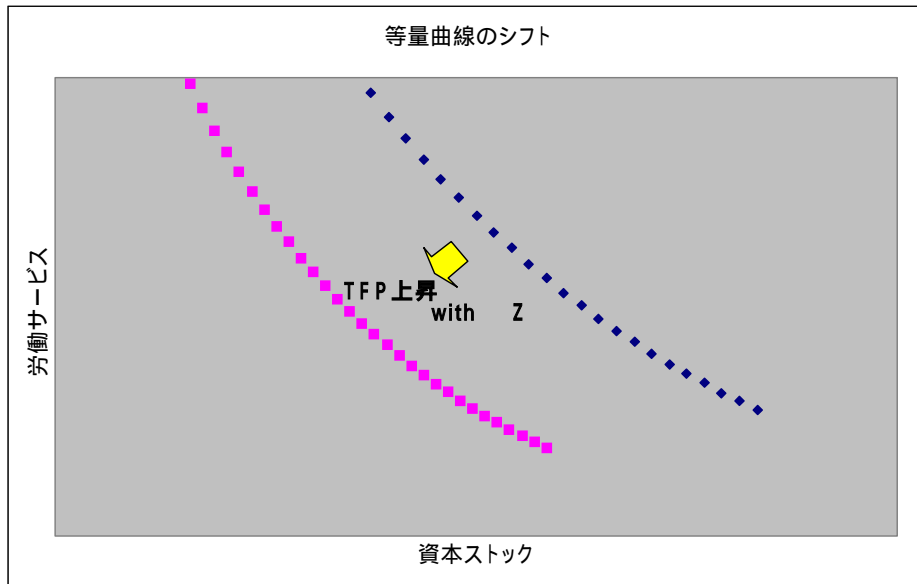
この式を、さらに変形させたのちに時間 t で全微分すると

(式 8)

$$\frac{d(\log(y/L) - \alpha \log(\bar{K}/L))}{dt} = \lambda + \theta \frac{dZ}{dt}$$

となる。この式は TFP 成長率を情報通信資本率の変化とそれ以外の要因による技術進歩率によって説明するものである (図表 2-1 参照)。

図表 2-1 情報通信資本率の変化に伴う TFP の変化



は、他の条件一定の下で、情報通信資本率の増加に対する TFP 成長率を表わすものである。

期間 [a,b] の情報通信資本率の変化による TFP 成長に対する寄与度 $U_{a,b}$ 、すなわち情報化の進展による TFP 成長率を次式で求めることができる。

(式 9)

$$\begin{aligned}
 U_{a,b} &= \int_a^b \theta dZ \\
 &= \theta (Z_a - Z_b)
 \end{aligned}$$

2.2. コブ・ダグラス型生産関数の推計

式 2 についてパラメータを推計する。ただし、ここでは $\beta = 0$ とする。したがって、推計するモデル式は下記のとおりである。

(式 10)

$$\log(y_t / L_t) = \alpha \log(K_{1,t} / L_t) + (1 - \alpha - \beta) \log(K_{2,t} / L_t) + c + u_t, \quad u_t \sim \text{IN}(0, \sigma)$$

また、総資本ストックにしめる情報通信資本ストック比率の変化による TFP 成長率を計算するのに、次式について回帰式を求める。

(式 11)

$$\log(y_t / L_t) = \lambda t + \alpha \log(\bar{K}_t / L_t) + \theta Z_t + c + u_t, \quad u_t \sim \text{IN}(0, \sigma)$$

データ(民間部門)

Y: 実質 GDP	97SNA 統計(一部 68SNA 統計から推計)
KP: 資本ストック	経済社会総合研究所の民間資本ストック(一部 68SNA 統計から推計)
KPIT: 情報通信資本ストック	本調査別途推計(第 1 章参照)
K ₁ : 資本投入量(一般財)	(KP - KPIT) × RCU として計算
K ₂ : 資本投入量(情報通信財)	KPIT
L: 労働投入量(man hour)	労働力基本調査の就業者数 ⁸ , 平均実労働時間
RCU: 設備稼働率	製造工業稼働率指数(経済産業省)

K₁ 資本(一般財)は、民間部門が生産のために投入する情報通信財以外の資本サービス量を示しており、資本ストックに稼働率を掛けて推計する。民間企業資本ストックの所有部門で、最も大きいウェイトを持つ部門は製造業である。そのほか、大きなウェイトをしめる部門としては通信・放送業、事業所サービス、電気・ガス・水道業、商業等が挙げられる。この事業所サービス資本ストックの約 7 割程度は物品賃貸業であり(平成 7 年固定資本マトリクスにみる投資状況から推察)その産出の過半を製造業がしめること、また電気・ガス・水道業及び商業のそれぞれの製造業への産出割合は、生産額の概ね 1/4 と製造業の活動に大きく依存している。

また、設備稼働率をあらわす公的統計は経済産業省の製造設備稼働率指数以外に存在しないことから、これを民間資本ストックの稼働状況をあらわす代理変数として採用するものである。

一方、K₂: 資本(情報通信財)は、ファクシミリ機器が通信ネットワークの端末と

⁸ 就業者からは中央及び地方の公務員(2002 年時点で 388 万人)を除いている。

して常時接続されているように、それらの稼働率は景気変動の影響をさほど強く受けないと考えられること、また稼働率を考える場合にも、適切な指標が得られないことから、フルキャパシティが常時稼働しているものと仮定した。

推計方法

1 回の系列相関（自己相関）を想定した最尤法、コ克蘭・オーカット法等からパラメータを推定する（複数の手法を適用し、統計的により有意の結果を採用）。なお、使用ソフトウェアは TSP である。

式 10 の推計結果

AR(1)（first-order autoregressive processes）を適用した最尤法（Beach and Mackinnon 法）が、統計量から判断して最も当てはまりがよく、図表 2- 2 に示す結果を得た。

図表 2- 2 式 10 のコブ・ダグラス型生産関数の推計結果

説明変数	統計量		
	偏回帰係数	t 値	標準誤差
労働投入量	0.6524		
資本投入量			
民間部門所有			
一般資本	0.2488	3.008	0.083
情報通信資本ストック	0.0988	3.504	0.028
定数項	-3.1256	-9.468	0.330
自由度調整済決定係数(変形データ)	0.9965		
ダービン・ワトソン比(変形データ)	1.0946		
標準誤差(変形データ)	0.0152		
F-値	3,159.1		
尤度	64.4		
データ数	23		

・推計期間：1980年～2002年

・ $\log(Y/(L \cdot LH^{*12})) = \alpha + \log((KP-KPIT) \cdot RCU/(L \cdot LH^{*12})) + \log(KPIT/(L \cdot LH^{*12}))$

・推計方法：1 階の系列相関を補正した最尤法により推計（AR1(method=ML)）

・使用ソフト：TSP Version 4.3A

（ダービン・ワトソン検定）

上記検定結果は「誤差に関して系列相関はない」という帰無仮説は棄却できない。

式 11 の推計結果

AR(1)（first-order autoregressive processes）を適用した最尤法（Beach and Mackinnon 法）が、統計量から判断して最も当てはまりがよく、図表 2- 3 に示す結果を得た。

図表 2-3 式 11 の推計結果

説明変数	統計量		
	偏回帰係数	t値	標準誤差
労働投入量	0.620		
資本投入量	0.380	6.980	0.055
情報通信資本ストック比率	4.521	3.355	1.347
定数項	-2.401	-13.719	0.175
自由度調整済決定係数(変形データ)	0.9975		
ダービン・ワトソン比(変形データ)	1.2263		
標準誤差(変形データ)	0.0150		
F-値	4,244.9		
尤度	64.9		
データ数	23		

- ・推計期間：1980年～2002年
- ・ $\log(Y/(L \cdot LH^{*12})) = \alpha + \log(((KP-KPIT) \cdot RCU + KPIT)/(L \cdot LH^{*12})) + \beta (KPIT/((KP-KPIT) \cdot RCU + KPIT))$
- ・推計方法：1階の系列相関を補正した最尤法により推計 (AR1(method=ML))
- ・使用ソフト：TSP Version 4.3A

(ダービン・ワトソン検定)

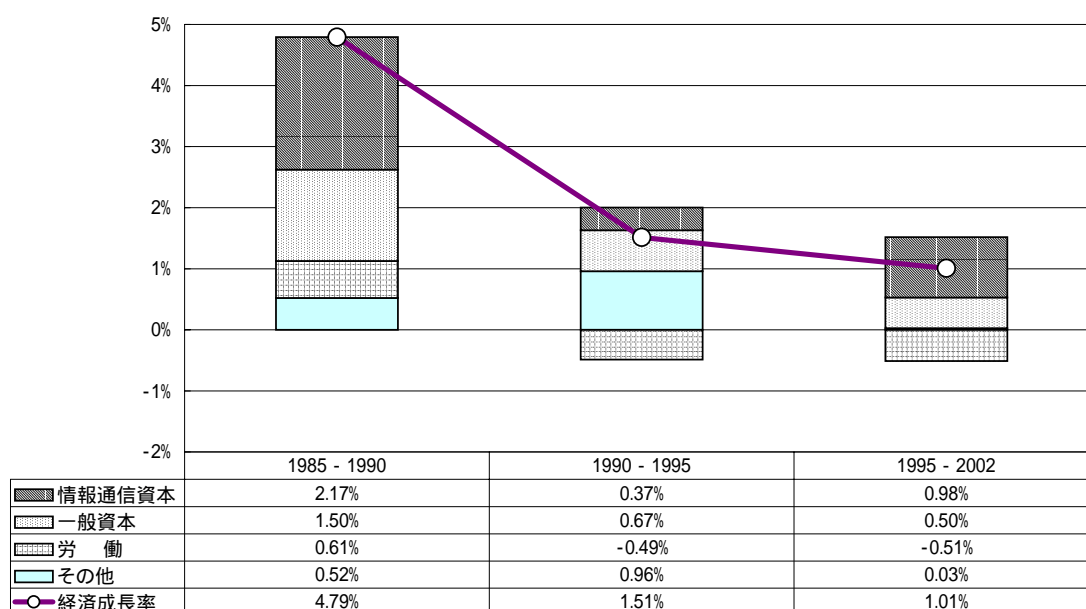
上記検定結果は「誤差に関して系列相関はない」という帰無仮説は棄却できない。

2.3. 経済成長への寄与

以下、図表 2-2 の結果を用いて分析する。

経済成長に対する寄与度は下図に示すとおりである。90 年代以降の情報通信資本財の寄与度は、1990 年～1995 年が 0.4%、1995 年～2002 年が 1.0% である。特に 90 年代後半以降のわが国経済の平均成長率は 1.0% であり、情報化に負うところが極めて大きい。一方、90 年代以降、労働投入量の伸びは一貫してマイナスとなっており、経済発展を図るには、さらに情報化を進め、生産性を伸ばすことが一段と重要になってきていることを示している。

図表 2-4 経済成長への寄与



(注) 資本ストック、労働はいずれも民間部門。その他には、公的部門の活動による寄与やIT以外の技術革新による寄与が含まれる。

2.4. 生産性への影響

式 11 の生産関数の推計結果 (図表 2-3) を用いて情報資本の蓄積による T F P 成長率に対する影響を分析する。

式 11 の考え方は、単位ストック当たり価格が二つとも同じであるとき、情報資本財の方がそれ以外の一般の資本財よりも単位ストック量当たり資本サービス (あるいは働き) が大きいなら、資本ストックにしめる情報通信財の比率が高いほど、単位サービス価格当たり生産力は増大するので、その超過的な効果 (いわば追加的なコストを払わないで得られた効果、あるいは限界生産力を上回る効果) を T F P 成長率への寄与としてカウントしようというものである。したがって、式 10 と式 11 は同じコブ・ダグラス型生産関数ではあるが、同じ現象を少し違う角度から観察したものと言えよう。

式 11 の推計結果から情報通信資本率の 1% の上昇は、観測期間 (1980-2002) において平均して T F P 成長率を 4.5% だけ押し上げる働きがあることがわかる。

つまり、資本ストックの総量及び労働投入量を一定として (全く変えないで) 一般資本財の 1% を情報資本財に置き換えると、生産性が 4.5% だけ高まり、それだけ供給能力が増すことになる。

情報化が進むということは、情報通信ネットワークが整備され、それらが多用される生産方式に移行することである。

わが国の情報化は 1990 年代前半においてバブル経済崩壊の後遺症から長らく停滞したが、後半にはインターネットの普及を追い風として着実に進展した。ちなみに、平成 14 年末時点で従業員 100 人以上の企業の 9 割以上が企業通信網を利用している。

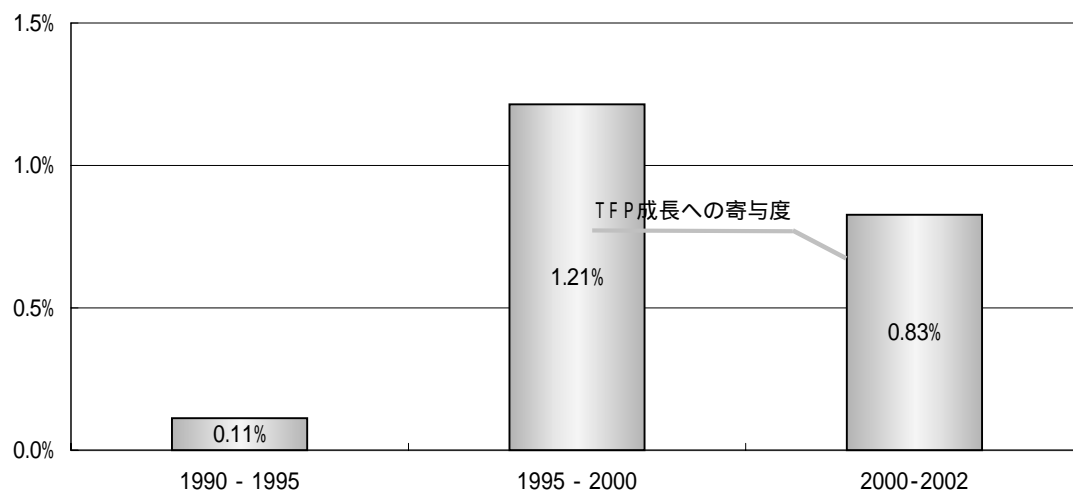
この 90 年代後半の情報化の進展による経済成長へのインパクトを TFP 成長率の寄与度として計算してみよう。情報通信資本率が 1% 高い生産方式に移行することによって生産性を 4.5% だけ高めるという関係を使って計算すると、90 年代後半の情報化は毎年 1.2% の生産性上昇をもたらした勘定となる。また、同様に 2000 年-2002 年の期間について計算すると 0.8% となる。

図表 2-2 と図表 2-3 について、2000 年-2002 年の期間を比較すると、情報通信資本ストックの寄与度に 2 倍程度の差が生じている。それに対し、1990 年-1995 年、1995 年-2000 年は図表 2-2 がわずかに大きい程度であり、図表 2-3 の数値はその内輪の数値となっている。

なぜ、2000 年-2002 年で差異が大きいかという理由としては、この間の一般資本財の稼働率が 2000 年の 99.3 (1995 年 = 100) から 93.3 に短期間に 6 ポイントも低下したため、情報通信資本財がさほど増加しなくても、情報通信資本率があたかも情報化が大きく進展したかのごとく上昇したことが、計算にそのまま反映したためと考えられる。すなわち、本分析では、情報通信資本財は常に 100% 稼働するものと仮定しているが、不況下では、

この仮定が必ずしも妥当でない怖れがあることを示唆している。

図表 2 - 5 生産性上昇への寄与度



3. 産業関連モデルによる分析

3.1. 情報化投資の経済波及効果計測のフレーム

推計対象

2002年においてわが国の公的部門および民間部門が実施した電子計算機・同付属装置、電気通信機器、受託開発ソフトウェアに対する設備投資（以下、「情報化投資」と呼ぶ）が、わが国の諸産業にもたらした生産誘発額、付加価値誘発額、雇用誘発数を推計する。

モデル式

生産誘発額は下記のモデル式から計算できる。付加価値誘発額、雇用誘発数は生産誘発額に付加価値係数、雇用係数を乗じることで求めることができる。

$$X = [I - (I - \bar{M})A]^{-1} [(I - \bar{M})F_d]$$

X : 生産誘発額ベクトル

A : 投入係数行列

\bar{M} : 輸入係数行列（輸入係数の対角行列）

F_d : 投資ベクトル

I : 単位行列

使用データ

投入係数行列、輸入係数、付加価値係数、雇用係数は、別途作成された2002年の実質情報通信産業関連表から計算した。

また、投資額は第1章で推計した購入者価格ベース金額から、流通マージン（商業マージン+運賃）を除いた生産者価格ベースの金額と流通マージンを投資ベクトルに計上して計測を行う。

3.2. 経済波及効果分析

2002年の情報化投資による経済波及効果の計測結果を図表2-5に、2001年と比較した2002年の設備投資の増加による経済波及効果を図表2-6に示す。

図表 2- 5 2002 年の実質情報化投資による経済波及効果

	投資額 (百万円)	生産誘発額 (百万円)	GDP 誘発額(百万円)	雇用者誘発数 (人)
ソフトウェア(コンピュータ用)	7,759,425	13,446,314	7,062,897	719,037
電子計算機・同付属装置	7,313,131	8,625,204	3,874,231	301,019
有線電気通信機器	1,146,666	1,810,924	817,441	77,308
無線電気通信機器	3,305,271	5,598,754	2,863,122	171,082
合計	19,524,494	29,481,196	14,617,691	1,268,445

(注) 投資額は購入者価格による表示である。

図表 2- 6 2001 年～2002 年の実質情報化投資の増減による経済波及効果変化

	投資額 (百万円)	生産誘発額 (百万円)	GDP誘発額 (百万円)	雇業者 誘発数(人)
ソフトウェア(コンピュータ用)	-44,020	395,337	-69,107	38,903
電子計算機・同付属装置	-3,148,627	-7,460,070	-3,211,973	-241,645
有線電気通信機器	-686,094	-1,254,346	-522,584	-46,922
無線電気通信機器	-1,621,147	-2,892,475	-1,362,757	-76,064
合計	-5,499,888	-11,211,554	-5,166,421	-325,726

(注)2001年データは昨年公表したものを使用

図表 2- 7 2002 年の実質情報化投資による各産業への経済波及効果

	生産誘発額		GDP誘発額		雇用誘発数	
	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(人)	(%)
情報通信産業	18,643,091	63.2%	8,807,093	60.2%	612,046	48.3%
製造業	3,738,897	12.7%	1,427,376	9.8%	132,302	10.4%
対事業所サービス	2,406,453	8.2%	1,389,980	9.5%	212,264	16.7%
商業	2,242,404	7.6%	1,463,687	10.0%	219,120	17.3%
金融・保険	729,229	2.5%	481,938	3.3%	27,908	2.2%
運輸	469,884	1.6%	243,036	1.7%	39,792	3.1%
その他産業	1,251,239	4.2%	804,583	5.5%	25,012	2.0%
合計	29,481,196	100.0%	14,617,691	100.0%	1,268,445	100.0%

- ソフトウェア投資額は昨年より 440 億円減少して 7.8 兆円、電子計算機・同付属装置投資額は 3.1 兆円減少して 7.3 兆円、有線電気通信機器投資額は 0.7 兆円減少して 1.1 兆円、無線電気通信機器投資額は 1.6 兆円増加して 3.3 兆円となった（95 年価格、生産者価格評価）。
- 2002 年における情報化投資額は総額 19.5 兆円（95 年価格、購入者価格評価）であった。この投資需要によるわが国経済への生産誘発額は、29.5 兆円である。産業別によるその割合をみると、情報通信産業への波及が 18.6 兆円（63.2%）、製造業への波及が 3.7 兆円（12.7%）等となっている。また、2001 年からの情報化投資減少による効果は - 11.2 兆円となった。
- 同様に GDP 誘発額は 14.6 兆円である。産業別によるその割合をみると、情報通信産業への波及が 8.8 兆円（60.2%）、商業への波及が 1.5 兆円（10.0%）、製造業への波及が 1.4 兆円（9.8%）等となっている。また、前年から情報化投資が減少したことによる効果は - 5.2 兆円である。
- 2002 年の情報化投資需要による雇用誘発数は 126.8 万人である。産業別によるその割合をみると、情報通信産業への波及が 61.2 万人（48.3%）、商業への波及が 21.9 万人（17.3%）、対事業所サービスが 21.2 万人（16.7%）等となっている。また、前年よりも情報化投資額が減少したことによる雇用誘発数は - 32.6 万人である。

第3章 ユビキタスネットワーク関連市場のインパクト分析

第3章 ユビキタスネットワーク関連市場のインパクト分析

1. 分析の目的

“どこからでも”、常時接続できるモバイル性のあるブロードバンドネットワークに、“何でも端末として”、大型汎用コンピュータやパソコンだけでなく、携帯電話、PDA、ゲーム機、カーナビ、デジタルテレビ、情報家電、デジタルカメラ、電子タグなど、各種の情報機器やセンサーがIP等のプロトコルによってつながり、“自在にコンテンツを”、文字、数字や静止画だけでなく動画や音声をも、“らくらくと安全・安心に”、やりとりできるIT環境、すなわちユビキタスネットワーク社会が実現しつつある。

このようなIT環境下では、通信サービス、ハードウェア、プラットフォーム、サービス・コンテンツといった様々な財・サービス需要に加えて、この環境を活用したさまざまなビジネスや生産性の向上が起こり、経済の活性化に多大なるインパクトを与えるものと期待される。

本章では、このユビキタスネットワークの国内関連市場の規模を2010年まで予測し、その需要効果による経済インパクトを予測産業連関モデルの枠組みによって分析する。

2. 分析のフレームワーク

2.1. ユビキタスネットワーク関連市場の定義

本分析は2010年までを分析対象とする。したがって、中期的な観点から、ユビキタスネットワーク及びユビキタスネットワーク関連市場を、総務省「ユビキタスネットワーク技術の将来展望に関する調査研究会」等のフレームワークを踏まえつつ、次のように定義する。

ユビキタスネットワーク

どこからでも、コンピュータやICを組み込んだ様々な機器やモノどうしを、ネットワークを介して簡単に相互接続させて、コンテンツや状況に関する情報を自在にやりとりしながら、我々の暮らしや生産活動における利便性や安全性を高めることができる情報環境。

ユビキタスネットワーク関連市場

ユビキタスネットワーク市場とは、次の財・サービスを提供する市場をいう。

- ・ ユビキタスネットワークの形成に直接的に必要な財・サービス
- ・ ユビキタスネットワーク環境の利便性を高める財・サービス
- ・ ユビキタスネットワーク環境でしか実現できないサービス、又はユビキタスネットワーク環境がもたらす利便性が、サービスの普及・促進に大きく寄与するサービス

具体的には、図表3-1に掲げる市場を指す。

図表 3-1 ユビキタスネットワーク関連市場の範囲

市場	財・サービス	算入部分
ネットワーク 広帯域有線・無線通信、IP利用による先進的ネットワークサービス	<ul style="list-style-type: none"> 固定ネットワーク系(DSL、FTTH、CATVインターネット) 無線ネットワーク系(3G以上の携帯電話、公衆無線LAN) IP電話系(対個人、対企業) 企業ネットワーク系(広域イーサネット、IP-VPN、専用回線) 	利用料 " " "
アプライアンス 高度情報通信ネットワーク環境を活用するにあたり基盤となる機器・端末	<ul style="list-style-type: none"> PC系(電子計算機本体、表示装置、外部記憶装置) ネットワーク・インフラ系(ネットワーク接続機器、交換機、放送装置) ネットワーク固定端末系(その他の入出力装置) ネットワーク・モバイル端末系(3G以上の携帯電話、ネットワーク対応電気音響機器) ホームネットワーク系(地上デジタル放送対応テレビジョン受信機、ゲーム機器、DVDビデオ、デジタルカメラ、ビデオカメラ、ネットワーク対応冷蔵庫、洗濯機、エアコンディショナ(除カーエアコン)、電子レンジ) 車載系(ETC車載機、カーナビゲーションシステム) ICカード・ICタグ(ICカード、ICタグ) 	購入者価格 " " " " " "
プラットフォーム 高度情報通信ネットワーク環境を活用するにあたり、共通基盤的に提供されるサービス	<ul style="list-style-type: none"> 電子認証(個人認証、法人認証、サーバ認証、クライアント認証) 電子公証(文書作成時刻証明を基本とした電子公証サービス) マーケットプレイス(マーケットプレイスをネット上に設置し、出店舗を支援するサービス) 電子決済(電子マネー、クレジットカード、ネットバンキング、ISPなどによるBtoCの決済、非接触型ICカードを介した電子マネーによる実店舗による決済) iDC(ハウジング、コロケーション、付加サービス) ASP(ネットによるアプリケーション利用サービス) セキュリティ関連(不正アクセス/ウィルス監視、FW運用代行、トラフィック監視、データバックアップ、システム運用監視、セキュアIDC提供、セキュリティ保険、IDS関連ログ解析サービス等、ソフトウェア) CDN(効率的コンテンツ配信支援サービス) インターネット広告(インターネット広告、モバイル広告) インターネット金融(ネットワークバンキング(上記の電子決済分は除く)、株式取引・投資信託) 	利用料 手数料 利用料 手数料 利用料 利用料 利用料金、 購入者価格 手数料 作成費、媒体費 手数料
サービス・コンテンツ 高度情報通信ネットワーク環境を活用して利用されるサービス・コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツ(パッケージ系、ネットワーク系、携帯電話系) デジタル放送(地上デジタル放送、BSデジタル放送、CSデジタル放送、CATVデジタル放送、ブロードバンド放送) 遠隔健康管理サービス(遠隔健康管理、在宅医療支援サービス) 高齢者向け遠隔モニタリング(要介護者・高齢者の遠隔安否確認・緊急通報サービス) 位置情報サービス(徘徊高齢者捜索、盗難車位置検索、子供・ペット、モノ等の位置確認、その場情報の提供) ホームセキュリティサービス e-ラーニング(初等中等教育、高等教育、企業内教育、生涯教育) センシング・コントロール(IP通信技術を利用したオフィスビル、集合住宅などの日常機器監視・制御サービス) ネットワークを介した公営競技・宝くじ等(競馬、競輪、競艇、オートレース、宝くじ、TOTO) 	購入者価格 利用料、 利用料 " " " " "
コマース 消費者向け電子商取引及び電子タグや非接触型ICカードを用いてキャッシュレス決済される商取引市場	オンライン(BtoC)・非接触型ICカード・電子タグを利用した実店舗における決済、非接触型ICカードを活用した交通機関・有料道路の決済	販売額
インフラ 高度情報通信ネットワークを活用したサービスを提供・活用するに当たっての、企業等の設備投資額(ソフト・ハード(機器・端末市場を除く))	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク関連:通信・放送業の設備投資で、上表のアプライアンスで計上した機器以外のデジタル化関連の設備投資。 アプライアンス関連:各種アプライアンス製造のための設備投資(リースを含む)及びソフトウェア支出。 プラットフォーム関連:プラットフォーム形成のためのソフトウェア支出。 サービス・コンテンツ関連:サービス及びコンテンツの生産のためのソフトウェア支出。 コマース関連:BtoCあるいは非接触型ICカードなどで実店舗で販売するための設備投資(リースを含む)及びソフトウェア支出。 ITS関連:ITS関連施設整備やITSの推進に関する国の予算。 その他:上記以外のソフトウェア支出。 	設備投資額 (土地代を除く) " " " " " "
		外注費、購入費

2.2. 分析フロー

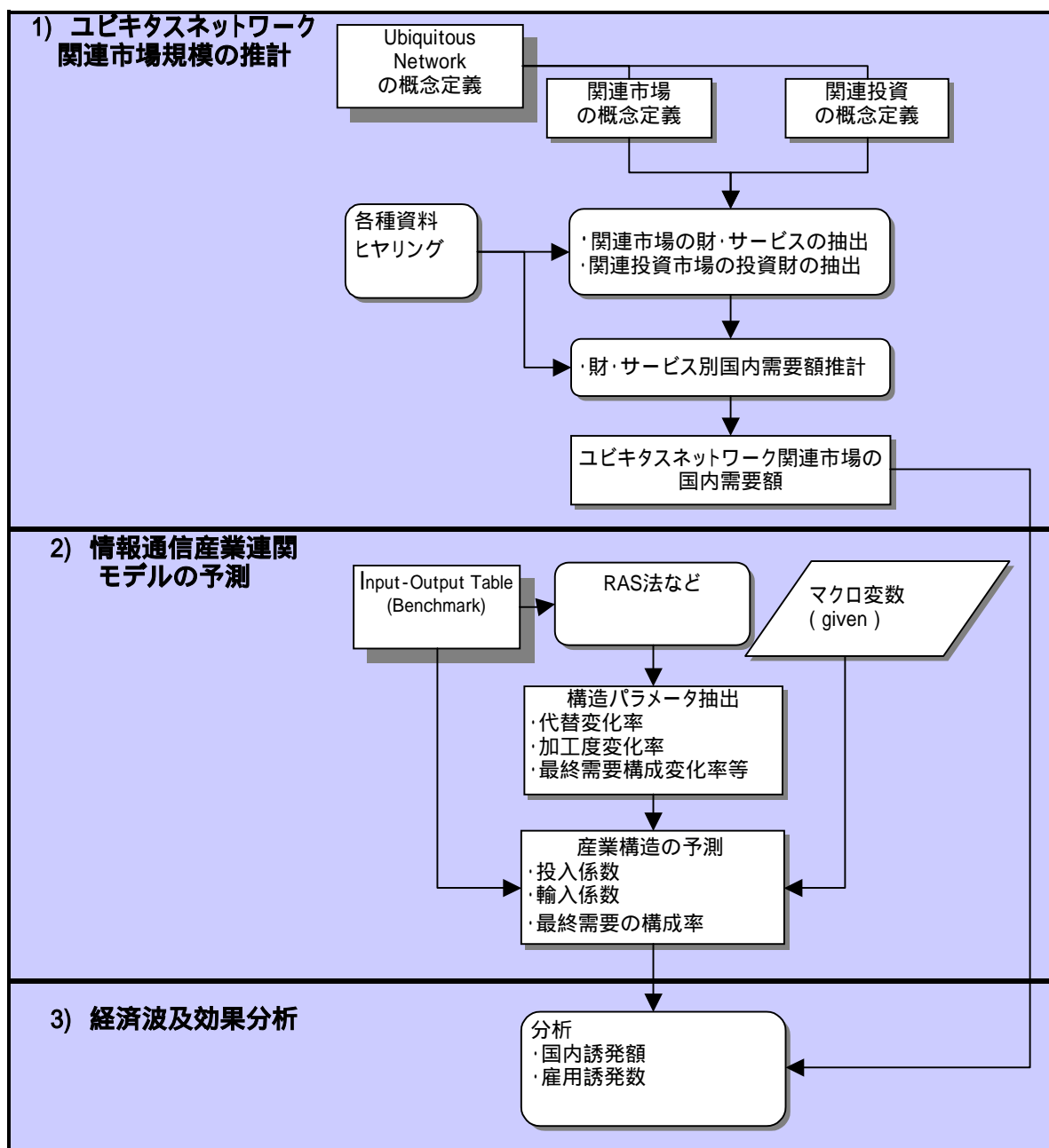
本分析の作業は大別すると、3つのパートから構成され、図表 3-2 に示すとおりである。

はじめに、図表 3-1 に示した関連市場に含まれる個々の財・サービスについて名目国内需要額を予測し、その一つ一つの積み上げによって市場規模を予測する。

次に、1995 年及び 2000 年、2002 年の情報通信産業関連表（情報通信総合政策局）などを用いて予測モデルを構築する。

続いて、その予測モデルにユビキタスネットワーク関連市場として発生する財・サービス需要をあてはめ、経済波及効果を分析する。

図表 3-2 分析フロー

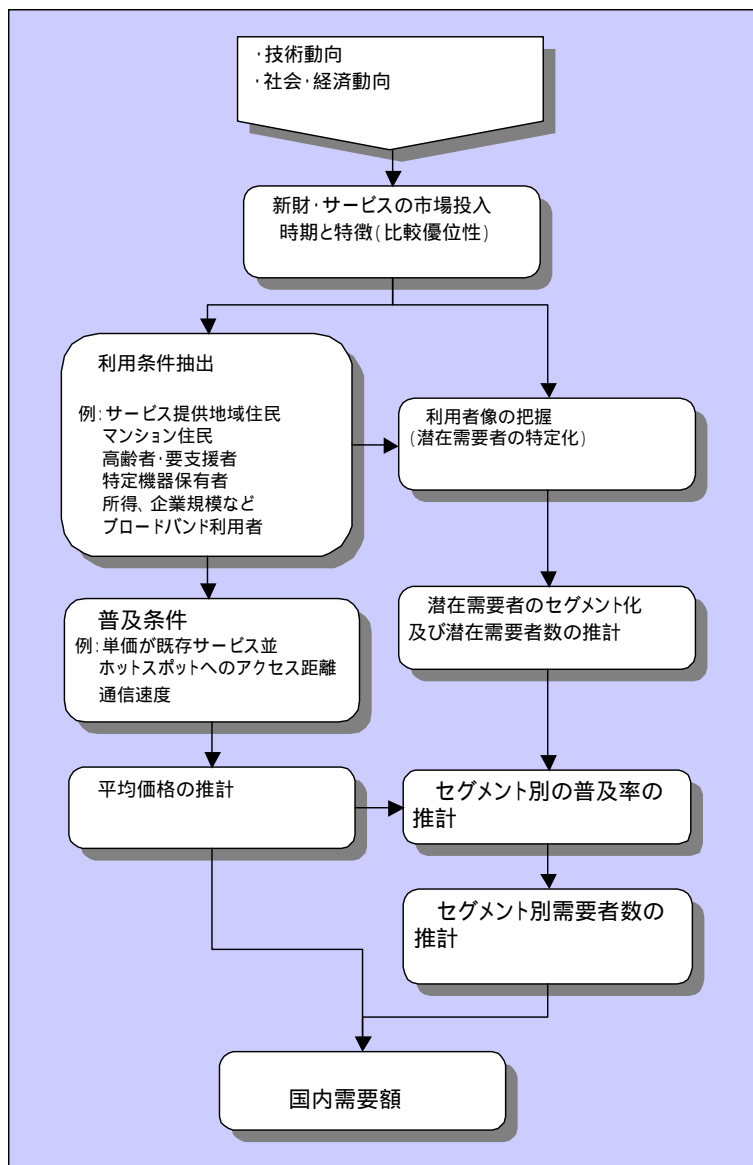


3. ユビキタスネットワーク関連市場規模

3.1. 市場規模の推計方法

図表 3-1 に示した財・サービスについて、国内需要額を時下の購入者価格ベースで推計する。推計に当たっては、これらの財・サービスは、極めて多岐にわたっており、また市場に投入されていない新規サービスを含むため、一律的な推計方法を適用することが不可能であるが、概ね下図のフローに従っている。平均価格や普及率については、過去の時系列データがあれば、そのトレンドから、新財・サービスなどの理由でデータが無いものについては、利用条件や普及条件を勘案しながら、各種資料やヒヤリングをもとに設定した。なお、アプライアンスについては、例外的に国内生産額、輸入・輸出額のトレンドから主に推計している。

図表 3-3 国内需要額の推計フロー



3.2. 市場規模

推計結果は下表に示すとおりである。ユビキタスネットワーク関連の市場規模は、2003年の28.7兆円から2010年には87.6兆円に、約3.1倍（年平均成長率17.3%）に拡大すると予測された。なお、2003年～2010年の累計では449.1兆円になる。

図表 3-4 ユビキタスネットワーク関連市場規模

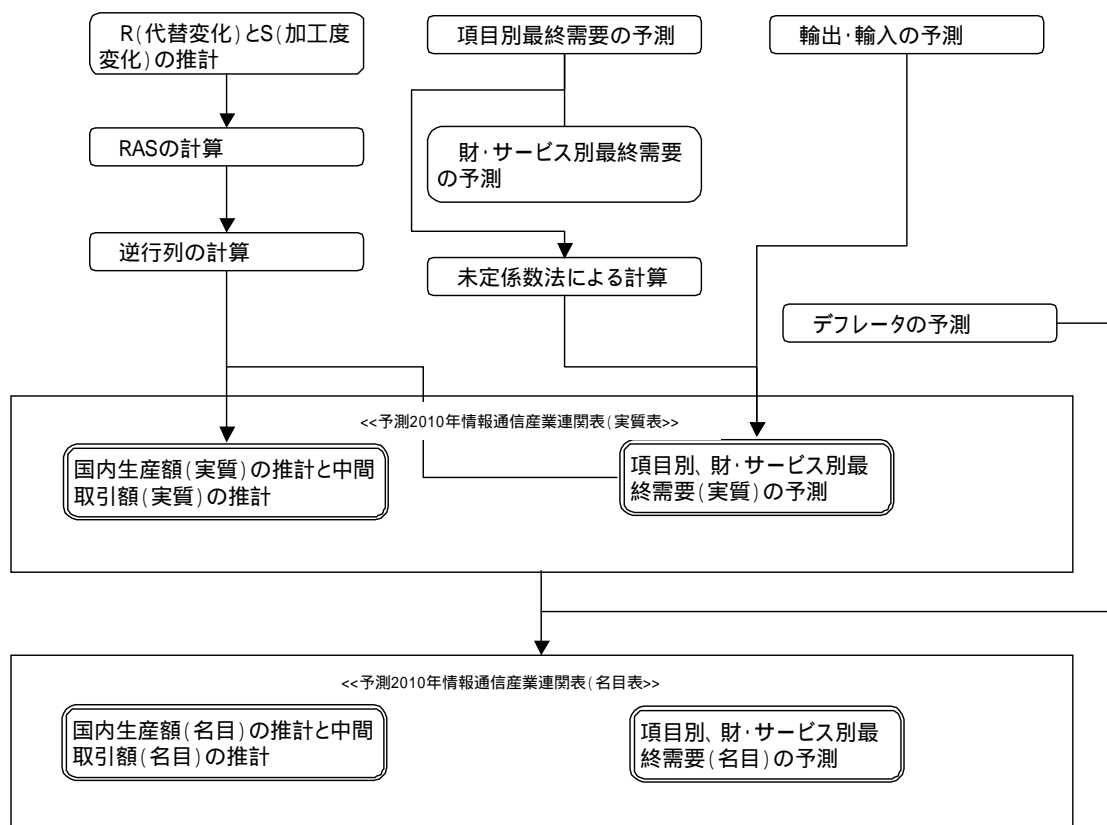
単位:10億円								
	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
コア市場	17,758	20,354	24,116	27,991	31,479	35,093	37,624	39,836
1 ネットワーク	2,929	4,087	5,770	7,378	8,466	9,105	9,596	9,693
固定ネットワーク系	533	863	1,146	1,323	1,441	1,534	1,616	1,695
無線ネットワーク	1,281	2,088	3,398	4,701	5,515	5,891	6,096	5,930
IP電話系	96	179	307	456	626	784	939	1,069
企業ネットワーク系	1,019	957	919	898	883	897	944	999
2 アプリアンス	10,720	11,405	12,569	14,127	15,338	16,378	17,276	18,056
PC系	6,916	6,859	6,729	6,596	6,462	6,327	6,193	6,061
ネットワーク・インフラ系	807	736	718	710	705	704	706	711
ネットワーク固定端末系	185	188	193	199	206	214	225	236
ネットワーク・モバイル端末系	397	706	1,240	1,944	2,360	2,754	3,018	3,288
ホームネットワーク系	2,003	2,465	3,189	4,129	5,010	5,742	6,446	7,001
車載系	361	396	440	485	521	548	584	621
ICカード・ICタグ	51	55	60	65	75	88	104	137
3 プラットフォーム	1,212	1,486	1,814	2,135	2,481	2,801	3,150	3,590
電子認証、電子公証(タイムスタンプ)	16	24	33	47	66	79	92	106
iDC、ASP	297	336	378	414	458	501	556	634
セキュリティ関連	425	477	535	577	638	696	785	944
ネット金融	300	426	583	742	882	992	1,073	1,130
その他のプラットフォーム市場	173	225	285	355	436	532	644	776
4 サービス・コンテンツ	2,898	3,375	3,963	4,351	5,195	6,810	7,602	8,498
デジタルコンテンツ	2,135	2,295	2,426	2,535	2,625	2,717	2,799	2,867
デジタル放送	225	306	433	651	1,028	2,356	2,867	3,453
その他サービス市場	538	774	1,104	1,165	1,542	1,736	1,937	2,177
関連市場	10,918	13,764	17,028	22,141	27,837	34,287	41,044	47,807
1 コマース	5,133	7,022	9,317	12,041	15,104	18,651	23,029	28,070
2 インフラ	5,785	6,741	7,711	10,100	12,733	15,636	18,015	19,738
市場合計(+)	28,675	34,117	41,144	50,132	59,316	69,380	78,668	87,644

4. 産業連関モデルによる経済インパクトの予測

4.1. 予測産業連関モデル

2010年予測情報通信産業連関表の作成は以下の作フロー図(図表3-5)に基づいて作成した。

図表 3-5 2010年予測情報通信産業連関表の作成フロー



R (代替変化) と S (加工度変化) の推計

1995年、2001年、2002年の情報通信産業連関表(実質表)より1995~2002年、2001~2002年のR(代替変化)、S(加工度変化)を算出(年率換算)し、係数が1により近い値を2002~2010年のRとSに採用する。

RAS の計算

で採用したRとSの変化が2003年以降も続くことを仮定し、2002年の投入係数に乗じることにより2010年の投入係数 A_{2010} とする。

逆行列の計算

で得られた投入係数より逆行列($I - A_{2010}$)⁻¹を計算する。

項目別最終需要の予測

1995年～2002年情報通信産業連関表(実質表)の家計外消費支出、民間消費支出、一般政府消費支出、資本形成(民間)、資本形成(政府)の時系列データより最小二乗法を用いて推計した(対数型等のモデル式の中から当てはまりのよい推計式を採用)。

財・サービス別最終需要の予測

1995年～2002年情報通信産業連関表(実質表)の地域電気通信、長距離電気通信、ソフトウェア(コンピュータ用)、電子計算機・同付属装置等の家計外消費支出、民間消費支出、一般政府消費支出、資本形成(民間)、資本形成(政府)への産出合計額の時系列データより最小二乗法を用いて推計した(対数型等のモデル式の中から当てはまりのよい推計式を採用)。

未定係数法による計算

、で得られた最終需要(輸出・輸入を除く)の列合計、行合計及びベンチマークデータとして2002年情報通信産業連関表の最終需要部分を用い、ラグランジュ未定係数法(KEIO RAS法)により2010年の項目別、財・サービス別の最終需要額を推計する。

輸出・輸入の予測

1995年～2002年情報通信産業連関表(実質表)の財・サービス別の輸出・輸入額の時系列データより最小二乗法を用いて推計した(対数型等のモデル式の中から当てはまりのよい推計式を採用)。

デフレーター予測

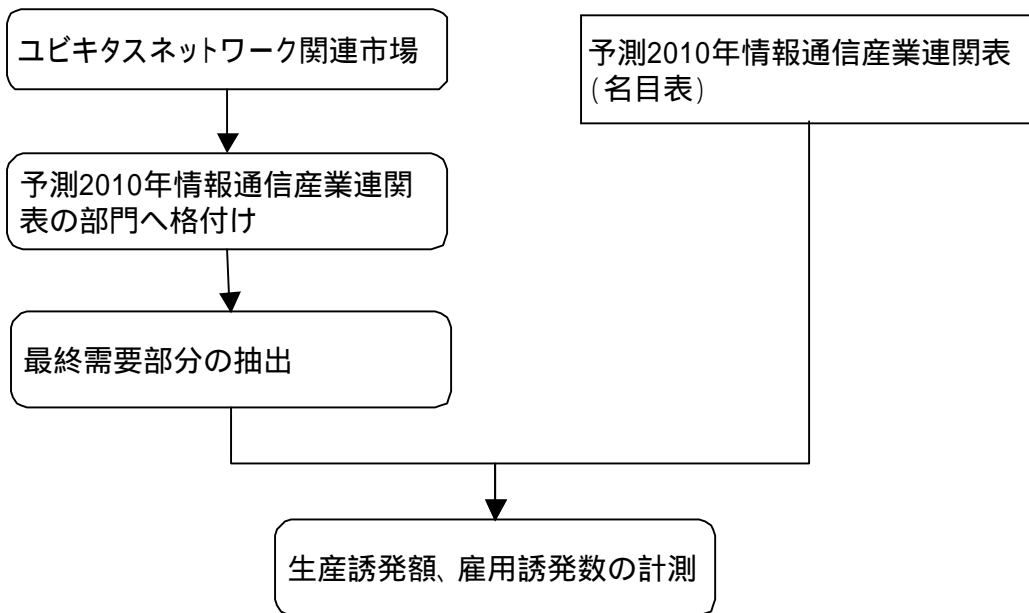
1995年～2002年情報通信産業連関表の名目表を実質表で除することで得られる財・サービス別の時系列データより最小二乗法を用いて推計した(対数型等のモデル式の中から当てはまりのよい推計式を採用)。

4.2. 経済インパクトの大きさ

(1) 計測方法

ユビキタスネットワーク関連市場規模の推計には、最終需要と中間需要が含まれている。そこで、ユビキタスネットワーク関連市場の推計結果を予測 2010 年情報通信産業連関表の各部門に格付けし、次に最終需要部分の抽出し、生産誘発額、雇用誘発数を計測する(図表 3 - 6)。

図表 3-6 経済インパクトの計測フロー



<モデル式>

$$X = [I - (I - \bar{M})A]^{-1}[(I - \bar{M})F] \cdot \dots$$

$$L = \bar{l}[I - (I - \bar{M})A]^{-1}[(I - \bar{M})F] \cdot \dots$$

$$L_v = \bar{l}[(I - \bar{M})X_v] \cdot \dots$$

X : 生産誘発額

L : 雇用誘発数

\bar{l} : 雇用係数 (2002年の値を使用)

A : 2010年予測投入係数

F : 2010年ユビキタスネットワーク関連最終需要

X_v : 2010年ユビキタスネットワーク関連市場規模

L_v : 2010年ユビキタスネットワーク関連市場の雇用数

\bar{M} : 輸入係数行列

I : 単位行列

(2) 計測結果

2010年のユビキタスネットワーク関連市場の最終需要による生産誘発額は120.5兆円である(上記モデル式による計測)。そのうち、情報通信産業への誘発額が最も多く45.2兆円(37.5%)、次いで製造業25.0兆円(20.7%)、商業14.1兆円(11.7%)等となっている。また、雇用誘発数は、636万人である(上記モデル式による計測)。そのうち、商業への雇用誘発数が最も多く165万人(25.9%)、次いで情報通信産業157万人(24.7%)、製造業84万人(13.2%)等となっている(図表3-7)。

2010年のユビキタスネットワーク関連市場87.6兆円の雇用数は279万人である(上記モデル式による計測)。そのうち、情報通信産業の雇用数が最も多く130万人(46.6%)、次いで運輸53万人(18.8%)、製造業41万人(14.7%)となっている(図表3-8)。

2003~2009年までのユビキタスネットワーク関連市場の最終需要による生産誘発額を試算(予測2010年情報通信産業連関表による計測)した。その結果、2003年~2010年までの生産誘発額の累計は611.1兆円となる(図表3-9)。

図表3-7 2010年ユビキタスネットワーク関連市場の最終需要による生産誘発額、雇用誘発数

	生産誘発額		雇用誘発数	
	(億円)	(%)	(万人)	(%)
情報通信産業	451,552	37.5%	157	24.7%
製造業	250,085	20.7%	84	13.2%
商業	141,390	11.7%	165	25.9%
運輸	85,812	7.1%	73	11.4%
金融・保険	79,001	6.6%	32	5.1%
対事業所サービス	78,173	6.5%	69	10.8%
建設(電気通信施設建設を除く)	35,410	2.9%	22	3.5%
不動産	20,358	1.7%	1	0.2%
農林水産業	14,121	1.2%	5	0.8%
電力・ガス・熱供給業	13,218	1.1%	1	0.2%
対個人サービス	11,871	1.0%	13	2.1%
教育	5,932	0.5%	6	1.0%
水道・廃棄物処理	3,666	0.3%	2	0.3%
医療・保健、その他の公共サービス	2,503	0.2%	3	0.5%
公務	2,279	0.2%	1	0.2%
事務用品	2,168	0.2%	0	0.0%
鉱業	646	0.1%	0	0.0%
分類不明	7,069	0.6%	1	0.2%
合計	1,205,255	100.0%	636	100.0%

図表3-8 2010年ユビキタスネットワーク関連市場の雇用数

	雇用誘発数	
	(万人)	(%)
情報通信産業	130	46.6%
運輸	53	18.8%
製造業	41	14.7%
建設(電気通信施設建設を除く)	18	6.4%
金融・保険	15	5.2%
対個人サービス	12	4.3%
教育	5	1.9%
商業	3	1.0%
農林水産業	2	0.7%
公務	1	0.4%
合計	279	100.0%

図表 3-9 2003 - 2010 年ユビキタスネットワーク関連市場の
最終需要による生産誘発額（試算）

単位：億円

	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2003-2010年計
情報通信産業	134,330	165,358	204,984	263,132	317,588	370,359	416,078	451,552	2,323,380
製造業	85,661	99,663	117,895	139,256	161,889	187,878	217,728	250,085	1,260,056
商業	51,184	58,559	68,064	80,529	93,154	107,203	123,661	141,390	723,744
運輸	17,798	23,421	30,839	40,087	49,882	60,466	72,165	85,812	380,469
金融・保険	20,327	26,630	34,633	43,813	52,664	61,406	70,218	79,001	388,693
対事業所サービス	20,672	26,409	33,423	43,131	52,681	62,212	70,848	78,173	387,550
建設（電気通信施設建設を除く）	19,839	23,713	27,212	29,985	31,931	33,356	34,493	35,410	235,940
不動産	5,567	7,132	9,070	11,605	13,974	16,269	18,448	20,358	102,423
農林水産業	1,982	2,790	3,757	4,960	6,449	8,415	11,048	14,121	53,521
電力・ガス・熱供給業	4,150	5,029	6,160	7,485	8,849	10,250	11,718	13,218	66,859
対個人サービス	3,967	5,412	6,742	7,978	9,053	10,056	10,905	11,871	65,985
教育	1,350	1,926	3,638	2,641	4,859	5,213	5,572	5,932	31,130
水道・廃棄物処理	1,035	1,310	1,670	2,046	2,448	2,844	3,248	3,666	18,267
医療・保健、その他の公共サービス	769	943	1,162	1,431	1,695	1,968	2,237	2,503	12,708
公務	521	693	894	1,123	1,374	1,650	1,950	2,279	10,484
事務用品	606	746	920	1,166	1,417	1,682	1,935	2,168	10,641
鉱業	214	259	313	375	437	502	572	646	3,319
分類不明	2,211	2,690	3,324	4,071	4,831	5,583	6,340	7,069	36,118
合計	372,183	452,684	554,701	684,814	815,175	947,312	1,079,164	1,205,255	6,111,287

2003-2009年の額は予測2010年情報通信産業連関表による計測値である。

第4章 情報通信産業の経済規模等の分析

第4章 情報通信産業の経済規模等の分析

1. 日本における情報通信産業の範囲

情報通信産業の範囲は、「通信業」、「放送業」、「情報サービス業」、「映像・音声・文字情報制作業」、「情報通信関連製造業」、「情報通信関連サービス業」、「情報通信関連建設業」、「研究」の8部門から成り、また、各部門は図表4-1のように情報通信産業連関表の対応する部門から構成されている。

図表4-1 日本の情報通信産業の範囲

情報通信産業の範囲	情報通信産業連関表の部門
1. 通信業	
郵便	郵便
固定電気通信	地域電気通信 長距離電気通信 その他の電気通信
移動電気通信	移動電気通信
電気通信に付帯するサービス	電気通信に付帯するサービス
2. 放送業	
公共放送	公共放送
民間放送	民間テレビジョン放送 民間ラジオ放送 民間衛星放送
有線放送	有線テレビジョン放送 有線ラジオ放送
3. 情報サービス業	
ソフトウェア	ゲームソフト ソフトウェア(コンピュータ用)
情報処理・提供サービス	情報処理サービス 情報提供サービス
4. 映像・音声・文字情報制作業	
映像情報制作・配給	映像情報ソフト 放送番組制作
新聞	新聞
出版	出版
ニュース供給	ニュース供給
5. 情報通信関連製造業	
通信ケーブル製造	通信ケーブル
有線通信機械器具製造	有線電機通信機器
無線通信機械器具製造	無線電機通信機器
ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器製造	ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器
電気音響機械器具製造	電気音響機器
電子計算機・同付属装置製造	電子計算機・同付属装置
磁気テープ・磁気ディスク製造	磁気テープ・磁気ディスク
事務用機械器具製造	事務用機器
情報記録物製造	情報記録物製造業
6. 情報通信関連サービス業	
情報通信機器賃貸業	電子計算機・同関連機器賃貸業 事務用機器賃貸業(電算機を除く) 通信機械器具賃貸業
広告業	広告
印刷・製版・製本業	印刷・製版・製本
映画・劇場等	映画館・劇場等
7. 情報通信関連建設業	
電気通信施設建設業	電気通信施設建設
8. 研究	
研究	研究

2. 日本における情報通信産業の国内生産額、国内総生産及び雇用者数の推計方法

国内生産額（産出額）

情報通信産業の国内生産額の推計は、1995～2002年について行った。推計の始時点となる1995年のデータは、「平成7年産業連関表」（総務庁）（以下、基本表という）を組換え集計した「平成7年郵政産業連関表」（以下、郵政表という）から引用した。96～2002年の名目データは、郵政表を延長した情報通信産業連関表を作成することにより求めた。延長推計に用いた資料を図表4-2に示す。また、実質国内生産額は、「卸売物価指数」（日本銀行）、「企業向けサービス価格指数」（日本銀行）等により上記の各年の連関表の各部門に対応するデフレータを別途推計し、このデフレータを用いて実質化した。デフレータの推計に用いた資料を図表4-3に示す。

国内総生産（GDP）

国内総生産の推計は、1995～2002年について行った。国内総生産は、上記の96年～2002年の情報通信産業連関表の粗付加価値額から家計外消費支出（行）を差し引くことにより求められる。名目の国内総生産の推計は、国民経済計算（内閣府）（以下、SNAという）の付表「経済活動別の国内総生産・要素所得」及び「SNA産業連関表」を基に推計を行った。実質国内総生産の推計は、まず、情報通信産業連関表の家計外消費支出（行）を実質家計外消費支出（列）から作成したインプリシットデフレータを用いて実質化し、名目国内総生産をダブルインフレーション方式により実質した。

雇用者数

雇用者数の推計は、1995～2002年について行った。1995年のデータは、郵政表の産業別雇用者数を引用した。1996～2000年の情報通信産業の雇用者数は、図表4-4にあるように有価証券報告書、通信産業実態調査等により雇用者数の推計を行い、また一般産業の雇用者数は、平成13年事業所・企業統計、工業統計等により推計を行い、これらが労働力調査年報の産業分類（14分類）の伸び率と等しくなるように調整したものを情報通信産業の雇用者数とした。

図表4 - 2 1996年から2002年の国内生産額(産出額)、GDP推計資料

No.	部門名	使用資料名
001	郵便	総務省業務資料
002	地域電気通信	有価証券報告書(NTT東日本、NTT西日本等)
003	長距離電気通信	通信産業実態調査(経営体財務調査)
		有価証券報告書(NTTcom)
005	移動電気通信	総務省資料
006	その他の電気通信	通信産業動態調査
007	電気通信に付帯するサービス	総務省資料
008	公共放送	NHK損益計算書
009	民間テレビジョン放送	総務省資料
010	民間ラジオ放送	総務省資料
011	民間衛星放送	総務省資料
012	有線テレビジョン放送	総務省資料
013	有線ラジオ放送	有線ブロードネットワークス(株)資料
		総務省資料
014	出版	出版年鑑
015	新聞	(社)新聞協会資料
016	映画館・劇場等	第3次産業活動指数、CPI、(社)映画協会資料
017	ニュース供給	サービス業基本調査
018	映像情報ソフト	第3次産業活動指数、有価証券報告書、CPI
019	放送番組制作	有価証券報告書、民間放送年鑑
020	ゲームソフト	2002CESAゲーム白書
021	ソフトウェア(コンピュータ用)	特定サービス産業実態調査
022	情報処理サービス	特定サービス業実態調査報告書(情報サービス業編)
023	情報提供サービス	特定サービス業実態調査報告書(情報サービス業編)
024	広告	特定サービス産業動態統計
025	印刷・製版・製本	工業統計表、(社)新聞協会資料、出版年鑑
026	情報記録物製造業	(社)日本レコード協会、有価証券報告書(任天堂)
027	事務用機械	工業統計表、機械統計年報
028	電気音響機器	工業統計表、機械統計年報
029	ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器	工業統計表、機械統計年報
030	電子計算機・同付属装置	工業統計表、機械統計年報
031	有線電気通信機器	機械統計年報
032	無線電気通信機器	工業統計表、機械統計年報
033	磁気テープ・磁気ディスク	工業統計表、機械統計年報
034	通信ケーブル	資源統計年報
035	電子計算機・同関連機器賃貸業	特定サービス産業実態調査
036	事務用機器賃貸業(電算機を除く)	特定サービス産業実態調査
037	通信機械器具賃貸業	特定サービス業実態調査報告書(物品賃貸業編)
038	電気通信施設建設	通信産業設備投資等実態調査
039	研究	科学技術研究調査

図表4 - 3 1996年～2002年のデフレーター推計資料

No.	部門名	資料名	品目
001	郵便	企業向けサービス価格指数	郵便
002	地域電気通信	企業向けサービス価格指数	国内電話、ISDN、データ伝送 国内専用回線
003	長距離電気通信(国内)	企業向けサービス価格指数	国内電話、ISDN、データ伝送 国内専用回線
	長距離電気通信(国際)	企業向けサービス価格指数	国際電話、国際専用回線
004	移動電気通信	企業向けサービス価格指数	移動通信
005	その他の電気通信	投入コスト法	-
006	電気通信に付帯するサービス	投入コスト法	-
007	公共放送	消費者物価指数	受信料
008	民間テレビジョン放送	企業向けサービス価格指数	テレビCM
009	民間ラジオ放送	企業向けサービス価格指数	ラジオCM
010	民間衛星放送	消費者物価指数	放送受信料(NHK以外)
011	有線テレビジョン放送	企業向けサービス価格指数	有線放送
012	有線ラジオ放送	企業向けサービス価格指数	有線放送
013	出版	卸売物価指数	週刊誌、月刊誌、辞典 学習参考書、教科書
014	新聞	卸売物価指数	日刊新聞
015	映画館・劇場等	消費者物価指数	映画観覧料
016	ニュース供給	国民経済計算	GDPデフレーター
017	映像情報ソフト	国民経済計算	GDPデフレーター
018	放送番組制作	国民経済計算	GDPデフレーター
019	ゲームソフト(国内)	CESAゲーム白書	出荷額/出荷数量
	ゲームソフト(海外)	CESAゲーム白書	出荷額/出荷数量
020	ソフトウェア(コンピュータ用)	企業向けサービス価格指数	ソフトウェア
021	情報処理サービス	企業向けサービス価格指数	データ処理
022	情報提供サービス	企業向けサービス価格指数	情報提供、市場調査
023	広告	企業向けサービス価格指数	広告
024	印刷・製版・製本	卸売物価指数	その他の印刷物
025	情報記録物製造業	卸売物価指数	オーディオレコード、ビデオレコード
026	事務用機械	卸売物価指数	事務用機器リース
027	電気音響機器	卸売物価指数	音声機器
028	ラジオ・テレビ受信機・ビデオ受信機	卸売物価指数	映像機器
029	電子計算機・同付属装置	卸売物価指数	電子計算機・同付属装置
030	有線電気通信機器	卸売物価指数	有線通信機器
031	無線電気通信機器	卸売物価指数	無線通信機器
032	磁気テープ・磁気ディスク	卸売物価指数	磁気ディスク
033	通信ケーブル	卸売物価指数	通信ケーブル
034	電子計算機・同関連機器賃貸業	企業向けサービス価格指数	電子計算機・同関連機器リース 電子計算機レンタル
035	事務用機器賃貸業(電算機を除く)	企業向けサービス価格指数	事務用機器リース
036	通信機械器具賃貸業	企業向けサービス価格指数	通信機器リース
037	電気通信施設建設	建設デフレーター	電気通信施設建設
038	研究	国民経済計算	GDPデフレーター

図表4 - 4 雇用者数推計資料

No.	部門名	使用資料名
001	郵便	日本の郵便
002	地域電気通信	総務省資料、有価証券報告書
003	長距離電気通信	第一種電気通信事業の動向、有価証券報告書
005	移動電気通信	移動電気通信事業の動向
006	その他の電気通信	その他の電気通信生産額
007	電気通信に付帯するサービス	電気通信に付帯するサービス
008	公共放送	NHK業務報告書
009	民間テレビジョン放送	日本民間放送年鑑
010	民間ラジオ放送	日本民間放送年鑑
011	民間衛星放送	通信産業基本調査
012	有線テレビジョン放送	通信産業基本調査
013	有線ラジオ放送	有価証券報告書
014	出版	工業統計表、事業所企業統計
015	新聞	工業統計表、事業所企業統計
016	映画館・劇場等	事業所企業統計
017	ニュース供給	事業所企業統計
018	映像情報ソフト	事業所企業統計、映像情報ソフト国内生産額
019	放送番組制作	事業所企業統計、放送番組国内生産額
020	ゲームソフト	ゲームソフト国内生産額
021	ソフトウェア(コンピュータ用)	特定サービス産業実態調査(情報サービス編)
022	情報処理サービス	特定サービス産業実態調査(情報サービス編)、事業所企業統計
023	情報提供サービス	特定サービス産業実態調査(情報サービス編)、事業所企業統計
024	広告	事業所企業統計
025	印刷・製版・製本	工業統計表、事業所企業統計
026	情報記録物製造業	工業統計表、事業所企業統計
027	事務用機械	工業統計表、事業所企業統計
028	電気音響機器	工業統計表、電気音響機器国内生産額
029	ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器	工業統計表、ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器国内生産額
030	電子計算機・同付属装置	工業統計表、事業所企業統計
031	有線電気通信機器	工業統計表、事業所企業統計、有線電気通信機器国内生産額
032	無線電気通信機器	工業統計表、事業所企業統計、無線電気通信機器国内生産額
033	磁気テープ・磁気ディスク	工業統計表、磁気テープ・磁気ディスク国内生産額
034	通信ケーブル	工業統計表、事業所企業統計、通信ケーブル国内生産額
035	電子計算機・同関連機器賃貸業	事業所企業統計、電子計算機・同関連機器賃貸業国内生産額
036	事務用機器賃貸業(電算機を除く)	事業所企業統計、事務用機器賃貸業国内生産額
037	通信機械器具賃貸業	事業所企業統計、通信機器賃貸業国内生産額
038	電気通信施設建設	事業所企業統計
039	研究	科学技術研究調査

3 . 米国における情報通信産業の範囲と国内生産額、国内総生産及び雇用者の推計方法

米国の情報通信産業の範囲は、日本との比較が可能となるように日本と同じ 8 部門から構成される。さらに、各部門する細品目については、米国標準産業分類 (SIC) から可能な限り日本と対応するように品目を選択した。また、国内生産額、粗付加価値額、雇用者についての推計は、図表 4-5 にあるように米国の 1 次統計データより引用するかたちをとった。但し、実質国内生産額の推計については、米国の基準年が 1996 年であるため、デフレータを 1995 年基準になるように推計し、実質額を推計した。

図表 4 - 5 米国 情報通信産業の範囲と国内生産額
国内総生産(付加価値)及び雇用者データの出所

	資料名
生産額	Annual Survey of Manufactures (Census Bureau) USPS Annual report (USPS) Service annual survey(Census Bureau) Current Industrial Reports (Census Bureau) Value of Product Shipment (Census Bureau) Construction Spending(Census Bureau) National expenditures for R&D (U.S.National Science Foundation)
付加価値額	Benchmark Input-Output Accounts(BEA) Annual Input-Output Accounts(BEA) GPC(Gross Domestic Product by industry, BEA) Annual Survey of Manufactures (Census Bureau) Annual Survey of Manufactures (Census Bureau) USPS Annual report (USPS)
物価指数	CPI (Consumer Price Index, BLS) PPI (Producer Price Index, BLS) GDP deflator(BEA) GOI (Implicit Price Deflator for Gross Output by industry, BEA) VOI (industry shipments chain type price indexes, BEA) GPIPD (Implicit Price Deflator for Gross Domestic Product by industry , BEA)
雇用者数	National Employment, Hours, and Earnings (BLS) National Occupational Employment and Wage Estimates (BLS) Economic Census (Census Bureau)

4. 日米における情報通信産業の比較

実質国内生産額

2002年、日本の情報通信産業の実質国内生産額は116.1兆円

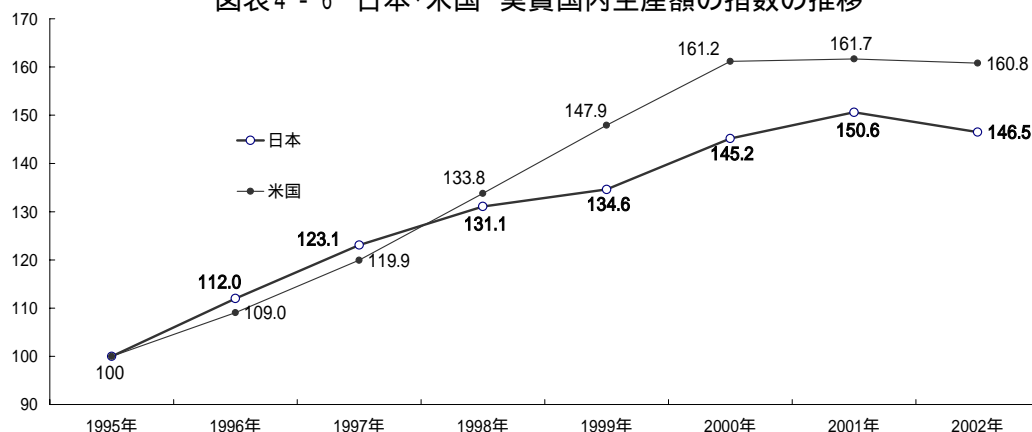
- 日本の情報通信産業の国内生産額は前年比2.7%減の116.1兆円。
- 米国の情報通信産業の国内生産額は前年比0.5%減の1.9兆ドル。
- 日米ともに96年以降、初のマイナス成長。

1995～2002年の日米における情報通信産業の実質国内生産額（1995年基準）の推移を1995年基準の指数により比較すると、日本の情報通信産業は、1997年までは米国を上回る成長を見せていた。1998年、1999年はその成長が鈍化し、2000～2001年に回復が見られたが、2002年は前年割れとなった。これは、各産業の設備投資が抑制されるなかで、電子計算機・同付属装置、有線・無線電気通信機器への投資も減少したことが要因となっている。一方、米国は、2000年までは、毎年ほぼ一定の割合で成長してきたが、2001年以降はほぼ横ばいに推移している（図表4-6）。

日本の情報通信産業の2002年における構成をみると、情報通信産連製造業の比率が2001年と比べて低下していることがわかる。また、米国では情報通信関連建設業が2001年と比べて上昇していることがわかる（図表4-7）。

1995～2001年における日本の情報通信産業の平均成長率は5.6%、一方、米国は7.0%である（図表4-8）。次に各部門の成長率（95～2002年平均）を比較してみると、日本が米国より上回っている部門は、通信業（日本10.9%、米国9.6%）、情報サービス業（日本11.3%、米国10.9%）、情報通信関連サービス業（日本3.7%、米国2.3%）となっている（図表4-8）。また、2000～2001年の成長率をみると、日本の情報通信関連製造業が-14.8%と大きく減少した（図表4-8）。一方、米国は、規模は小さいが情報通信関連建設業が大きく増加した。次に寄与度をみると、2001～2002年においては、日米ともにマイナス成長であるが、情報通信関連製造業がその要因になっていることがわかる（図表4-8～図表4-12）。

図表4-6 日本・米国 実質国内生産額の指数の推移



図表4 - 7 日本・米国 情報通信産業の構成比率(実質国内生産額)

日本 単位:%

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	15.9	16.6	18.1	19.4	20.9	21.6	21.9	22.4
2. 放送業	3.4	2.9	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.7
3. 情報サービス業	9.3	9.4	9.1	10.9	11.0	10.6	12.7	13.5
4. 映像・音声・文字情報制作業	8.1	7.3	6.8	6.7	6.5	6.0	5.7	5.8
5. 情報通信関連製造業	24.5	26.3	27.4	24.7	25.0	26.1	24.1	21.1
6. 情報通信関連サービス業	23.9	23.5	22.3	22.1	20.4	20.0	20.2	21.0
7. 情報通信関連建設業	1.0	0.8	0.9	1.1	1.4	1.6	1.3	1.2
8. 研究	13.9	13.3	12.7	12.5	12.3	11.7	11.6	12.4
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

米国 単位:%

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	23.8	24.4	24.0	23.5	24.5	25.7	27.9	28.2
2. 放送業	5.9	5.6	5.2	5.1	4.9	4.8	5.0	5.4
3. 情報サービス業	12.7	13.5	14.4	15.8	16.1	16.0	16.3	16.3
4. 映像・音声・文字情報制作業	12.4	11.5	10.6	10.2	9.6	9.2	8.7	8.9
5. 情報通信関連製造業	17.5	18.5	20.4	20.9	21.4	21.8	19.6	18.2
6. 情報通信関連サービス業	11.9	11.3	10.6	10.7	10.0	9.5	8.9	8.7
7. 情報通信関連建設業	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.8
8. 研究	15.5	15.0	14.4	13.6	13.0	12.7	13.2	13.6
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表4 - 8 日本・米国 情報通信産業の各部門の成長率(実質国内生産額)

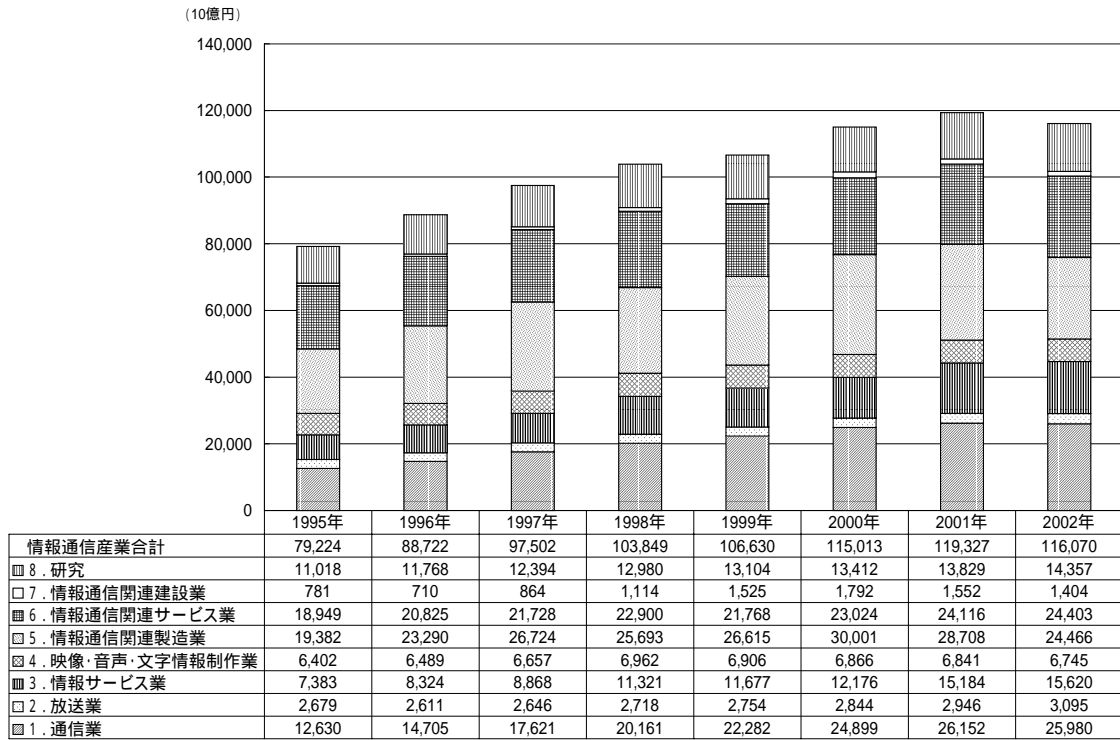
日本 成長率 単位:%

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~'00年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
1. 通信業	16.4	19.8	14.4	10.5	11.7	5.0	-0.7	10.9
2. 放送業	-2.5	1.3	2.7	1.3	3.2	3.6	5.1	2.1
3. 情報サービス業	12.7	6.5	27.7	3.1	4.3	24.7	2.9	11.3
4. 映像・音声・文字情報制作業	1.3	2.6	4.6	-0.8	-0.6	-0.4	-1.4	0.7
5. 情報通信関連製造業	20.2	14.7	-3.9	3.6	12.7	-4.3	-14.8	3.4
6. 情報通信関連サービス業	9.9	4.3	5.4	-4.9	5.8	4.7	1.2	3.7
7. 情報通信関連建設業	-9.1	21.6	29.0	36.9	17.5	-13.4	-9.5	8.7
8. 研究	6.8	5.3	4.7	1.0	2.3	3.1	3.8	3.9
情報通信産業 成長率	12.0	9.9	6.5	2.7	7.9	3.8	-2.7	5.6

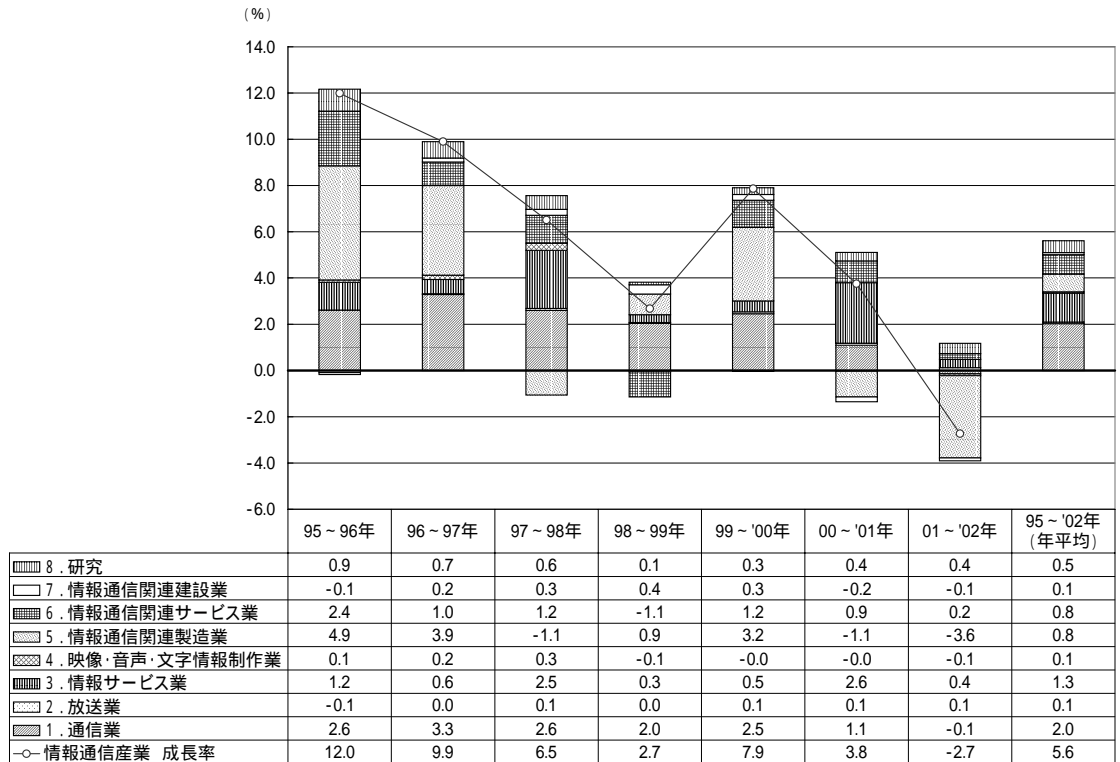
米国 成長率 単位:%

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~'00年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
1. 通信業	11.5	8.3	8.9	15.7	14.2	8.7	0.6	9.6
2. 放送業	4.1	2.2	8.9	6.9	5.9	5.9	7.0	5.8
3. 情報サービス業	15.7	17.7	22.2	12.8	8.2	2.1	-0.4	10.9
4. 映像・音声・文字情報制作業	0.7	2.1	7.4	3.7	3.9	-4.4	0.9	2.0
5. 情報通信関連製造業	15.3	21.7	14.1	13.5	10.7	-9.6	-7.6	7.7
6. 情報通信関連サービス業	3.9	3.3	12.3	3.3	4.1	-6.2	-3.5	2.3
7. 情報通信関連建設業	0.8	3.9	-2.5	50.0	-0.8	-5.7	132.3	18.7
8. 研究	5.4	5.5	5.5	6.0	6.2	4.2	2.3	5.0
情報通信産業 成長率	9.0	10.0	11.5	10.6	9.0	0.3	-0.5	7.0

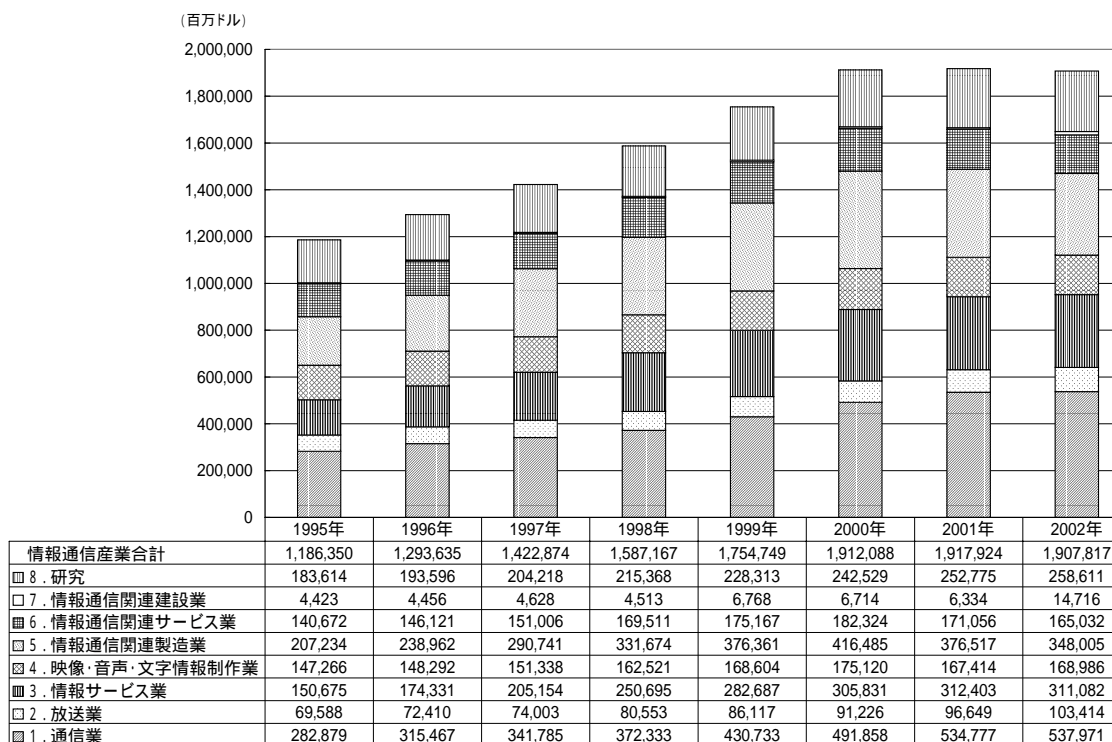
図表4 - 9 日本 情報通信産業 実質国内生産額の推移



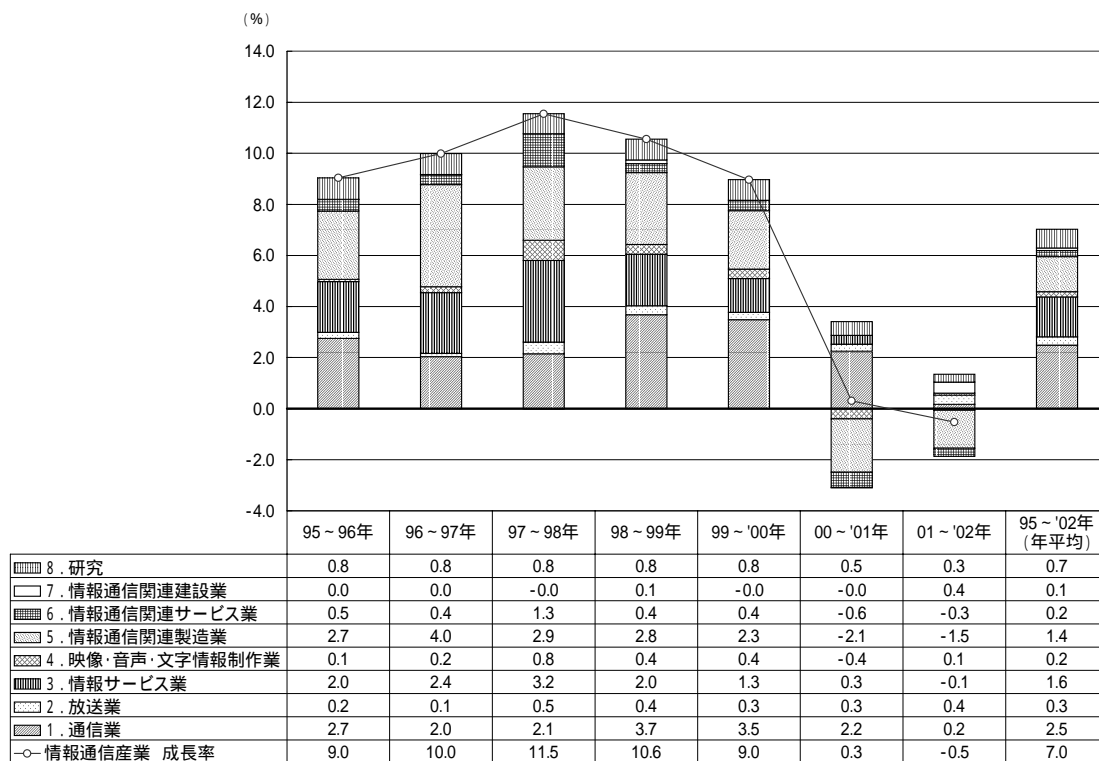
図表4 - 10 日本 情報通信産業 実質国内生産額の成長率及び部門別寄与度の推移



図表4 - 11 米国 情報通信産業 実質国内生産額の推移



図表4 - 12 米国 情報通信産業 実質国内生産額の成長率及び部門別寄与度の推移



実質 GDP

2002 年、日本の情報通信産業の実質 GDP は 61.1 兆円

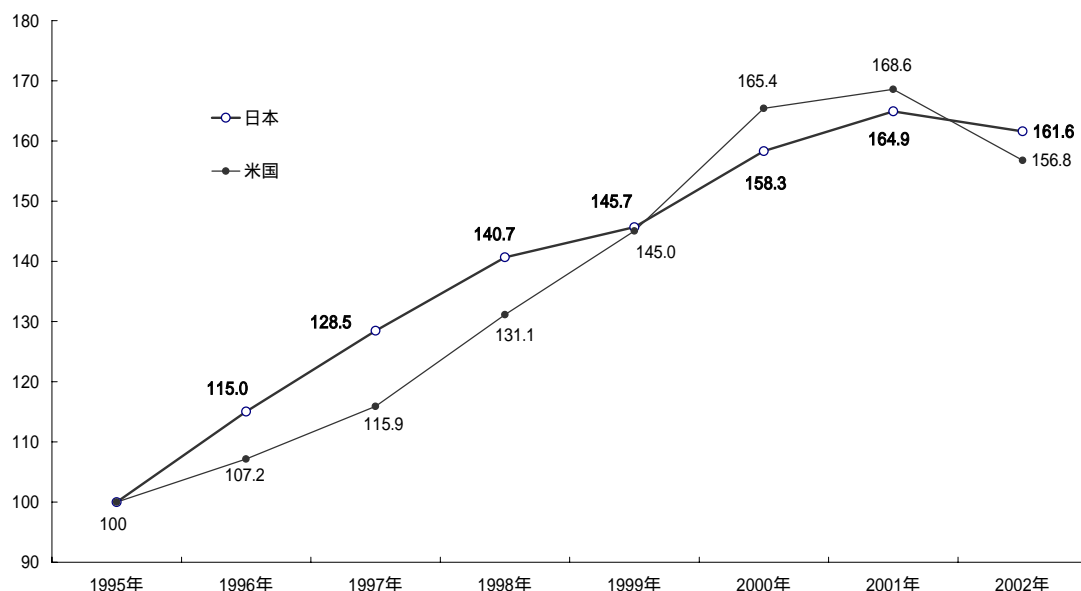
- 日本の情報通信産業の GDP は前年比 2.0% 減の 61.1 兆円。
- 米国の情報通信産業の GDP は前年比 7.0% 減の 1.1 兆ドル。

1995 年から 2002 年までの日米における情報通信産業の実質 GDP (1995 年基準) の推移を 1995 年基準の指数により比較すると、日本は、98~99 年に伸びが鈍化し、2000 年、2001 年は回復したものの 2002 年は前年割れとなった。米国は 2000~2001 年において日本を上回っていたが 2002 年は日本を下回る水準となった (図表 4 - 13)。

日米の情報通信産業の実質 GDP の構成をみると、日本は 2001 年と比較して顕著な差は見られない。一方、米国は情報通信関連製造業の比率が大きく低下した (図表 4 - 14)。

日米における情報通信産業の 95~2002 年の平均成長率は、日本が -2.0%、米国が -7.0% であり米国のほうが日本より低下率が大きい。2001~2002 年をみると、日本では放送業が 3 年連続のマイナス成長から脱し 10.6% の高成長となったものの、情報通信関連製造業、情報通信関連建設業はともに 2 年連続のマイナス成長となっている。一方、米国でも情報通信関連製造業が -20.7% と大きく減少した。また、成長への寄与度 (寄与率) をみると、95~2002 年では両国ともに通信業、情報通信関連製造業の寄与が大きいことがわかるが、2001~2002 年においては、情報通信関連製造業がマイナス成長の大きな要因になっていることがわかる (図表 4 - 16、図表 4 - 17、図表 4 - 20)。

図表 4 - 13 日本・米国 実質 GDP の指数の推移



図表4 - 14 日本・米国 情報通信産業の構成比率(実質 GDP)

日本 単位: %

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	22.9	23.6	25.4	26.5	27.1	26.6	26.3	26.1
2. 放送業	3.1	2.4	2.1	2.1	2.0	1.7	1.5	1.7
3. 情報サービス業	11.8	11.4	10.7	12.5	12.5	12.2	14.0	14.2
4. 映像・音声・文字情報制作業	7.1	6.2	5.6	5.2	5.0	4.6	4.3	4.2
5. 情報通信関連製造業	12.6	14.8	16.6	15.4	16.9	19.0	18.5	17.0
6. 情報通信関連サービス業	23.2	23.9	22.7	22.1	20.1	19.9	20.2	21.3
7. 情報通信関連建設業	1.0	0.8	0.8	0.9	1.2	1.3	1.1	1.0
8. 研究	18.3	16.9	16.0	15.3	15.2	14.8	14.1	14.5
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

米国 単位: %

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	27.6	28.2	26.7	25.0	25.1	24.9	26.7	27.5
2. 放送業	7.1	6.1	5.5	4.9	4.5	4.1	4.6	5.2
3. 情報サービス業	12.8	13.6	14.2	14.9	15.0	14.1	13.7	14.1
4. 映像・音声・文字情報制作業	13.1	12.3	11.5	11.4	10.5	9.5	8.9	9.1
5. 情報通信関連製造業	11.5	13.1	16.5	19.6	22.1	26.3	25.6	21.8
6. 情報通信関連サービス業	11.3	10.5	9.7	9.4	8.7	7.9	7.1	7.1
7. 情報通信関連建設業	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.5
8. 研究	16.3	16.0	15.6	14.5	13.9	13.0	13.3	14.6
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表4 - 15 日本・米国 情報通信産業の各部門の成長率(実質 GDP)

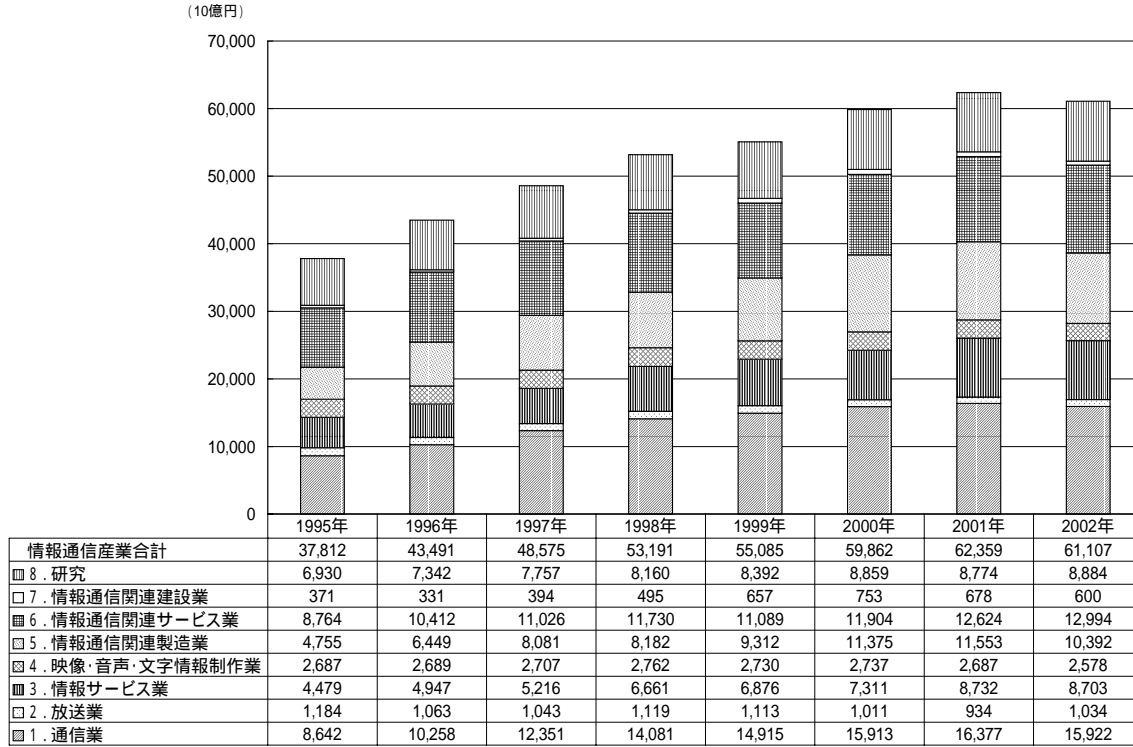
日本 成長率

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~'00年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
1. 通信業	18.7	20.4	14.0	5.9	6.7	2.9	-2.8	9.1
2. 放送業	-10.2	-1.8	7.2	-0.5	-9.2	-7.6	10.6	-1.9
3. 情報サービス業	10.4	5.4	27.7	3.2	6.3	19.4	-0.3	10.0
4. 映像・音声・文字情報制作業	0.1	0.7	2.0	-1.1	0.3	-1.8	-4.1	-0.6
5. 情報通信関連製造業	35.6	25.3	1.3	13.8	22.2	1.6	-10.0	11.8
6. 情報通信関連サービス業	18.8	5.9	6.4	-5.5	7.3	6.1	2.9	5.8
7. 情報通信関連建設業	-10.7	18.9	25.7	32.8	14.5	-9.9	-11.5	7.1
8. 研究	5.9	5.7	5.2	2.8	5.6	-1.0	1.3	3.6
情報通信産業 成長率	15.0	11.7	9.5	3.6	8.7	4.2	-2.0	7.1

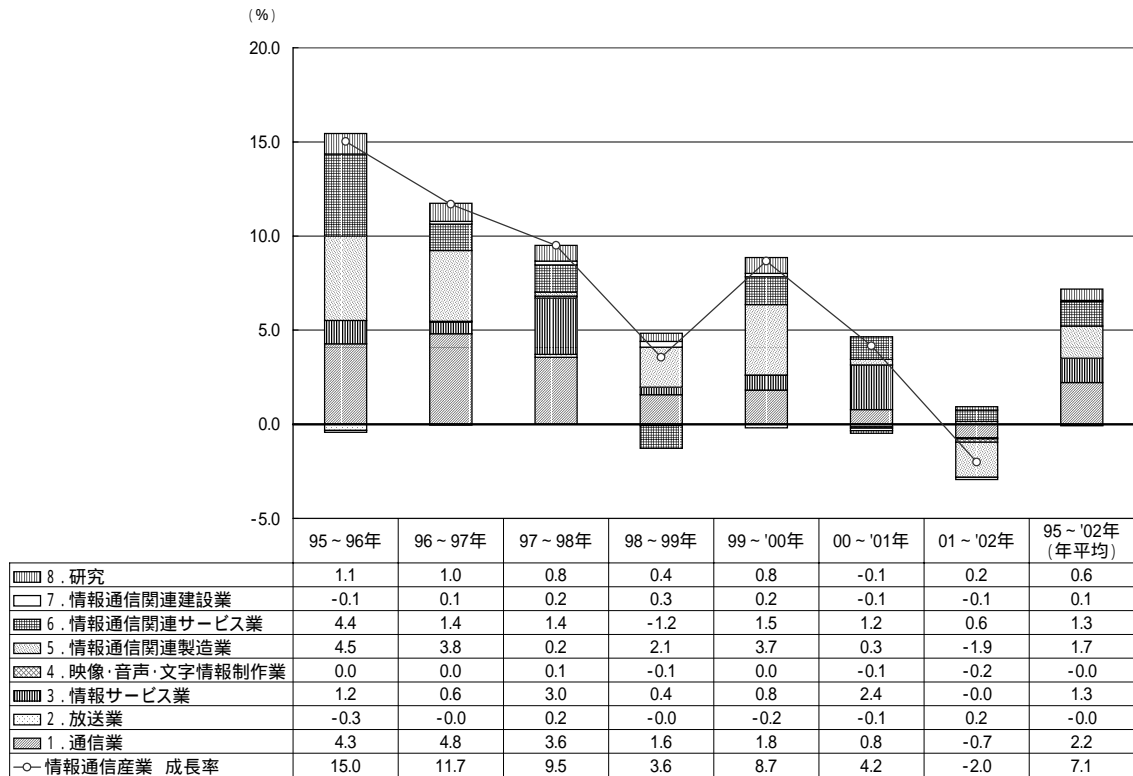
米国 成長率

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~'00年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
1. 通信業	9.4	2.5	6.0	11.0	13.1	9.3	-4.3	6.6
2. 放送業	-8.0	-1.7	0.9	2.3	3.8	12.4	6.7	2.2
3. 情報サービス業	13.3	13.4	18.5	10.9	7.5	-1.1	-4.0	8.1
4. 映像・音声・文字情報制作業	0.7	0.9	12.3	1.8	2.6	-4.5	-4.2	1.2
5. 情報通信関連製造業	22.3	36.1	34.3	24.4	36.2	-0.9	-20.7	16.9
6. 情報通信関連サービス業	-1.2	0.3	9.9	1.7	3.8	-7.7	-7.1	-0.2
7. 情報通信関連建設業	2.9	1.9	-6.9	39.5	-4.1	-7.7	151.2	17.2
8. 研究	5.4	5.5	5.4	6.1	6.4	4.0	1.9	4.9
情報通信産業 成長率	7.2	8.2	13.1	10.6	14.1	1.9	-7.0	6.6

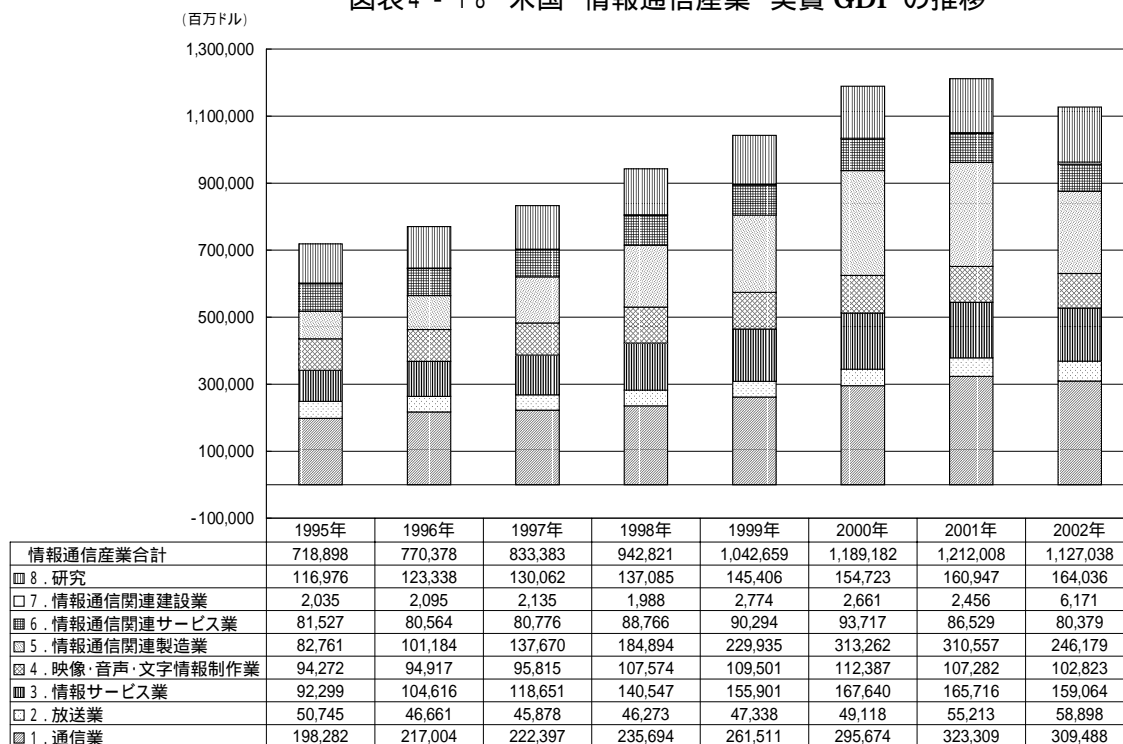
図表4 - 16 日本 情報通信産業 実質 GDP の推移



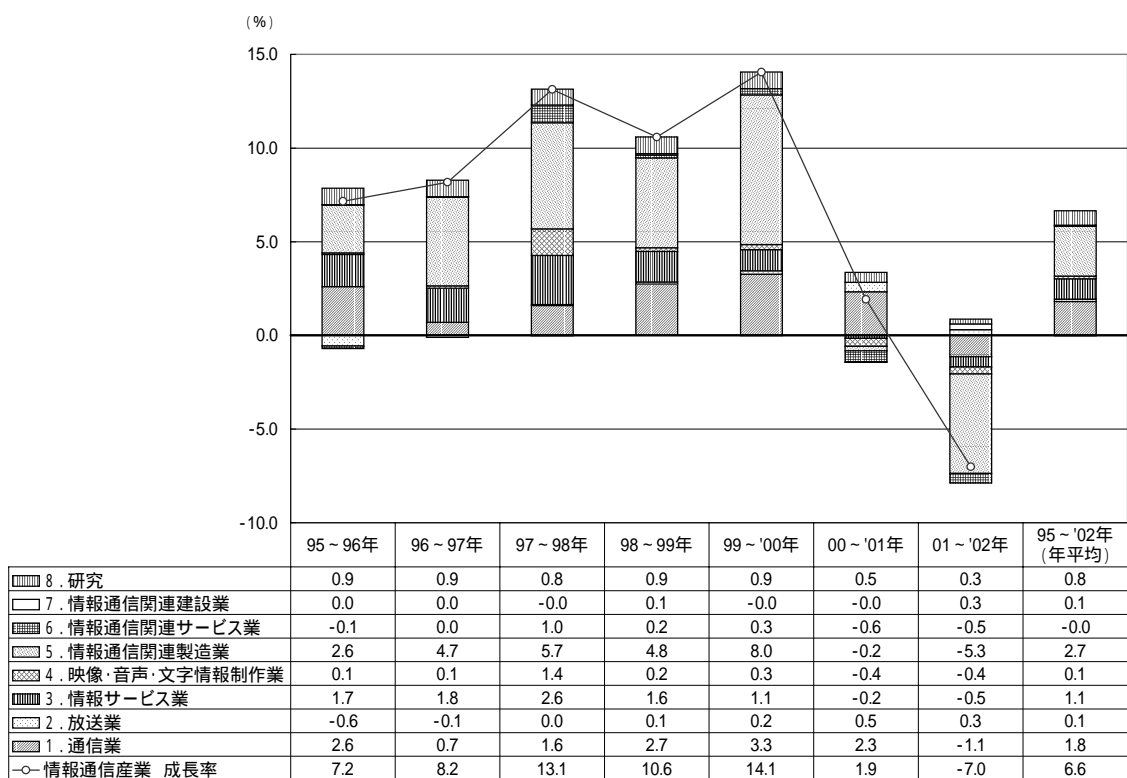
図表4 - 17 日本 情報通信産業 実質 GDP の成長率及び部門別寄与度の推移



図表4 - 18 米国 情報通信産業 実質 GDP の推移



図表4 - 19 米国 情報通信産業 実質 GDP の成長率及び部門別寄与度の推移



図表4 - 20 日本・米国 情報通信産業 実質 GDP の寄与率の推移

日本寄与率

	95～96年	96～97年	97～98年	98～99年	99～'00年	00～'01年	01～'02年	95～'02年 (年平均)
1. 通信業	28.5	41.2	37.5	44.1	20.9	18.6	36.3	31.3
2. 放送業	-2.1	-0.4	1.6	-0.3	-2.1	-3.1	-7.9	-0.6
3. 情報サービス業	8.2	5.3	31.3	11.3	9.1	56.9	2.3	18.1
4. 映像・音声・文字情報制作業	0.0	0.4	1.2	-1.7	0.1	-2.0	8.8	-0.5
5. 情報通信関連製造業	29.8	32.1	2.2	59.6	43.2	7.1	92.7	24.2
6. 情報通信関連サービス業	29.0	12.1	15.3	-33.8	17.0	28.9	-29.6	18.2
7. 情報通信関連建設業	-0.7	1.2	2.2	8.6	2.0	-3.0	6.2	1.0
8. 研究	7.3	8.2	8.7	12.2	9.8	-3.4	-8.8	8.4
情報通信産業 成長率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

米国寄与率

	95～96年	96～97年	97～98年	98～99年	99～'00年	00～'01年	01～'02年	95～'02年 (年平均)
1. 通信業	36.4	8.6	12.2	25.9	23.3	121.1	16.3	27.2
2. 放送業	-7.9	-1.2	0.4	1.1	1.2	26.7	-4.3	2.0
3. 情報サービス業	23.9	22.3	20.0	15.4	8.0	-8.4	7.8	16.4
4. 映像・音声・文字情報制作業	1.3	1.4	10.7	1.9	2.0	-22.4	5.2	2.1
5. 情報通信関連製造業	35.8	57.9	43.2	45.1	56.9	-11.8	75.8	40.0
6. 情報通信関連サービス業	-1.9	0.3	7.3	1.5	2.3	-31.5	7.2	-0.3
7. 情報通信関連建設業	0.1	0.1	-0.1	0.8	-0.1	-0.9	-4.4	1.0
8. 研究	12.4	10.7	6.4	8.3	6.4	27.3	-3.6	11.5
情報通信産業 成長率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

雇用者数

2002年、日本の情報通信産業の雇用者数は364.5万人

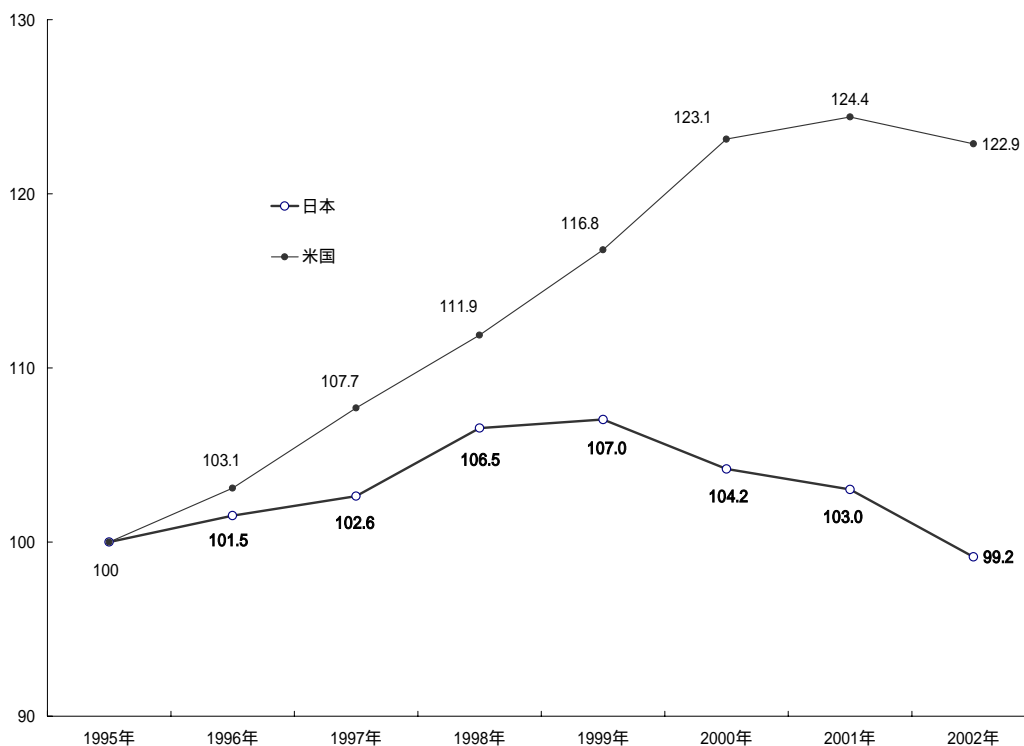
- 日本の情報通信関連製造業の雇用者数は前年比 - 19.7%減の35.4万人。
- 米国の情報通信産業の雇用者数は前年比 - 1.2%減の840万人。

1995年～2001年までの日米における情報通信産業の雇用者数を1995年基準の指数により比較すると、米国は2000年までは直線的に増加していたが、2001年に伸びが鈍化し、2002年においては前年割れの水準となった。一方、日本は1998年までは米国と比較して低調ではあったものの雇用者数は1999年までは増加していたが、2000年以降は3年連続して前年割れの水準となり、2002年は1995年の水準をも下回った（図表4-21）。

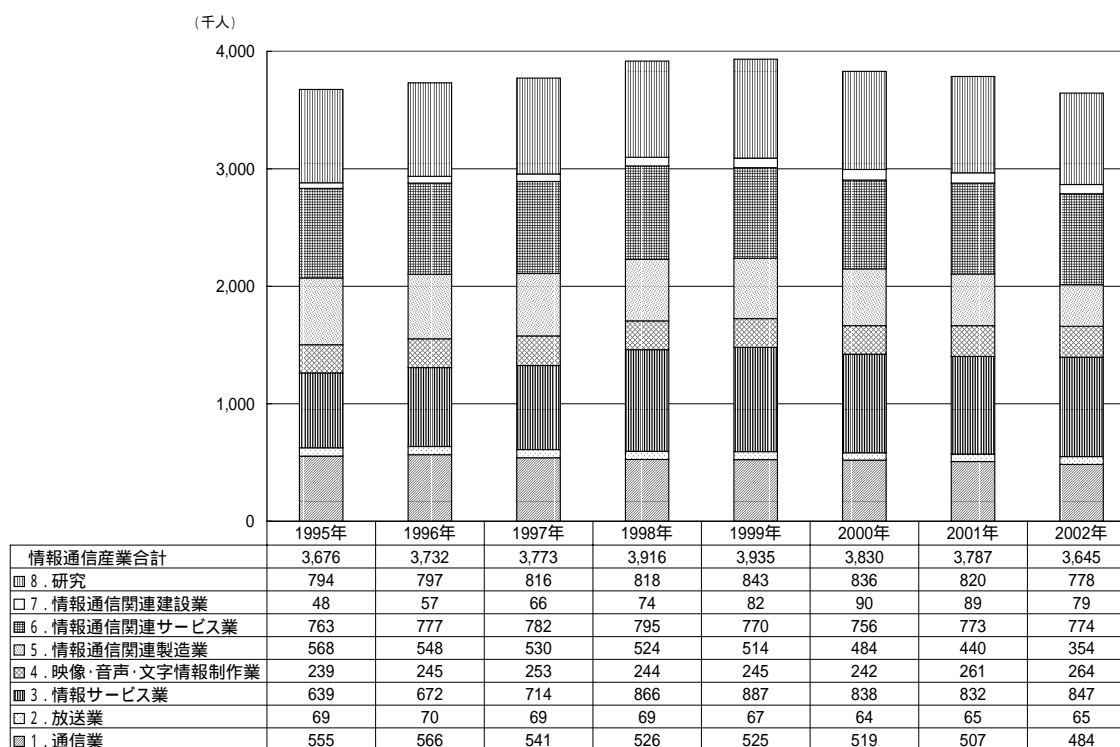
2002年における日本の情報通信産業の雇用者数は364.5万人、一方、米国は839.7万人であり（図表4-22、図表4-23）1995年からの平均成長率は日本が-0.1%、米国が3.0%となっている（図表4-25）。日米の雇用者数の構成をみると、両国とも95～2002年の間の構成比率の顕著な変化は見られない（図表4-24）。

次に各部門の成長率をみると、95～2002年の平均成長率で日本が米国を上回っている部門は、映像・音声・文字情報制作業のみである。また、情報通信関連製造業においては日米ともマイナス成長であり、日本は7年連続、米国は4年連続のマイナス成長となっている。（図表4-25）。

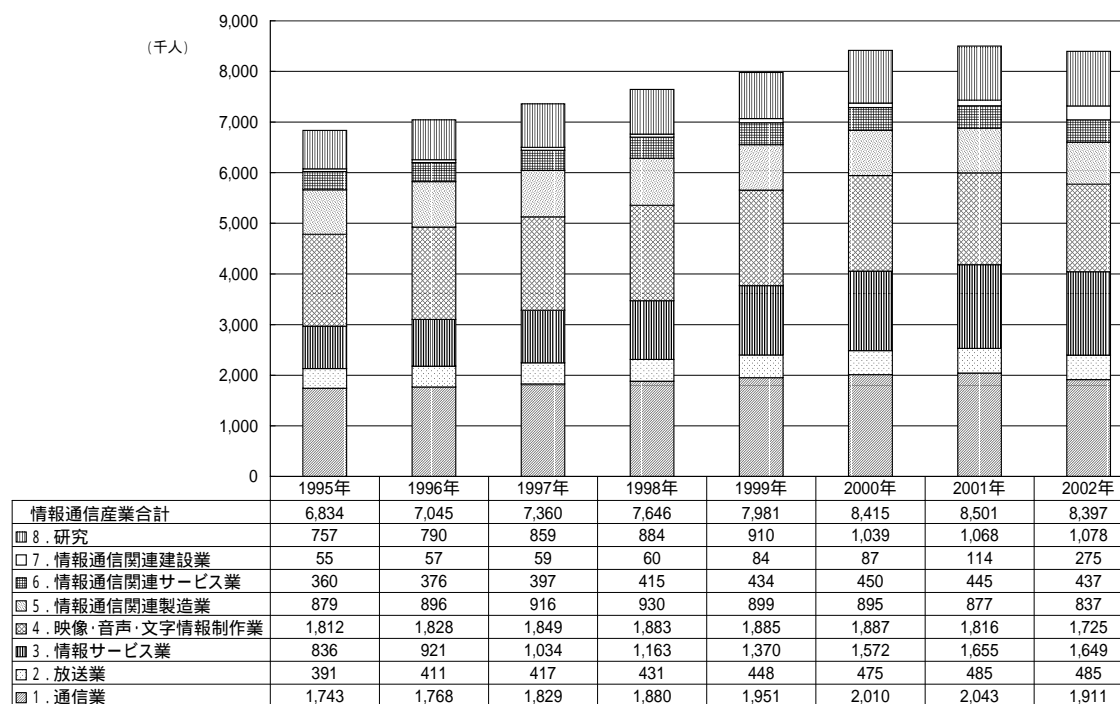
図表4-21 日本・米国 情報通信産業 雇用者数の指数の推移



図表4 - 22 日本 情報通信産業の雇用者数の推移



図表4 - 23 米国 情報通信産業の雇用者数の推移



印刷・製版・製本業は、情報通信関連サービス業に含まれるべきだが、統計の制約上、映像・音声・文字情報制作業に入れてあり、これらの部門については日米比較ができない。

図表4 - 24 日本・米国 情報通信産業の雇用者数の構成比率

日本 単位：%

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	15.1	15.2	14.4	13.4	13.3	13.6	13.4	13.3
2. 放送業	1.9	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8
3. 情報サービス業	17.4	18.0	18.9	22.1	22.5	21.9	22.0	23.2
4. 映像・音声・文字情報制作業	6.5	6.6	6.7	6.2	6.2	6.3	6.9	7.2
5. 情報通信関連製造業	15.5	14.7	14.1	13.4	13.1	12.6	11.6	9.7
6. 情報通信関連サービス業	20.8	20.8	20.7	20.3	19.6	19.7	20.4	21.2
7. 情報通信関連建設業	1.3	1.5	1.7	1.9	2.1	2.3	2.4	2.2
8. 研究	21.6	21.3	21.6	20.9	21.4	21.8	21.6	21.3
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

米国 単位：%

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	25.5	25.1	24.8	24.6	24.4	23.9	24.0	22.8
2. 放送業	5.7	5.8	5.7	5.6	5.6	5.6	5.7	5.8
3. 情報サービス業	12.2	13.1	14.0	15.2	17.2	18.7	19.5	19.6
4. 映像・音声・文字情報制作業	26.5	25.9	25.1	24.6	23.6	22.4	21.4	20.5
5. 情報通信関連製造業	12.9	12.7	12.5	12.2	11.3	10.6	10.3	10.0
6. 情報通信関連サービス業	5.3	5.3	5.4	5.4	5.4	5.3	5.2	5.2
7. 情報通信関連建設業	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1	1.0	1.3	3.3
8. 研究	11.1	11.2	11.7	11.6	11.4	12.3	12.6	12.8
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

図表4 - 25 日本・米国 情報通信産業の雇用者数の成長率

日本 成長率

	95～96年	96～97年	97～98年	98～99年	99～'00年	00～'01年	01～'02年	95～'02年 (年平均)
1. 通信業	2.1	-4.4	-2.9	-0.2	-1.0	-2.4	-4.6	-1.9
2. 放送業	0.7	-0.2	-0.9	-2.3	-4.4	1.1	0.4	-0.8
3. 情報サービス業	5.2	6.3	21.2	2.5	-5.5	-0.8	1.8	4.1
4. 映像・音声・文字情報制作業	2.5	3.4	-3.5	0.4	-1.2	7.5	1.3	1.4
5. 情報通信関連製造業	-3.5	-3.3	-1.2	-1.8	-5.8	-9.1	-19.7	-6.5
6. 情報通信関連サービス業	1.8	0.7	1.6	-3.2	-1.8	2.3	0.1	0.2
7. 情報通信関連建設業	17.1	16.1	12.7	10.9	9.0	-0.5	-11.3	7.3
8. 研究	0.3	2.4	0.3	3.1	-0.9	-1.9	-5.1	-0.3
情報通信産業 成長率	1.5	1.1	3.8	0.5	-2.6	-1.1	-3.8	-0.1

米国 成長率

	95～96年	96～97年	97～98年	98～99年	99～'00年	00～'01年	01～'02年	95～'02年 (年平均)
1. 通信業	1.4	3.5	2.8	3.8	3.0	1.6	-6.5	1.3
2. 放送業	5.0	1.6	3.3	4.0	5.9	2.1	0.1	3.1
3. 情報サービス業	10.2	12.2	12.6	17.8	14.7	5.3	-0.4	10.2
4. 映像・音声・文字情報制作業	0.8	1.2	1.8	0.1	0.1	-3.8	-5.0	-0.7
5. 情報通信関連製造業	2.0	2.2	1.5	-3.3	-0.4	-2.1	-4.6	-0.7
6. 情報通信関連サービス業	4.2	5.6	4.6	4.6	3.7	-1.2	-1.7	2.8
7. 情報通信関連建設業	4.2	3.9	1.3	40.2	3.9	30.8	141.6	26.0
8. 研究	4.3	8.8	2.9	2.8	14.2	2.8	1.0	5.2
情報通信産業 成長率	3.1	4.5	3.9	4.4	5.4	1.0	-1.2	3.0

労働生産性

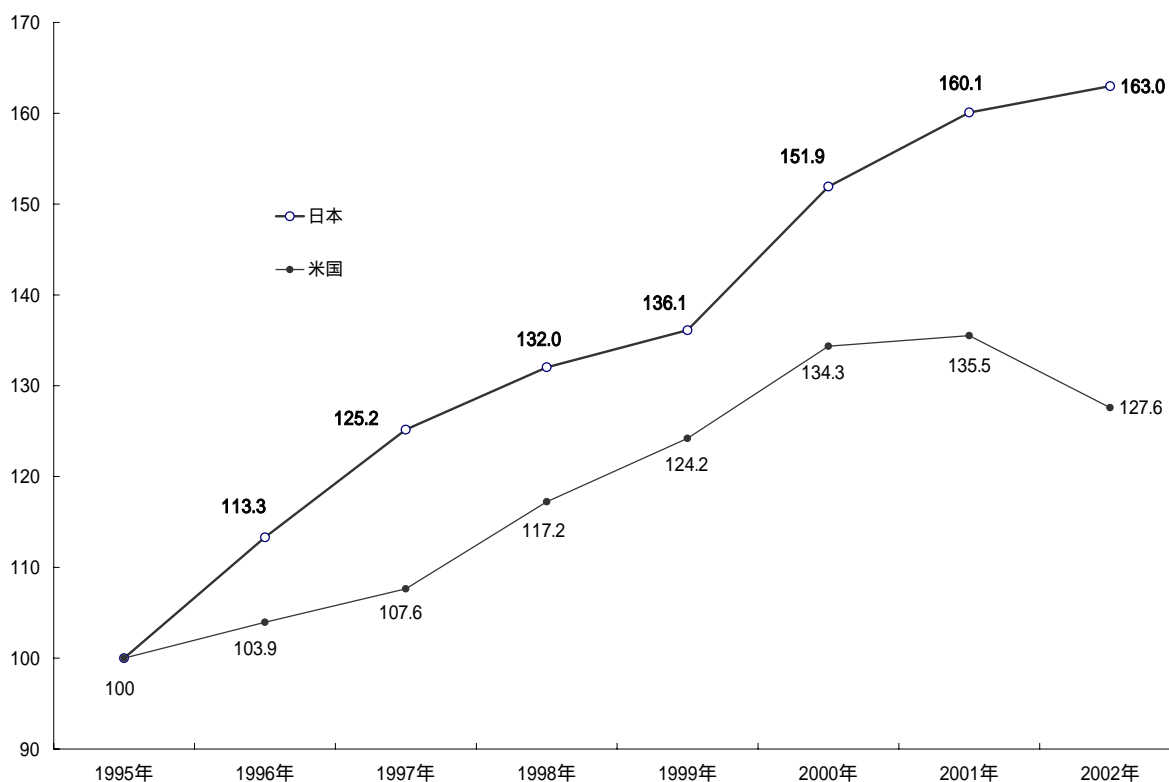
2002年、日本の情報通信産業の労働生産性は前年比1.8%増

➤ 放送業、情報通信関連製造業の労働生産性は前年比10.2%、12.0%。

1995～2002年における日米の情報通信産業の労働生産性（実質GDP÷雇用者数）の推移を1995年基準の指数により比較すると、日本は7年連続の増加となった。一方、米国は前年割れの水準となった（図表4-26）。

1995～2002年における日本の労働生産性成長率は1.8%である。この間、日本の雇用者数は1999年をピークに減少し続けており、近年の労働生産性上昇は、雇用者数の減少が要因となっている（図表4-27、図表4-28）。

図表4-26 日本・米国 労働生産性の指数の推移



図表4 - 27 日本 情報通信産業の労働生産性の推移

日本 単位:万円/人(95年価格)

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	1,558	1,812	2,281	2,677	2,842	3,064	3,229	3,290
2. 放送業	1,713	1,527	1,502	1,626	1,656	1,573	1,437	1,584
3. 情報サービス業	701	736	730	769	775	872	1,050	1,028
4. 映像・音声・文字情報制作業	1,124	1,097	1,069	1,130	1,113	1,129	1,031	977
5. 情報通信関連製造業	837	1,176	1,524	1,562	1,810	2,348	2,623	2,937
6. 情報通信関連サービス業	1,148	1,340	1,409	1,476	1,441	1,575	1,633	1,679
7. 情報通信関連建設業	766	584	598	666	798	838	759	757
8. 研究	873	922	951	997	995	1,060	1,070	1,142
情報通信産業合計	1,029	1,165	1,288	1,358	1,400	1,563	1,647	1,677

図表4 - 28 日本 情報通信産業の労働生産性成長率の推移

日本 成長率

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~'00年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
1. 通信業	16.3	25.9	17.4	6.1	7.8	5.4	1.9	11.3
2. 放送業	-10.9	-1.6	8.3	1.8	-5.1	-8.6	10.2	-1.1
3. 情報サービス業	5.0	-0.8	5.3	0.7	12.5	20.4	-2.1	5.6
4. 映像・音声・文字情報制作業	-2.4	-2.6	5.8	-1.5	1.5	-8.6	-5.3	-2.0
5. 情報通信関連製造業	40.5	29.6	2.5	15.9	29.7	11.7	12.0	19.6
6. 情報通信関連サービス業	16.7	5.2	4.7	-2.4	9.3	3.7	2.8	5.6
7. 情報通信関連建設業	-23.8	2.4	11.5	19.7	5.1	-9.5	-0.2	-0.2
8. 研究	5.6	3.2	4.9	-0.2	6.5	1.0	6.7	3.9
情報通信産業 成長率	13.3	10.5	5.5	3.1	11.6	5.4	1.8	7.2

5 . 日本における情報通信産業と一般産業との比較

一般産業の国内生産額、GDP、雇用者数の推計方法

情報通信産業と比較を行う一般産業として、鉄鋼、電気機械、輸送機械、建設、卸売、小売を取り上げる。以下で一般産業のデータ推計方法について述べる。

国内生産額は、「平成 14 年国民経済計算」の付表「経済活動別の国内総生産・要素所得」(以下、SNA)の産出額を引用した。ただし、鉄鋼、卸売、小売は SNA で対応する部門が一次金属(鉄鋼業と非鉄金属の合計)卸売・小売業になるので、鉄鋼については、「工業統計表」(経済産業省)から、卸売、小売については、「商業販売統計」(経済産業省)、「法人企業統計年報」(大蔵省)から各々の生産額を推計し、これの比率を用いて SNA の産出額を按分して推計した。

GDP(国内総生産)は「経済活動別の国内総生産・要素所得」のデータを引用した。

雇用者数は、「労働力調査年報」(総務省)の雇用者数データを引用した。ただし、鉄鋼、運輸は労働力調査年報で対応する部門が鉄鋼業・非鉄金属製造業、運輸・通信業となるので、「平成 14 年情報通信産業連関表」にある産業別雇用者数データを用いて、鉄鋼については按分し、運輸については通信の雇用者数を控除することにより推計した。

図表4 - 29 一般産業データの推計資料

産業	国内生産額	GDP	雇用者数
鉄鋼	国民経済計算 工業統計	国民経済計算	労働力調査年報 情報通信産業連関表
電気機械 (除情報通信機器)	国民経済計算 情報通信産業連関表	国民経済計算	労働力調査年報 情報通信産業連関表
輸送機械	国民経済計算	国民経済計算	労働力調査年報
建設 (除電気通信施設建設)	国民経済計算 情報通信産業連関表	国民経済計算 情報通信産業連関表	労働力調査年報 情報通信産業連関表
卸売	国民経済計算 商業販売統計 法人企業調査	国民経済計算	労働力調査年報
小売	国民経済計算 商業販売統計 法人企業調査	国民経済計算	労働力調査年報
運輸	国民経済計算 情報通信産業連関表	国民経済計算	労働力調査年報 情報通信産業連関表
情報通信産業	情報通信産業連関表		

実質国内生産額

2002年、情報通信産業の実質国内生産額は全産業の12.0%

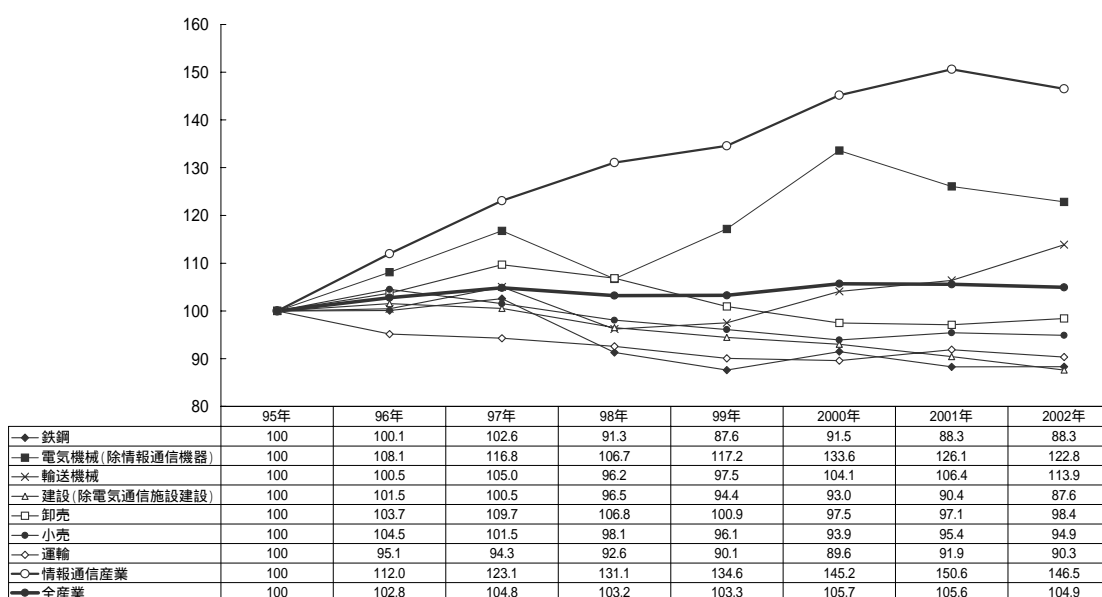
➤ 情報通信産業の実質国内生産額は1995年以降、初のマイナス成長となり、その規模は116.1兆円。

1995年から2002年における情報通信産業と一般産業の実質国内生産額(1995年基準)の指数の推移をみると、その水準は情報通信産業、電気機械、輸送機械、卸売、小売、建設、運輸、鉄鋼の順になっている(図表4-30)。

1995年の国内生産額の規模をみると、最も大きな産業は建設業(除電気通信施設建設)88兆円であり、次に情報通信産業79兆円であった。しかしながら、1997年に97.5兆円で最も規模の大きい産業となり、2002年においては116.1兆円で全産業の12.0%を占めるに至っている(図表4-31)。

1995~2002年における平均成長率をみると、情報通信産業が5.6%と最も大きいことがわかる。この間、情報通信産業の他にプラス成長した産業は、電気機械(除情報通信機器)3.0%、輸送機械1.9%である。2001~2002年の成長率をみると、情報通信産業は-2.7%のマイナス成長となっている。一般産業の中では、鉄鋼、輸送機械、卸売がプラス成長である以外はマイナス成長である。全産業平均の成長率は-0.6%であり、情報通信産業、建設業(除電気通信施設建設)が大きなマイナス要因となっていることがわかる(図表4-32、図表4-33)。

図表4-30 情報通信産業と一般産業 実質国内生産生産額の指数の推移



図表4 - 31 情報通信産業と一般産業 実質国内生産生産額の推移

(単位:10億円)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	20,866	20,884	21,400	19,052	18,278	19,088	18,417	18,427
電気機械 (除情報通信機器)	34,119	36,891	39,839	36,410	39,973	45,578	43,014	41,905
輸送機械	41,702	41,893	43,793	40,122	40,659	43,399	44,364	47,489
建設 (除電気通信施設建設)	87,632	88,975	88,065	84,533	82,756	81,498	79,247	76,766
卸売	66,194	68,652	72,613	70,727	66,808	64,517	64,265	65,138
小売	40,980	42,831	41,602	40,185	39,376	38,486	39,100	38,885
運輸	42,027	39,984	39,614	38,906	37,851	37,647	38,612	37,958
情報通信産業	79,224	88,722	97,502	103,849	106,630	115,013	119,327	116,070
全産業	923,870	949,606	968,491	953,383	954,099	976,418	975,378	969,402

図表4 - 32 情報通信産業と一般産業 実質国内生産生産額成長率の推移

(単位:%)

	95～96年	96～97年	97～98年	98～99年	99～2000年	00～'01年	01～'02年	95～'02年 (年平均)
鉄鋼	0.1	2.5	-11.0	-4.1	4.4	-3.5	0.1	-1.8
電気機械 (除情報通信機器)	8.1	8.0	-8.6	9.8	14.0	-5.6	-2.6	3.0
輸送機械	0.5	4.5	-8.4	1.3	6.7	2.2	7.0	1.9
建設 (除電気通信施設建設)	1.5	-1.0	-4.0	-2.1	-1.5	-2.8	-3.1	-1.9
卸売	3.7	5.8	-2.6	-5.5	-3.4	-0.4	1.4	-0.2
小売	4.5	-2.9	-3.4	-2.0	-2.3	1.6	-0.6	-0.7
運輸	-4.9	-0.9	-1.8	-2.7	-0.5	2.6	-1.7	-1.4
情報通信産業	12.0	9.9	6.5	2.7	7.9	3.8	-2.7	5.6
全産業成長率	2.8	2.0	-1.6	0.1	2.3	-0.1	-0.6	0.7

図表4 - 33 情報通信産業と一般産業 実質国内生産生産額寄与度の推移

(単位:%)

	95～96年	96～97年	97～98年	98～99年	99～2000年	00～'01年	01～'02年	95～'02年 (年平均)
鉄鋼	0.0	0.1	-0.2	-0.1	0.1	-0.1	0.0	-0.0
電気機械 (除情報通信機器)	0.3	0.3	-0.4	0.4	0.6	-0.3	-0.1	0.1
輸送機械	0.0	0.2	-0.4	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
建設 (除電気通信施設建設)	0.1	-0.1	-0.4	-0.2	-0.1	-0.2	-0.3	-0.2
卸売	0.3	0.4	-0.2	-0.4	-0.2	-0.0	0.1	-0.0
小売	0.2	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.0	-0.0
運輸	-0.2	-0.0	-0.1	-0.1	-0.0	0.1	-0.1	-0.1
情報通信産業	1.0	0.9	0.7	0.3	0.9	0.4	-0.3	0.6
全産業成長率	2.8	2.0	-1.6	0.1	2.3	-0.1	-0.6	0.7

実質 GDP

情報通信産業の実質 GDP の平均成長率は - 2.0%

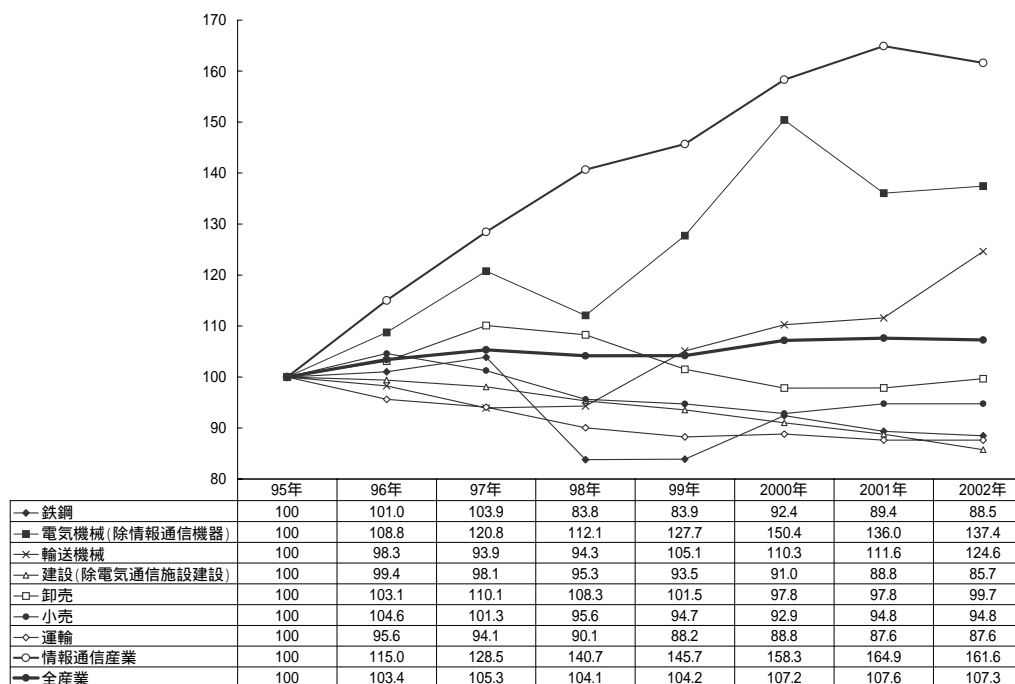
- 2002 年の情報通信産業の実質 GDP は 61 兆円であり、全産業に占める割合は 11.5%。
- 1995 ~ 2002 年における情報通信産業の実質 GDP 成長率は 7.1% と高水準。

1995 ~ 2002 年における情報通信産業と一般産業の実質 GDP (1995 年基準) の指数の推移をみると、成長の大きさは情報通信産業、電気機械、輸送機械、卸売、小売、鉄鋼、運輸、建設の順になっている (図表 4 - 34)。

1995 年の情報通信産業の GDP 規模をみると、最も大きな産業は卸売 47 兆円、次に建設 40 兆円、その次に情報通信産業 38 兆円となっている。しかしながら、98 年に 53 兆円で最も規模の大きい産業となり、2002 年において全産業の 11.5% を占めていることがわかる (図表 4 - 35)。

1995 ~ 2002 年における平均成長率をみると、情報通信産業が 7.1% と最も大きいことがわかる。この間、プラス成長した産業は、電気機械 (除情報通信機器) 4.6%、輸送機械 3.2% であり、マイナス成長した産業は鉄鋼 - 1.7%、建設 - 2.2%、卸売 - 0.0%、小売 - 0.8%、運輸 - 1.9% となっている。2001 ~ 2002 年の成長率をみると、輸送機械が 11.7% と大きく増加した。一方、情報通信産業が - 2.0% と減少しており、全産業平均の成長をマイナスにする要因となっている (図表 4 - 36、図表 4 - 37)。

図表 4 - 34 情報通信産業と一般産業 実質 GDP 指数の推移



図表4 - 35 情報通信産業と一般産業 実質 GDP の推移

(単位:10億円)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	6,041	6,102	6,277	5,062	5,068	5,585	5,398	5,345
電気機械 (除情報通信機器)	15,516	16,874	18,736	17,394	19,818	23,341	21,109	21,325
輸送機械	10,918	10,729	10,253	10,297	11,477	12,039	12,184	13,606
建設 (除電気通信施設建設)	40,470	40,225	39,688	38,582	37,856	36,837	35,928	34,700
卸売	46,647	48,099	51,361	50,513	47,350	45,639	45,644	46,488
小売	29,142	30,478	29,508	27,864	27,604	27,059	27,614	27,614
運輸	26,455	25,293	24,884	23,825	23,344	23,493	23,182	23,183
情報通信産業	37,812	43,491	48,575	53,191	55,085	59,862	62,359	61,107
全産業	496,912	513,893	523,421	517,515	517,811	532,542	534,852	532,962

図表4 - 36 情報通信産業と一般産業 実質 GDP 成長率の推移

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	1.0	2.9	-19.4	0.1	10.2	-3.3	-1.0	-1.7
電気機械 (除情報通信機器)	8.8	11.0	-7.2	13.9	17.8	-9.6	1.0	4.6
輸送機械	-1.7	-4.4	0.4	11.5	4.9	1.2	11.7	3.2
建設 (除電気通信施設建設)	-0.6	-1.3	-2.8	-1.9	-2.7	-2.5	-3.4	-2.2
卸売	3.1	6.8	-1.7	-6.3	-3.6	0.0	1.8	-0.0
小売	4.6	-3.2	-5.6	-0.9	-2.0	2.1	-0.0	-0.8
運輸	-4.4	-1.6	-4.3	-2.0	0.6	-1.3	0.0	-1.9
情報通信産業	15.0	11.7	9.5	3.6	8.7	4.2	-2.0	7.1
全産業成長率	3.4	1.9	-1.1	0.1	2.8	0.4	-0.4	1.0

図表4 - 37 情報通信産業と一般産業 実質 GDP 寄与度の推移

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	0.0	0.0	-0.2	0.0	0.1	-0.0	-0.0	-0.0
電気機械 (除情報通信機器)	0.3	0.4	-0.3	0.5	0.7	-0.4	0.0	0.2
輸送機械	-0.0	-0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.3	0.1
建設 (除電気通信施設建設)	-0.0	-0.1	-0.2	-0.1	-0.2	-0.2	-0.2	-0.2
卸売	0.3	0.6	-0.2	-0.6	-0.3	0.0	0.2	-0.0
小売	0.3	-0.2	-0.3	-0.1	-0.1	0.1	-0.0	-0.0
運輸	-0.2	-0.1	-0.2	-0.1	0.0	-0.1	0.0	-0.1
情報通信産業	1.1	1.0	0.9	0.4	0.9	0.5	-0.2	0.6
全産業成長率	3.4	1.9	-1.1	0.1	2.8	0.4	-0.4	1.0

雇用者数

情報通信産業の雇用者数は 364 万人、全産業の 6.8%

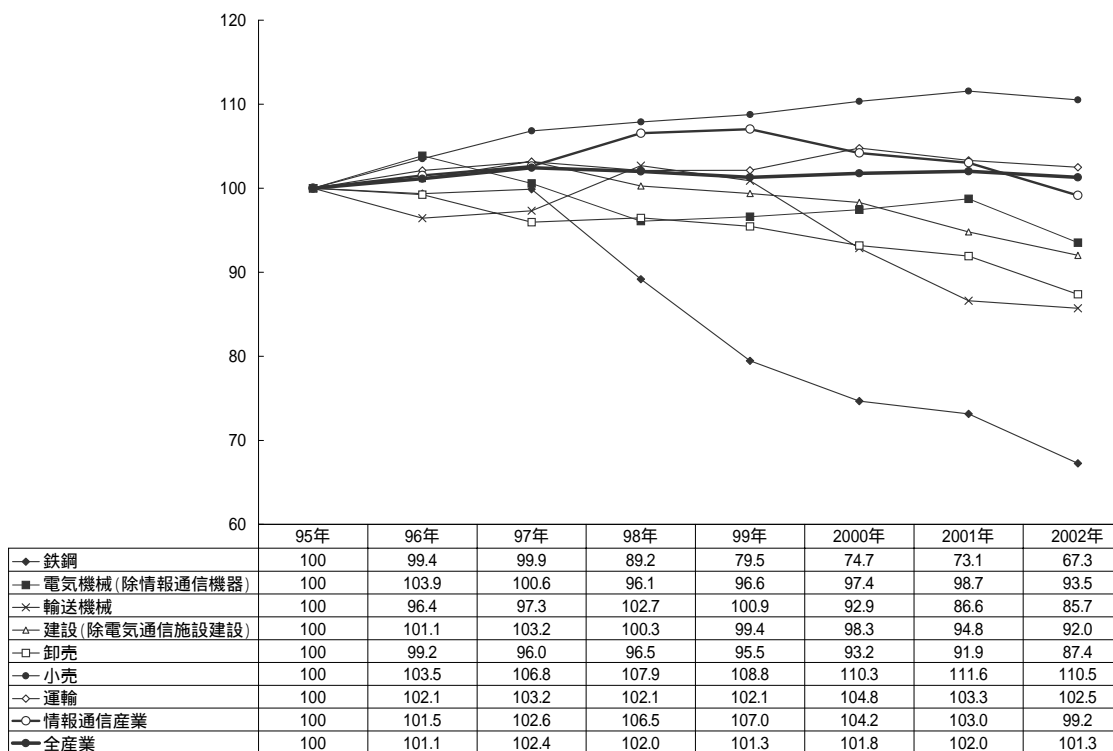
➤ 2002 年における情報通信産業の雇用者数は 368 万人。すべての産業で雇用者数減少。

1995～2002 年における情報通信産業と一般産業の雇用者数の指数の推移をみると、その水準は小売、運輸、情報通信産業、電気機械、建設、卸売、輸送機械、鉄鋼の順になっており、1995 年の水準を上回っている産業は小売、運輸のみである（図表 4 - 38）。

1995 年において雇用者数の規模の大きな産業を順に見ると小売 571 万人、建設 539 万人、卸売 396 万人、情報通信 368 万人であったが 2002 年には卸売を抜いて 364 万人となった（図表 4 - 39）。

1995～2002 年における平均成長率をみると、小売、運輸業を除いた産業はマイナス成長となっている。2001～2002 年においては、すべての産業の成長率がマイナスになっており、特に建設、卸売、情報通信産業が全産業平均をマイナス成長させる要因になっていることがわかる（図表 4 - 40、図表 4 - 41）。

図表 4 - 38 情報通信産業と一般産業 雇用者数指数の推移



図表4 - 39 情報通信産業と一般産業 雇用者数の推移

(単位:万人)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	37	36	37	33	29	27	27	25
電気機械 (除情報通信機器)	174	181	175	167	168	170	172	163
輸送機械	112	108	109	115	113	104	97	96
建設 (除電気通信施設建設)	539	545	556	541	536	530	511	496
卸売	396	393	380	382	378	369	364	346
小売	571	591	610	616	621	630	637	631
運輸	325	332	335	332	332	340	336	333
情報通信産業	368	373	377	392	393	383	379	364
全産業	5,263	5,323	5,391	5,368	5,331	5,356	5,369	5,331

図表4 - 40 情報通信産業と一般産業 雇用者数成長率の推移

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	-0.6	0.5	-10.7	-10.9	-6.0	-2.1	-8.0	-5.5
電気機械 (除情報通信機器)	3.9	-3.2	-4.5	0.5	0.9	1.3	-5.3	-1.0
輸送機械	-3.6	0.9	5.5	-1.7	-8.0	-6.7	-1.0	-2.2
建設 (除電気通信施設建設)	1.1	2.0	-2.8	-0.9	-1.1	-3.6	-2.9	-1.2
卸売	-0.8	-3.3	0.5	-1.0	-2.4	-1.4	-4.9	-1.9
小売	3.5	3.2	1.0	0.8	1.4	1.1	-0.9	1.4
運輸	2.1	1.0	-1.0	0.0	2.6	-1.4	-0.8	0.4
情報通信産業	1.5	1.1	3.8	0.5	-2.6	-1.1	-3.8	-0.1
全産業成長率	1.1	1.3	-0.4	-0.7	0.5	0.2	-0.7	0.2

図表4 - 41 情報通信産業と一般産業 雇用者数寄与度の推移

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	-0.0	0.0	-0.1	-0.1	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0
電気機械 (除情報通信機器)	0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.2	-0.0
輸送機械	-0.1	0.0	0.1	-0.0	-0.2	-0.1	-0.0	-0.0
建設 (除電気通信施設建設)	0.1	0.2	-0.3	-0.1	-0.1	-0.4	-0.3	-0.1
卸売	-0.1	-0.2	0.0	-0.1	-0.2	-0.1	-0.3	-0.1
小売	0.4	0.4	0.1	0.1	0.2	0.1	-0.1	0.2
運輸	0.1	0.1	-0.1	0.0	0.2	-0.1	-0.0	0.0
情報通信産業	0.1	0.1	0.3	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	-0.0
全産業成長率	1.1	1.3	-0.4	-0.7	0.5	0.2	-0.7	0.2

生産性

(1) 労働生産性

情報通信産業の労働生産性の成長率は前年比 1.8%

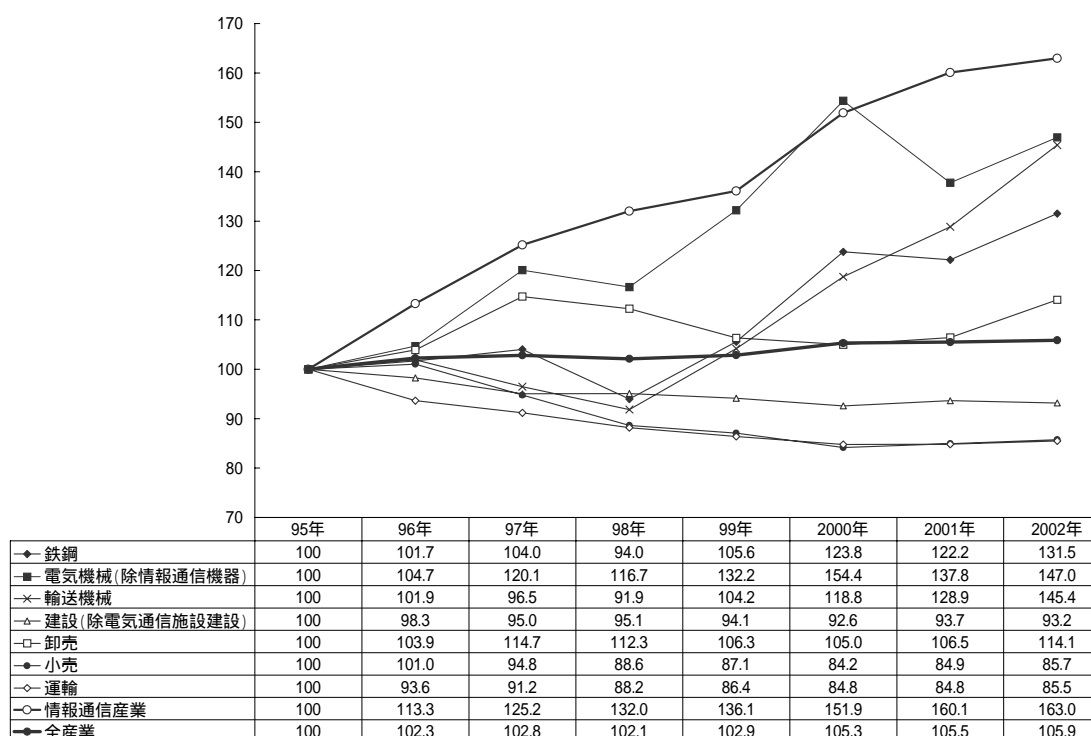
➤ 2002 年において、情報通信産業の労働生産性は前年比 1.8% 増の 1,677 万円/人。

1995～2002 年における情報通信産業と一般産業の労働生産性（実質 GDP ÷ 雇用者数）の指数の推移をみると、その水準は情報通信産業、電気機械（除情報通信機器）、輸送機械、鉄鋼、卸売、建設、小売、運輸の順になっており、情報通信産業は、最も成長の大きい産業であることがわかる（図表 4 - 4 2）。

1995 年における労働生産性の水準をみると、最も高い産業は鉄鋼 1649 万円/人、次に卸売 1178 万円/人、その次に情報通信産業 1027 万円/人となっているが、1998 年においては卸売を抜いて、2 番目に高い水準の産業となっている（図表 4 - 4 3）。

1995～2002 年において情報通信産業の労働生産性の平均成長率は 7.2% となっているが、その成長率は 2 年連続して鈍化した。また、輸送機械は 4 年連続のプラス成長となり情報通信産業との差は縮まりつつある（図表 4 - 4 4）。

図表 4 - 4 2 情報通信産業と一般産業 労働生産性指数の推移



図表4 - 43 情報通信産業と一般産業 労働生産性の推移

(単位:万円/人)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	1,649	1,677	1,715	1,549	1,741	2,041	2,015	2,169
電気機械 (除情報通信機器)	890	932	1,069	1,039	1,177	1,375	1,227	1,309
輸送機械	975	993	941	895	1,016	1,158	1,256	1,417
建設 (除電気通信施設建設)	751	738	713	714	707	695	703	699
卸売	1,178	1,224	1,352	1,322	1,253	1,237	1,254	1,344
小売	510	516	484	452	445	430	434	438
運輸	814	762	742	718	703	690	690	696
情報通信産業	1,029	1,165	1,288	1,358	1,400	1,563	1,647	1,677
全産業	944	965	971	964	971	994	996	1,000

図表4 - 44 情報通信産業と一般産業 労働生産性成長率の推移

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	1.7	2.3	-9.7	12.4	17.3	-1.3	7.7	4.0
電気機械 (除情報通信機器)	4.7	14.7	-2.8	13.3	16.8	-10.7	6.7	5.7
輸送機械	1.9	-5.3	-4.8	13.4	14.0	8.5	12.8	5.5
建設 (除電気通信施設建設)	-1.7	-3.3	0.1	-1.0	-1.6	1.1	-0.5	-1.0
卸売	3.9	10.4	-2.2	-5.3	-1.3	1.4	7.1	1.9
小売	1.0	-6.2	-6.5	-1.7	-3.4	0.9	0.9	-2.2
運輸	-6.4	-2.6	-3.3	-2.0	-1.9	0.1	0.8	-2.2
情報通信産業	13.3	10.5	5.5	3.1	11.6	5.4	1.8	7.2
全産業成長率	2.3	0.6	-0.7	0.8	2.4	0.2	0.4	0.8

(2) 全要素生産性成長率

ここでは、1995年と2002年の2時点の情報通信産業連関表を観測対象にして情報通信産業と一般産業の技術進歩率を計測する。

(計測方法)

今、ある産業部門について次のようなグロス概念の生産関数を考える。

$$X = f(L, K, Z, T) \dots \dots \dots$$

X : 実質国内生産額, L : 労働投入, K : 資本投入, Z : 原材料投入, T : 技術水準の指標

式を両辺で全微分して両辺を X で割り、

$$\begin{aligned} \frac{df}{X} &= \frac{\partial f}{\partial L} \frac{dL}{X} + \frac{\partial f}{\partial K} \frac{dK}{X} + \frac{\partial f}{\partial Z} \frac{dZ}{X} + \frac{\partial f}{\partial T} \frac{dT}{X} \dots \dots \dots \\ \Leftrightarrow \frac{df}{X} &= \frac{L}{X} \frac{\partial f}{\partial L} \frac{dL}{L} + \frac{K}{X} \frac{\partial f}{\partial K} \frac{dK}{K} + \frac{Z}{X} \frac{\partial f}{\partial Z} \frac{dZ}{Z} + \frac{T}{X} \frac{\partial f}{\partial T} \frac{dT}{T} \dots \dots \dots \quad (\because L \frac{1}{L} = 1, etc) \end{aligned}$$

となる。ここで、ある技術水準のもとで一次同次の次式のような生産関数が成立すると仮定するならば、すなわち

$$\theta X = f(\theta L, \theta K, \theta Z, T)$$

となるならば、上式を θ で微分した後に $\theta = 1$ とおけば、

$$\frac{L}{X} \frac{\partial f}{\partial L} + \frac{K}{X} \frac{\partial f}{\partial K} + \frac{Z}{X} \frac{\partial f}{\partial Z} = 1$$

が成り立つ。したがって、上記の仮定のもとで(上式の左辺を順に α 、 β 、 γ とする)

$$\begin{aligned} \frac{dT}{T} &= \frac{dX}{X} - \alpha \frac{dL}{L} - \beta \frac{dK}{K} - \gamma \frac{dZ}{Z} (\because X = f) \\ &= (\alpha + \beta + \gamma) \frac{dX}{X} - \alpha \frac{dL}{L} - \beta \frac{dK}{K} - \gamma \frac{dZ}{Z} (\because \alpha + \beta + \gamma = 1) \\ &= \alpha \left(\frac{dX}{X} - \frac{dL}{L} \right) + \beta \left(\frac{dX}{X} - \frac{dK}{K} \right) + \gamma \left(\frac{dX}{X} - \frac{dZ}{Z} \right) \\ &= \alpha d \left(\log \frac{X}{L} \right) + \beta d \left(\log \frac{X}{K} \right) + \gamma d \left(\log \frac{X}{Z} \right) \end{aligned}$$

と表せる。 α 、 β 、 γ は生産費用にしろる雇用者所得、減価償却費、中間投入額の比率である。

ゆえに、全要素生産性の成長率は、生産量の成長率から労働、資本、原材料の成長率に各々重みを付けたものを差し引いたものとも解釈できる。また、労働生産性、資本生産性、中間投入比率の逆数(原材料生産性)の成長率の加重平均とも解釈できる。

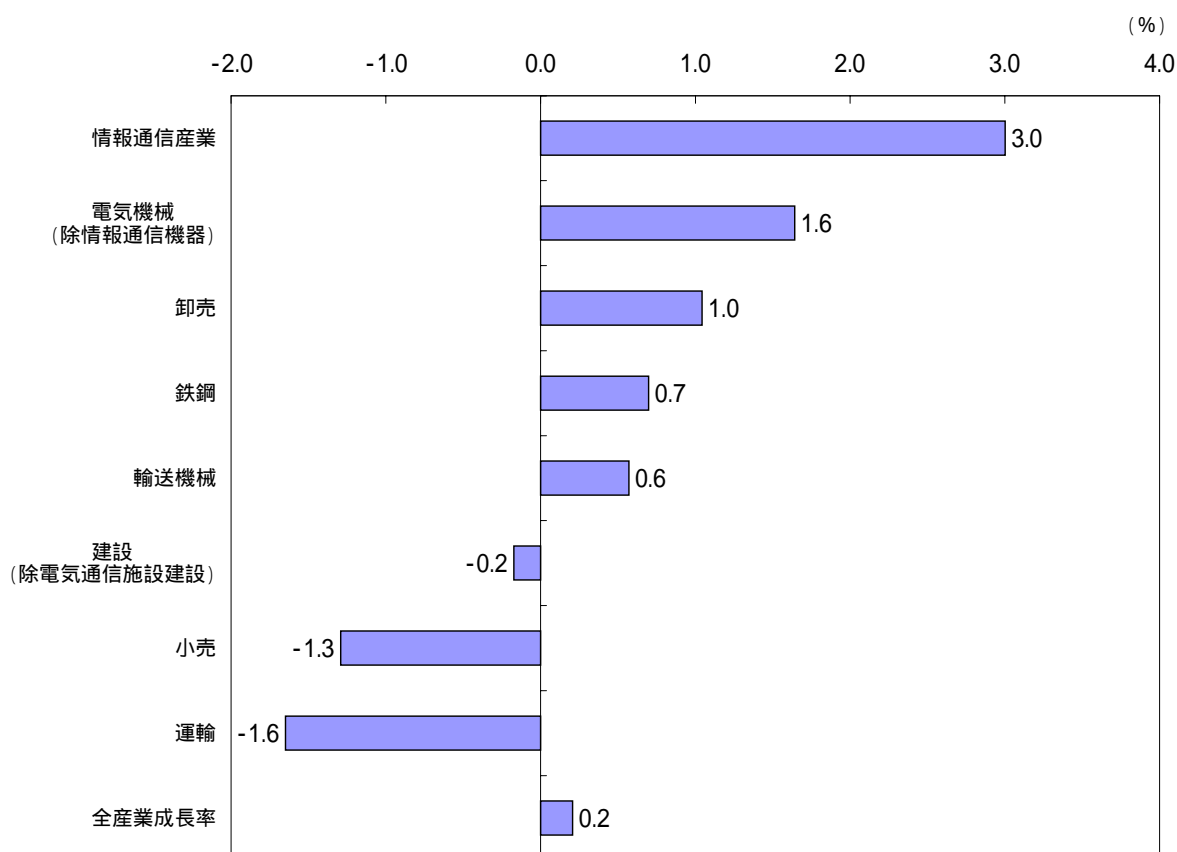
計測結果

情報通信産業の全要素生産性の成長率は3.0%

1995年から2002年における全産業の実質国内生産額の成長率は0.8%であり、その中で全要素生産性の成長による寄与は0.2%（寄与率24.9%）と低い（図表4-46）。産業別にみると全要素生産性の成長による寄与度の高い産業としては情報通信産業3.0%（53.6%）、電気機械1.6%（96.0%）であるが、一方、建設-0.2%（12.8%）、小売-1.2%（194.8%）、運輸-2.8%（185.9%）のように全要素生産性の成長が低い産業があり、全産業平均の生産性の伸びを低くしていることがわかる。

情報通信産業の実質国内生産額の成長率は5.6%であり、中間投入、労働、資本、全要素生産性の成長による寄与度（寄与率）は各々2.3%（40.3%）、-0.0%（-0.6%）、0.4%（6.7%）、3.0%（53.6%）となっており、全要素生産性の上昇が情報通信産業の成長の原動力になっている（図表4-45～図表4-47）。

図表4-45 情報通信産業と一般産業の全要素生産性の成長率



図表4 - 46 情報通信産業と一般産業の成長率の要因別寄与度(1995～2002年平均)

(単位:%)

	生産額 成長率	寄与度			
		中間	労働	資本	TFP
鉄鋼	-1.2	-1.2	-0.7	0.0	0.7
電気機械 (除情報通信機器)	1.7	0.3	-0.2	-0.0	1.6
輸送機械	2.2	1.6	-0.3	0.3	0.6
建設 (除電気通信施設建設)	-1.3	-0.7	-0.6	0.1	-0.2
卸売	0.1	0.5	-1.5	0.1	1.0
小売	-0.7	0.3	0.2	0.1	-1.3
運輸	-0.9	0.7	-0.1	0.1	-1.6
情報通信産業	5.6	2.3	-0.0	0.4	3.0
全産業成長率	0.8	0.3	-0.1	0.4	0.2

注) 情報通信産業連関表をベースに計算しているため
生産額の成長率は前記の産出額の成長率とは一致しない。

図表4 - 47 情報通信産業と一般産業の成長率への要因別寄与率(1995～2002年平均)

(単位:%)

	生産額 成長率	寄与率			
		中間	労働	資本	TFP
鉄鋼	100.0	102.3	57.7	-0.1	-60.0
電気機械 (除情報通信機器)	100.0	16.9	-12.6	-0.3	96.0
輸送機械	100.0	74.0	-13.0	13.2	25.8
建設 (除電気通信施設建設)	100.0	51.7	41.0	-5.6	12.8
卸売	100.0	421.9	-1,363.4	101.4	940.1
小売	100.0	-50.9	-25.0	-18.9	194.8
運輸	100.0	-83.9	7.2	-9.2	185.9
情報通信産業	100.0	40.3	-0.6	6.7	53.6
全産業成長率	100.0	37.4	-15.3	53.1	24.9

第5章 電子商取引市場規模の試算

第5章 電子商取引市場規模の試算

1. 推計方法

わが国産業が平成15年の1年間にWebを介して家計に販売したBtoCの市場規模を需要サイドから試算する。その方法は、個人が過去1年間に電子商取引によって購入した平均購入額にその電子商取引の利用者数を乗じて購入総額を推計するものである。

具体的には、下式に示すように、平成15年のわが国人口を年齢階層別に国勢調査（総務省）と平成13年簡易生命表（厚生労働省）から推計しておき、これに平成15年度通信利用動向調査から得られるインターネット利用者の割合（利用率）とインターネット利用者にしめる電子商取引利用者の割合（購入率）、電子商取引利用者の年間の平均購入金額を乗じて、積和として計算する方法である。なお、インターネットから購入する方法としては、パソコンを端末として使う場合と携帯電話を使う場合があるので、それぞれの場合に分けて計算したものを合算している。

$$X_{BtoC} = \sum_k \sum_j \sum_i P_{i,j} u_{i,j,k} r_{i,j,k} C_{i,j,k}$$

$k \in \{1,2\}, j \in \{1,2\}, i \in \{1,2,\dots,9\}$

X_{BtoC} : 企業から家計への販売額（購入者価格）

P : 人口

u : 人口に対するインターネット利用者の割合

r : インターネット利用者に対する電子商取引利用者の割合

C : 電子商取引利用者の年間平均購入額

j : 男女

i : 年齢階層（15歳以上）

k : パソコン又は携帯電話

2. 推計結果

推計結果は次表のとおりである。平成15年のBtoCの市場規模は、1兆9117億円と推計された。前年度調査で推計した平成14年の市場規模と比較すると、1兆5870億円から3247億円増加となり、市場は約2割拡大している。

図表 5-1 BtoC の市場規模

	平成15年 人口 (推計)	インターネット利用者							購入額					
		利用率	パソコンからインターネット利用 うち、 商品・サービス購入者			携帯電話からインターネット利用 うち、 商品・サービス購入者			パソコン	携帯電話	合計			
			利用率	購入率	年間購入額	利用率	購入率	年間購入額			(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)
			(%)	(%)	(円)	(%)	(%)	(円)						
(万人)	(%)	(%)	(%)	(円)	(%)	(%)	(円)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)			
男性	15-19歳	357	92.7	84.0	28.2	20,494	70.4	4.0	21,667	16,083	2,021	18,104	0.9	
	20-29歳	858	90.9	82.7	42.7	82,638	73.5	8.6	95,909	227,653	47,294	274,947	13.1	
	30-39歳	914	92.7	84.7	51.3	97,429	77.0	8.4	112,857	358,518	61,819	420,337	20.7	
	40-49歳	792	89.5	90.0	47.4	86,070	64.5	7.8	61,296	260,156	21,850	282,006	15.0	
	50-59歳	952	71.1	85.3	35.8	103,110	48.5	7.2	44,167	213,043	10,435	223,478	12.3	
	60-64歳	403	47.6	83.8	28.6	97,000	32.4	9.5	22,500	44,568	1,328	45,896	2.6	
	65-69歳	351	22.4	76.9	22.2	377,500	53.8		0	50,618	0	50,618	2.9	
	70-79歳	496	15.2	66.7	20.0	875,000	50.0		0	88,043	0	88,043	5.1	
	80歳以上	180	7.7	33.3	0.0	0	66.7		0	0	0	0	0.0	
計(15歳以上)	5,302								1,258,681	144,747	1,403,428	72.5		
女性	15-19歳	340	93.4	85.1	21.9	13,750	72.0	6.2	7,308	8,146	1,037	9,183	0.5	
	20-29歳	823	89.3	78.8	40.4	41,272	80.8	11.6	22,955	96,539	15,808	112,347	5.6	
	30-39歳	894	87.9	75.4	50.6	49,840	76.3	9.5	19,146	149,403	10,904	160,307	8.6	
	40-49歳	783	79.3	77.3	43.5	44,495	66.3	5.2	14,412	92,912	3,086	95,998	5.4	
	50-59歳	966	53.5	73.1	31.3	47,794	54.7	3.9	5,000	56,529	551	57,080	3.3	
	60-64歳	427	30.9	70.3	36.8	23,571	51.4	5.9	0	8,043	0	8,043	0.5	
	65-69歳	389	21.6	60.0	25.0	502,500	45.0	0.0	0	63,279	0	63,279	3.6	
	70-79歳	629	9.8	57.1	14.3	5,000	50.0	0.0	0	252	0	252	0.0	
	80歳以上	387	9.1	40.0	100.0	5,000	60.0	0.0	0	1,762	0	1,762	0.1	
計(15歳以上)	5,638								476,864	31,386	508,250	27.5		
計(15歳以上)	10,941								1,735,545	176,133	1,911,678	100.0		

出所：平成15年人口は「平成12年国勢調査」と平成13年簡易生命表から推計。

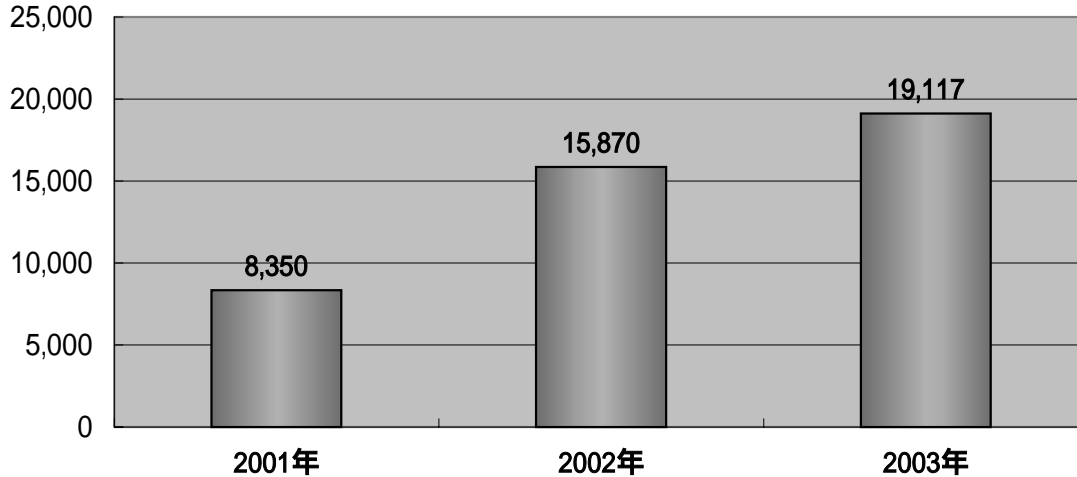
(注) 人口には平成12年国勢調査では年齢不詳が22.9万人含まれるが、上記計算では年齢不詳を除いているため、厚生労働省の中間推計値より小さい。

(注) 年間購入額は、「10000円以下」は5000円、「10001～30000円」は20000円、「30001～50000円」は40000円のように、「1000001円以上」は1000001円として計算。

(注) 利用率、購入率、購入額は平成15年版通信利用動向調査による。

図表 5-2 BtoC の市場規模の変化

単位：億円



< 付属資料 >

< 付属資料 >

1. 情報化投資（日本）

単位：1995年価格、10億円

	情報化投資		電子計算機本体 回付装置		ソフトウェア	民間企業設備投資	GDP	民間設備投資に める情報化投資 (%)	GDPにしめる情報 化投資(%)
	電気通信機器	電子計算機本体 回付装置	電子計算機本体 回付装置	ソフトウェア					
1980年	1,238	317	776	145	145	41,451	313,140	3.0	0.5
1981年	1,501	371	914	216	216	42,577	322,326	3.5	0.6
1982年	2,306	620	1,411	275	275	43,040	331,236	5.4	0.8
1983年	3,136	1,568	1,230	338	338	42,127	336,575	7.4	1.0
1984年	2,717	806	1,435	476	476	45,710	347,073	5.9	0.8
1985年	3,961	961	2,124	877	877	53,184	364,712	7.4	1.2
1986年	4,773	1,130	2,616	1,027	1,027	56,494	375,503	8.4	1.3
1987年	6,241	1,339	3,264	1,638	1,638	58,704	389,753	10.6	1.7
1988年	7,595	1,601	3,729	2,265	2,265	68,728	416,119	11.1	1.9
1989年	8,794	1,591	4,160	3,044	3,044	79,537	438,136	11.1	2.1
1990年	10,033	1,975	4,538	3,519	3,519	87,585	460,925	11.5	2.3
1991年	10,400	2,057	4,766	3,577	3,577	91,309	476,369	11.4	2.3
1992年	8,719	1,930	3,955	2,834	2,834	84,862	481,000	10.3	2.0
1993年	9,052	1,870	4,479	2,702	2,702	76,081	482,191	11.9	2.1
1994年	9,358	2,003	4,474	2,881	2,881	71,734	487,488	13.0	2.1
1995年	12,164	2,955	5,514	3,695	3,695	73,676	496,912	16.5	2.7
1996年	15,128	4,750	6,260	4,118	4,118	77,123	513,893	19.6	3.2
1997年	15,915	4,937	7,012	3,966	3,966	85,867	523,421	18.5	3.4
1998年	16,286	4,687	6,626	4,972	4,972	84,141	517,515	19.4	3.4
1999年	17,227	4,647	7,667	4,913	4,913	80,774	517,811	21.3	3.7
2000年	22,567	6,363	10,166	6,038	6,038	88,568	532,542	25.5	4.6
2001年	23,078	5,594	10,061	7,424	7,424	89,576	534,852	25.8	4.8
2002年	19,524	4,452	7,313	7,759	7,759	83,187	532,962	23.5	4.1

2. 情報化投資（米国）

単位：Millions of 1995dollars

	情報化投資		電子計算機本体 回付装置		ソフトウェア	民間企業設備投資	GDP	民間設備投資にし める情報化投資 (%)	GDPにしめる情報 化投資(%)
	電気通信機器	電子計算機本体 回付装置	電子計算機本体 回付装置	ソフトウェア					
1980年	35,242	28,353	1,561	5,328	487,803	4,764,601	7.2	0.7	
1981年	38,446	29,487	2,429	6,530	516,443	4,878,482	7.4	0.8	
1982年	39,530	29,654	3,001	6,875	497,615	4,785,771	7.9	0.8	
1983年	42,345	29,461	4,551	8,333	486,043	4,993,141	8.7	0.8	
1984年	51,039	32,922	7,438	10,679	569,292	5,354,050	9.0	1.0	
1985年	57,035	35,154	9,331	12,550	606,990	5,566,267	9.4	1.0	
1986年	61,741	37,008	10,735	13,997	585,276	5,756,350	10.5	1.1	
1987年	65,741	36,832	13,509	15,400	583,414	5,967,757	11.3	1.1	
1988年	75,183	41,060	15,437	18,685	611,484	6,215,920	12.3	1.2	
1989年	83,011	40,945	18,751	23,315	643,434	6,435,902	12.9	1.3	
1990年	88,231	42,466	18,508	27,257	646,304	6,551,195	13.7	1.3	
1991年	90,398	40,917	20,122	29,360	609,861	6,529,406	14.8	1.4	
1992年	104,981	43,593	27,518	33,870	625,105	6,737,383	16.8	1.6	
1993年	119,820	46,452	35,254	38,113	675,838	6,922,300	17.7	1.7	
1994年	142,527	55,070	43,853	43,605	735,047	7,198,696	19.4	2.0	
1995年	178,900	63,500	66,100	49,300	810,100	7,400,500	22.1	2.4	
1996年	227,723	72,122	95,465	60,136	885,795	7,667,851	25.7	3.0	
1997年	289,685	82,118	138,466	69,101	993,373	8,030,056	29.2	3.6	
1998年	395,478	95,187	199,765	100,526	1,106,000	8,384,075	35.8	4.7	
1999年	512,177	113,408	283,033	115,736	1,214,049	8,728,321	42.2	5.9	
2000年	616,888	147,550	342,927	126,411	1,321,502	9,049,097	46.7	6.8	
2001年	612,392	137,371	350,970	124,050	1,259,981	9,071,035	48.6	6.8	
2002年	637,519	122,661	399,787	115,071	1,184,461	9,252,764	53.8	6.9	

3. 情報通信資本ストック（日本）

単位：1995年価格、10億円

	情報通信ストック				民間企業 資本ストック	民間企業資本ス トックにしめる情報 通信ストック(%)
	電気通信機器	電子計算機本体 同付属装置	ソフトウェア			
1980年	2,581	733	1,552	296	389,755	0.7
1981年	3,017	856	1,764	398	413,161	0.7
1982年	4,082	1,185	2,379	518	435,995	0.9
1983年	4,694	1,444	2,594	656	458,876	1.0
1984年	5,513	1,766	2,871	876	485,310	1.1
1985年	7,218	2,138	3,665	1,415	539,170	1.3
1986年	9,150	2,555	4,696	1,899	571,350	1.6
1987年	11,806	3,043	5,955	2,808	616,915	1.9
1988年	14,710	3,612	7,095	4,003	654,761	2.2
1989年	17,629	3,986	8,122	5,522	699,496	2.5
1990年	20,540	4,610	9,014	6,916	717,010	2.9
1991年	22,633	5,102	9,694	7,837	781,553	2.9
1992年	22,118	5,293	9,210	7,615	823,782	2.7
1993年	21,909	5,342	9,286	7,281	860,031	2.5
1994年	22,004	5,482	9,351	7,170	893,710	2.5
1995年	24,931	6,531	10,533	7,867	944,387	2.6
1996年	29,752	9,002	12,026	8,724	980,278	3.0
1997年	33,733	10,865	13,681	9,187	1,022,738	3.3
1998年	36,556	11,896	14,161	10,499	1,062,521	3.4
1999年	39,081	12,565	15,267	11,249	1,097,662	3.6
2000年	45,875	14,723	18,385	12,766	1,139,524	4.0
2001年	50,762	15,329	20,366	15,067	1,174,844	4.3
2002年	49,843	14,420	18,553	16,870	1,199,842	4.2

4. 情報通信資本ストック（米国）

単位：Millions of 1995dollars

	情報通信ストック				民間企業 資本ストック	民間企業資本ス トックに占める情報 通信ストック(%)
	電気通信機器	電子計算機本体 回付属装置	ソフトウェア			
1980年	79,830	66,178	2,496	11,156	5,691,174	1.4
1981年	90,619	73,307	3,917	13,395	5,908,860	1.5
1982年	98,691	78,228	5,323	15,139	6,079,685	1.6
1983年	106,251	80,935	7,630	17,686	6,224,943	1.7
1984年	119,374	85,919	11,855	21,600	6,445,867	1.9
1985年	133,404	91,150	16,354	25,900	6,684,888	2.0
1986年	146,522	96,273	20,247	30,003	6,876,849	2.1
1987年	158,276	99,473	24,885	33,919	7,044,410	2.2
1988年	174,889	105,865	29,372	39,653	7,218,726	2.4
1989年	193,078	110,124	35,146	47,808	7,398,216	2.6
1990年	209,035	114,200	38,087	56,748	7,571,029	2.8
1991年	220,482	115,205	40,904	64,374	7,692,235	2.9
1992年	241,516	118,380	49,533	73,604	7,802,644	3.1
1993年	269,952	123,421	62,949	83,583	7,950,739	3.4
1994年	309,969	135,049	79,757	95,163	8,123,642	3.8
1995年	370,593	151,413	111,307	107,873	8,338,950	4.4
1996年	457,224	171,032	159,713	126,480	8,596,162	5.3
1997年	573,443	194,549	231,842	147,052	8,900,859	6.4
1998年	749,752	223,372	335,208	191,173	9,259,215	8.1
1999年	973,618	260,944	478,721	233,953	9,628,059	10.1
2000年	1,212,833	319,822	621,737	271,274	10,036,698	12.1
2001年	1,347,276	348,914	706,260	292,102	10,312,380	13.1
2002年	1,437,240	353,161	788,498	295,581	10,485,506	13.7

5. 名目国内生産額（日本）

単位：10億円

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	12,630	14,066	15,629	16,323	17,304	18,566	18,442	17,718
郵便	2,142	2,180	2,186	2,134	2,128	2,123	2,091	2,039
固定電気通信	8,790	9,067	9,452	9,402	9,768	10,305	10,066	9,451
移動電気通信	1,641	2,762	3,936	4,731	5,353	6,084	6,234	6,175
電気通信に付帯するサービス	57	57	56	55	55	54	50	52
2. 放送業	2,679	2,727	2,860	2,860	2,890	3,095	3,171	3,174
公共放送	553	569	591	606	617	627	636	643
民間放送	1,868	1,931	2,009	1,967	1,959	2,141	2,195	2,163
有線放送	258	226	259	287	315	327	340	367
3. 情報サービス業	7,383	8,280	8,832	11,267	11,632	12,170	15,130	15,402
ソフトウェア	4,659	5,368	6,002	7,676	8,092	8,732	10,658	10,858
情報処理・提供サービス	2,724	2,912	2,831	3,591	3,540	3,438	4,473	4,544
4. 映像・音声・文字情報制作業	6,402	6,500	6,740	7,037	6,969	6,873	6,780	6,638
映像情報制作・配給	963	853	1,058	1,177	1,126	1,118	1,167	1,139
新聞	2,473	2,531	2,526	2,564	2,500	2,556	2,533	2,430
出版	2,391	2,477	2,483	2,524	2,471	2,333	2,216	2,210
ニュース供給	575	638	672	772	872	866	864	859
5. 情報通信関連製造業	19,382	21,448	23,197	21,294	20,365	21,411	19,022	15,337
通信ケーブル製造	301	360	399	315	355	367	416	260
有線通信機械器具製造	1,834	2,182	2,418	1,959	1,909	1,929	1,339	755
無線通信機械器具製造	1,922	2,643	2,771	2,578	2,647	3,279	2,850	2,468
ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器製造	2,204	1,939	1,937	1,827	1,711	2,129	2,056	2,198
電気音響機械器具製造	2,193	1,992	2,051	2,021	1,947	1,896	1,665	1,525
電子計算機・同付属装置製造	7,931	9,385	10,082	9,085	8,499	8,478	7,744	5,481
磁気テープ・磁気ディスク製造	475	487	629	657	543	481	447	484
事務用機械器具製造	2,229	2,180	2,455	2,415	2,281	2,392	2,142	1,829
情報記録物製造	292	278	454	436	472	461	363	337
6. 情報通信関連サービス業	18,949	19,889	20,390	20,977	19,660	20,440	20,312	19,535
情報通信機器賃貸業	4,336	4,586	4,531	4,678	4,318	4,405	4,498	4,463
広告業	6,953	7,452	7,774	8,342	7,820	8,341	8,362	8,025
印刷・製版・製本業	7,336	7,524	7,722	7,570	7,133	7,317	7,035	6,633
映画・劇場等	325	327	363	387	388	378	417	413
7. 情報通信関連建設業	781	703	863	1,077	1,438	1,696	1,445	1,285
電気通信施設建設業	781	703	863	1,077	1,438	1,696	1,445	1,285
8. 研究	11,018	11,676	12,338	12,907	12,829	12,879	13,079	13,418
研究	11,018	11,676	12,338	12,907	12,829	12,879	13,079	13,418
情報通信産業合計	79,224	85,287	90,848	93,742	93,088	97,131	97,380	92,506

（再掲） 情報通信産業 名目国内生産額（日本）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	12,630	14,066	15,629	16,323	17,304	18,566	18,442	17,718
2. 放送業	2,679	2,727	2,860	2,860	2,890	3,095	3,171	3,174
3. 情報サービス業	7,383	8,280	8,832	11,267	11,632	12,170	15,130	15,402
4. 映像・音声・文字情報制作業	6,402	6,500	6,740	7,037	6,969	6,873	6,780	6,638
5. 情報通信関連製造業	19,382	21,448	23,197	21,294	20,365	21,411	19,022	15,337
6. 情報通信関連サービス業	18,949	19,889	20,390	20,977	19,660	20,440	20,312	19,535
7. 情報通信関連建設業	781	703	863	1,077	1,438	1,696	1,445	1,285
8. 研究	11,018	11,676	12,338	12,907	12,829	12,879	13,079	13,418
情報通信産業合計	79,224	85,287	90,848	93,742	93,088	97,131	97,380	92,506

構成

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	15.9	16.5	17.2	17.4	18.6	19.1	18.9	19.2
2. 放送業	3.4	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.3	3.4
3. 情報サービス業	9.3	9.7	9.7	12.0	12.5	12.5	15.5	16.6
4. 映像・音声・文字情報制作業	8.1	7.6	7.4	7.5	7.5	7.1	7.0	7.2
5. 情報通信関連製造業	24.5	25.1	25.5	22.7	21.9	22.0	19.5	16.6
6. 情報通信関連サービス業	23.9	23.3	22.4	22.4	21.1	21.0	20.9	21.1
7. 情報通信関連建設業	1.0	0.8	0.9	1.1	1.5	1.7	1.5	1.4
8. 研究	13.9	13.7	13.6	13.8	13.8	13.3	13.4	14.5
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

指数（1995年 = 100）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.0	111.4	123.7	129.2	137.0	147.0	146.0	140.3
2. 放送業	100.0	101.8	106.7	106.7	107.9	115.5	118.3	118.4
3. 情報サービス業	100.0	112.1	119.6	152.6	157.5	164.8	204.9	208.6
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.0	101.5	105.3	109.9	108.9	107.4	105.9	103.7
5. 情報通信関連製造業	100.0	110.7	119.7	109.9	105.1	110.5	98.1	79.1
6. 情報通信関連サービス業	100.0	105.0	107.6	110.7	103.8	107.9	107.2	103.1
7. 情報通信関連建設業	100.0	90.1	110.5	137.9	184.2	217.2	185.1	164.6
8. 研究	100.0	106.0	112.0	117.1	116.4	116.9	118.7	121.8
情報通信産業合計	100.0	107.7	114.7	118.3	117.5	122.6	122.9	116.8

6.実質国内生産額（日本）

単位：10億円

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	12,630	14,705	17,621	20,161	22,282	24,899	26,152	25,980
郵便	2,142	2,187	2,215	2,233	2,226	2,229	2,221	2,182
固定電気通信	8,790	9,372	10,040	10,451	11,001	11,910	12,540	12,113
移動電気通信	1,641	3,090	5,310	7,419	8,996	10,703	11,336	11,626
電気通信に付帯するサービス	57	57	57	57	58	58	55	58
2. 放送業	2,679	2,611	2,646	2,718	2,754	2,844	2,946	3,095
公共放送	553	569	587	605	616	628	643	654
民間放送	1,868	1,816	1,800	1,824	1,822	1,886	1,962	2,068
有線放送	258	226	259	289	317	330	341	373
3. 情報サービス業	7,383	8,324	8,868	11,321	11,677	12,176	15,184	15,620
ソフトウェア	4,659	5,381	5,953	7,532	7,894	8,426	10,226	10,513
情報処理・提供サービス	2,724	2,943	2,915	3,789	3,783	3,750	4,958	5,106
4. 映像・音声・文字情報制作業	6,402	6,489	6,657	6,962	6,906	6,866	6,841	6,745
映像情報制作・配給	963	860	1,063	1,184	1,150	1,164	1,234	1,219
新聞	2,473	2,532	2,507	2,560	2,495	2,561	2,560	2,473
出版	2,391	2,454	2,411	2,442	2,370	2,239	2,134	2,134
ニュース供給	575	643	675	776	891	902	914	919
5. 情報通信関連製造業	19,382	23,290	26,724	25,693	26,615	30,001	28,708	24,466
通信ケーブル製造	301	390	442	369	462	485	515	337
有線通信機械器具製造	1,834	2,217	2,493	2,070	2,183	2,334	1,710	1,000
無線通信機械器具製造	1,922	3,029	3,623	3,746	4,247	5,649	5,284	4,789
ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器製造	2,204	2,013	2,065	2,029	2,193	3,002	3,226	3,894
電気音響機械器具製造	2,193	2,053	2,254	2,344	2,486	2,519	2,278	2,199
電子計算機・同付属装置製造	7,931	10,506	12,010	11,078	10,908	11,676	11,739	8,510
磁気テープ・磁気ディスク製造	475	642	915	1,088	1,008	1,002	1,034	1,166
事務用機械器具製造	2,229	2,162	2,471	2,536	2,662	2,879	2,561	2,231
情報記録物製造	292	278	450	433	465	455	362	338
6. 情報通信関連サービス業	18,949	20,825	21,728	22,900	21,768	23,024	24,116	24,403
情報通信機器賃貸業	4,336	5,688	6,302	6,901	6,652	7,301	8,460	9,245
広告業	6,953	7,287	7,409	8,046	7,558	7,955	8,054	7,919
印刷・製版・製本業	7,336	7,523	7,657	7,567	7,169	7,388	7,179	6,816
映画・劇場等	325	326	361	386	388	380	423	423
7. 情報通信関連建設業	781	710	864	1,114	1,525	1,792	1,552	1,404
電気通信施設建設業	781	710	864	1,114	1,525	1,792	1,552	1,404
8. 研究	11,018	11,768	12,394	12,980	13,104	13,412	13,829	14,357
研究	11,018	11,768	12,394	12,980	13,104	13,412	13,829	14,357
情報通信産業合計	79,224	88,722	97,502	103,849	106,630	115,013	119,327	116,070

（再掲） 情報通信産業 実質国内生産額（日本）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	12,630	14,705	17,621	20,161	22,282	24,899	26,152	25,980
2. 放送業	2,679	2,611	2,646	2,718	2,754	2,844	2,946	3,095
3. 情報サービス業	7,383	8,324	8,868	11,321	11,677	12,176	15,184	15,620
4. 映像・音声・文字情報制作業	6,402	6,489	6,657	6,962	6,906	6,866	6,841	6,745
5. 情報通信関連製造業	19,382	23,290	26,724	25,693	26,615	30,001	28,708	24,466
6. 情報通信関連サービス業	18,949	20,825	21,728	22,900	21,768	23,024	24,116	24,403
7. 情報通信関連建設業	781	710	864	1,114	1,525	1,792	1,552	1,404
8. 研究	11,018	11,768	12,394	12,980	13,104	13,412	13,829	14,357
情報通信産業合計	79,224	88,722	97,502	103,849	106,630	115,013	119,327	116,070

構成

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	15.9	16.6	18.1	19.4	20.9	21.6	21.9	22.4
2. 放送業	3.4	2.9	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.7
3. 情報サービス業	9.3	9.4	9.1	10.9	11.0	10.6	12.7	13.5
4. 映像・音声・文字情報制作業	8.1	7.3	6.8	6.7	6.5	6.0	5.7	5.8
5. 情報通信関連製造業	24.5	26.3	27.4	24.7	25.0	26.1	24.1	21.1
6. 情報通信関連サービス業	23.9	23.5	22.3	22.1	20.4	20.0	20.2	21.0
7. 情報通信関連建設業	1.0	0.8	0.9	1.1	1.4	1.6	1.3	1.2
8. 研究	13.9	13.3	12.7	12.5	12.3	11.7	11.6	12.4
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

指数（1995年 = 100）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.0	116.4	139.5	159.6	176.4	197.1	207.1	205.7
2. 放送業	100.0	97.5	98.8	101.5	102.8	106.1	109.9	115.5
3. 情報サービス業	100.0	112.7	120.1	153.3	158.1	164.9	205.7	211.6
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.0	101.3	104.0	108.7	107.9	107.2	106.9	105.4
5. 情報通信関連製造業	100.0	120.2	137.9	132.6	137.3	154.8	148.1	126.2
6. 情報通信関連サービス業	100.0	109.9	114.7	120.8	114.9	121.5	127.3	128.8
7. 情報通信関連建設業	100.0	90.9	110.6	142.7	195.3	229.5	198.8	179.9
8. 研究	100.0	106.8	112.5	117.8	118.9	121.7	125.5	130.3
情報通信産業合計	100.0	112.0	123.1	131.1	134.6	145.2	150.6	146.5

7. 名目GDP (日本)

単位:10億円

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	8,642	9,715	10,525	10,601	10,448	10,328	9,812	9,013
郵便	1,645	1,702	1,700	1,632	1,624	1,643	1,620	1,625
固定電気通信	5,831	6,098	6,185	5,926	5,682	5,442	5,053	4,475
移動電気通信	1,125	1,874	2,601	3,006	3,108	3,212	3,113	2,888
電気通信に付帯するサービス	41	40	39	37	34	30	27	25
2. 放送業	1,184	1,199	1,276	1,307	1,323	1,365	1,307	1,307
公共放送	257	264	295	327	333	353	344	348
民間放送	782	808	843	834	830	844	796	779
有線放送	145	127	139	146	160	168	167	180
3. 情報サービス業	4,479	5,005	5,318	6,864	7,156	7,715	9,331	9,350
ソフトウェア	2,696	3,094	3,472	4,500	4,817	5,316	6,249	6,259
情報処理・提供サービス	1,783	1,911	1,846	2,364	2,340	2,400	3,082	3,091
4. 映像・音声・文字情報制作業	2,687	2,714	2,790	2,926	2,938	2,917	2,862	2,773
映像情報制作・配給	471	422	521	588	573	585	588	564
新聞	1,113	1,133	1,107	1,115	1,095	1,108	1,103	1,053
出版	822	847	831	838	826	772	737	731
ニュース供給	282	312	330	386	444	452	434	424
5. 情報通信関連製造業	4,755	5,184	5,570	5,145	4,903	5,169	4,501	3,672
通信ケーブル製造	113	134	148	116	129	130	151	94
有線通信機械器具製造	480	570	624	510	493	501	339	190
無線通信機械器具製造	431	592	612	574	586	730	618	533
ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器製造	659	579	571	543	505	632	595	633
電気音響機械器具製造	573	520	529	525	503	492	421	384
電子計算機・同付属装置製造	1,636	1,934	2,051	1,864	1,732	1,737	1,546	1,089
磁気テープ・磁気ディスク製造	164	168	214	225	185	165	149	161
事務用機械器具製造	590	584	654	630	596	614	549	466
情報記録物製造	110	104	167	159	173	167	133	122
6. 情報通信関連サービス業	8,764	9,402	9,474	9,834	9,090	9,383	9,045	8,578
情報通信機器賃貸業	2,769	2,921	2,897	3,045	2,861	2,991	2,942	2,870
広告業	2,068	2,477	2,537	2,843	2,473	2,581	2,405	2,231
印刷・製版・製本業	3,789	3,866	3,886	3,779	3,586	3,642	3,519	3,301
映画・劇場等	137	138	153	166	170	170	180	175
7. 情報通信関連建設業	371	333	407	502	658	770	665	588
電気通信施設建設業	371	333	407	502	658	770	665	588
8. 研究	6,930	7,326	7,770	8,274	8,370	8,613	8,424	8,496
研究	6,930	7,326	7,770	8,274	8,370	8,613	8,424	8,496
情報通信産業合計	37,812	40,878	43,129	45,453	44,886	46,261	45,947	43,777

(再掲) 情報通信産業 名目GDP (日本)

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	8,642	9,715	10,525	10,601	10,448	10,328	9,812	9,013
2. 放送業	1,184	1,199	1,276	1,307	1,323	1,365	1,307	1,307
3. 情報サービス業	4,479	5,005	5,318	6,864	7,156	7,715	9,331	9,350
4. 映像・音声・文字情報制作業	2,687	2,714	2,790	2,926	2,938	2,917	2,862	2,773
5. 情報通信関連製造業	4,755	5,184	5,570	5,145	4,903	5,169	4,501	3,672
6. 情報通信関連サービス業	8,764	9,402	9,474	9,834	9,090	9,383	9,045	8,578
7. 情報通信関連建設業	371	333	407	502	658	770	665	588
8. 研究	6,930	7,326	7,770	8,274	8,370	8,613	8,424	8,496
情報通信産業合計	37,812	40,878	43,129	45,453	44,886	46,261	45,947	43,777

構成

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	22.9	23.8	24.4	23.3	23.3	22.3	21.4	20.6
2. 放送業	3.1	2.9	3.0	2.9	2.9	3.0	2.8	3.0
3. 情報サービス業	11.8	12.2	12.3	15.1	15.9	16.7	20.3	21.4
4. 映像・音声・文字情報制作業	7.1	6.6	6.5	6.4	6.5	6.3	6.2	6.3
5. 情報通信関連製造業	12.6	12.7	12.9	11.3	10.9	11.2	9.8	8.4
6. 情報通信関連サービス業	23.2	23.0	22.0	21.6	20.3	20.3	19.7	19.6
7. 情報通信関連建設業	1.0	0.8	0.9	1.1	1.5	1.7	1.4	1.3
8. 研究	18.3	17.9	18.0	18.2	18.6	18.6	18.3	19.4
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

指数(1995年=100)

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.0	112.4	121.8	122.7	120.9	119.5	113.5	104.3
2. 放送業	100.0	101.2	107.8	110.4	111.7	115.3	110.4	110.4
3. 情報サービス業	100.0	111.7	118.7	153.3	159.8	172.3	208.3	208.8
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.0	101.0	103.8	108.9	109.3	108.6	106.5	103.2
5. 情報通信関連製造業	100.0	109.0	117.1	108.2	103.1	108.7	94.7	77.2
6. 情報通信関連サービス業	100.0	107.3	108.1	112.2	103.7	107.1	103.2	97.9
7. 情報通信関連建設業	100.0	89.9	109.6	135.2	177.4	207.6	179.2	158.6
8. 研究	100.0	105.7	112.1	119.4	120.8	124.3	121.6	122.6
情報通信産業合計	100.0	108.1	114.1	120.2	118.7	122.3	121.5	115.8

8. 実質GDP (日本)

単位:10億円

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	8,642	10,258	12,351	14,081	14,915	15,913	16,377	15,922
郵便	1,645	1,709	1,733	1,726	1,710	1,738	1,733	1,746
固定電気通信	5,831	6,332	6,664	6,761	6,630	6,636	6,904	6,405
移動電気通信	1,125	2,176	3,915	5,555	6,541	7,508	7,711	7,742
電気通信に付帯するサービス	41	41	39	38	35	32	29	28
2. 放送業	1,184	1,063	1,043	1,119	1,113	1,011	934	1,034
公共放送	257	255	280	309	309	327	314	311
民間放送	782	681	625	665	649	521	464	553
有線放送	145	127	138	145	156	163	156	170
3. 情報サービス業	4,479	4,947	5,216	6,661	6,876	7,311	8,732	8,703
ソフトウェア	2,696	3,032	3,319	4,164	4,373	4,688	5,322	5,258
情報処理・提供サービス	1,783	1,915	1,897	2,498	2,503	2,623	3,410	3,446
4. 映像・音声・文字情報制作業	2,687	2,689	2,707	2,762	2,730	2,737	2,687	2,578
映像情報制作・配給	471	426	527	587	581	610	624	602
新聞	1,113	1,131	1,092	1,077	1,038	1,051	1,047	992
出版	822	824	771	740	695	643	603	585
ニュース供給	282	308	317	358	416	433	413	398
5. 情報通信関連製造業	4,755	6,449	8,081	8,182	9,312	11,375	11,553	10,392
通信ケーブル製造	113	160	189	162	221	232	229	155
有線通信機械器具製造	480	557	617	521	625	732	567	346
無線通信機械器具製造	431	911	1,356	1,590	1,957	2,739	2,670	2,465
ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器製造	659	617	648	662	864	1,310	1,522	2,001
電気音響機械器具製造	573	543	663	731	877	922	834	837
電子計算機・同付属装置製造	1,636	2,708	3,344	3,089	3,182	3,754	4,160	3,029
磁気テープ・磁気ディスク製造	164	321	501	649	635	669	719	818
事務用機械器具製造	590	533	610	641	811	886	748	653
情報記録物製造	110	99	154	138	139	131	105	88
6. 情報通信関連サービス業	8,764	10,412	11,026	11,730	11,089	11,904	12,624	12,994
情報通信機器賃貸業	2,769	4,008	4,656	5,222	5,133	5,812	6,793	7,520
広告業	2,068	2,416	2,390	2,664	2,311	2,381	2,201	2,076
印刷・製版・製本業	3,789	3,852	3,829	3,681	3,481	3,547	3,456	3,229
映画・劇場等	137	136	151	163	164	164	174	169
7. 情報通信関連建設業	371	331	394	495	657	753	678	600
電気通信施設建設業	371	331	394	495	657	753	678	600
8. 研究	6,930	7,342	7,757	8,160	8,392	8,859	8,774	8,884
研究	6,930	7,342	7,757	8,160	8,392	8,859	8,774	8,884
情報通信産業合計	37,812	43,491	48,575	53,191	55,085	59,862	62,359	61,107

(再掲) 情報通信産業 実質GDP (日本)

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	8,642	10,258	12,351	14,081	14,915	15,913	16,377	15,922
2. 放送業	1,184	1,063	1,043	1,119	1,113	1,011	934	1,034
3. 情報サービス業	4,479	4,947	5,216	6,661	6,876	7,311	8,732	8,703
4. 映像・音声・文字情報制作業	2,687	2,689	2,707	2,762	2,730	2,737	2,687	2,578
5. 情報通信関連製造業	4,755	6,449	8,081	8,182	9,312	11,375	11,553	10,392
6. 情報通信関連サービス業	8,764	10,412	11,026	11,730	11,089	11,904	12,624	12,994
7. 情報通信関連建設業	371	331	394	495	657	753	678	600
8. 研究	6,930	7,342	7,757	8,160	8,392	8,859	8,774	8,884
情報通信産業合計	37,812	43,491	48,575	53,191	55,085	59,862	62,359	61,107

構成

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	22.9	23.6	25.4	26.5	27.1	26.6	26.3	26.1
2. 放送業	3.1	2.4	2.1	2.1	2.0	1.7	1.5	1.7
3. 情報サービス業	11.8	11.4	10.7	12.5	12.5	12.2	14.0	14.2
4. 映像・音声・文字情報制作業	7.1	6.2	5.6	5.2	5.0	4.6	4.3	4.2
5. 情報通信関連製造業	12.6	14.8	16.6	15.4	16.9	19.0	18.5	17.0
6. 情報通信関連サービス業	23.2	23.9	22.7	22.1	20.1	19.9	20.2	21.3
7. 情報通信関連建設業	1.0	0.8	0.8	0.9	1.2	1.3	1.1	1.0
8. 研究	18.3	16.9	16.0	15.3	15.2	14.8	14.1	14.5
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

指数(1995年=100)

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.0	118.7	142.9	162.9	172.6	184.1	189.5	184.2
2. 放送業	100.0	89.8	88.1	94.5	94.0	85.4	78.9	87.3
3. 情報サービス業	100.0	110.4	116.5	148.7	153.5	163.2	195.0	194.3
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.0	100.1	100.7	102.8	101.6	101.9	100.0	95.9
5. 情報通信関連製造業	100.0	135.6	170.0	172.1	195.8	239.2	243.0	218.6
6. 情報通信関連サービス業	100.0	118.8	125.8	133.8	126.5	135.8	144.0	148.3
7. 情報通信関連建設業	100.0	89.3	106.1	133.4	177.1	202.9	182.7	161.8
8. 研究	100.0	105.9	111.9	117.7	121.1	127.8	126.6	128.2
情報通信産業合計	100.0	115.0	128.5	140.7	145.7	158.3	164.9	161.6

9.雇用者数（日本）

単位：人

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	554,792	566,199	541,448	525,941	524,881	519,431	507,189	483,943
郵便	194,657	194,407	193,440	192,073	190,702	189,048	186,313	179,722
固定電気通信	287,467	287,557	261,781	247,843	248,073	238,875	224,967	206,997
移動電気通信	69,382	80,849	82,769	82,573	82,619	88,200	93,022	94,264
電気通信に付帯するサービス	3,286	3,386	3,458	3,452	3,487	3,308	2,887	2,960
2. 放送業	69,107	69,591	69,454	68,806	67,225	64,295	65,019	65,268
公共放送	17,071	16,999	16,346	15,596	14,842	14,081	13,660	13,078
民間放送	34,435	33,943	34,071	33,501	32,561	32,198	31,773	31,167
有線放送	17,601	18,649	19,037	19,709	19,822	18,016	19,586	21,023
3. 情報サービス業	639,098	672,117	714,204	865,854	887,199	838,429	831,732	846,508
ソフトウェア	389,091	411,171	438,056	558,025	555,040	555,041	539,653	559,131
情報処理・提供サービス	250,007	260,946	276,148	307,829	332,159	283,388	292,079	287,377
4. 映像・音声・文字情報制作業	238,989	245,038	253,336	244,381	245,380	242,463	260,549	263,957
映像情報制作・配給	47,851	50,017	52,889	54,544	55,751	50,290	62,121	63,142
新聞	84,077	84,772	87,090	82,055	79,701	77,991	79,259	79,029
出版	83,229	84,734	85,753	78,684	79,557	89,135	90,351	91,954
ニュース供給	23,832	25,515	27,604	29,098	30,371	25,047	28,818	29,832
5. 情報通信関連製造業	568,104	548,411	530,338	523,930	514,402	484,380	440,428	353,808
通信ケーブル製造	10,332	10,016	10,780	8,346	9,518	8,381	9,757	5,452
有線通信機械器具製造	61,290	65,692	60,830	61,364	55,944	47,920	40,208	24,163
無線通信機械器具製造	49,543	50,776	46,091	49,254	53,880	56,080	62,929	55,103
ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器製造	102,672	89,037	83,822	77,105	75,701	73,586	61,433	62,653
電気音響機械器具製造	93,087	83,125	77,184	75,990	76,233	68,128	53,027	42,450
電子計算機・同付属装置製造	168,503	169,353	162,895	164,055	161,545	155,011	141,243	94,757
磁気テープ・磁気ディスク製造	12,292	12,102	16,588	17,743	13,166	11,238	10,508	11,209
事務用機械器具製造	64,143	61,557	64,850	62,125	61,251	56,598	53,878	50,646
情報記録物製造	6,242	6,753	7,298	7,948	7,164	7,438	7,445	7,557
6. 情報通信関連サービス業	763,474	777,059	782,488	794,899	769,626	755,600	772,935	774,016
情報通信機器賃貸業	83,843	100,415	104,362	101,615	100,078	103,190	103,822	101,615
広告業	174,660	179,377	186,381	188,890	189,751	185,612	207,003	221,155
印刷・製版・製本業	484,135	475,595	468,939	480,986	455,983	443,393	434,303	422,552
映画・劇場等	20,836	21,672	22,806	23,408	23,814	23,405	27,807	28,694
7. 情報通信関連建設業	48,457	56,759	65,890	74,285	82,403	89,831	89,362	79,302
電気通信施設建設業	48,457	56,759	65,890	74,285	82,403	89,831	89,362	79,302
8. 研究	793,855	796,585	815,591	818,210	843,385	835,882	819,733	777,881
研究	793,855	796,585	815,591	818,210	843,385	835,882	819,733	777,881
情報通信産業合計	3,675,876	3,731,759	3,772,749	3,916,306	3,934,501	3,830,311	3,786,947	3,644,683

（再掲） 情報通信産業 雇用者数（日本）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	554,792	566,199	541,448	525,941	524,881	519,431	507,189	483,943
2. 放送業	69,107	69,591	69,454	68,806	67,225	64,295	65,019	65,268
3. 情報サービス業	639,098	672,117	714,204	865,854	887,199	838,429	831,732	846,508
4. 映像・音声・文字情報制作業	238,989	245,038	253,336	244,381	245,380	242,463	260,549	263,957
5. 情報通信関連製造業	568,104	548,411	530,338	523,930	514,402	484,380	440,428	353,808
6. 情報通信関連サービス業	763,474	777,059	782,488	794,899	769,626	755,600	772,935	774,016
7. 情報通信関連建設業	48,457	56,759	65,890	74,285	82,403	89,831	89,362	79,302
8. 研究	793,855	796,585	815,591	818,210	843,385	835,882	819,733	777,881
情報通信産業合計	3,675,876	3,731,759	3,772,749	3,916,306	3,934,501	3,830,311	3,786,947	3,644,683

構成

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	15.1	15.2	14.4	13.4	13.3	13.6	13.4	13.3
2. 放送業	1.9	1.9	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.8
3. 情報サービス業	17.4	18.0	18.9	22.1	22.5	21.9	22.0	23.2
4. 映像・音声・文字情報制作業	6.5	6.6	6.7	6.2	6.2	6.3	6.9	7.2
5. 情報通信関連製造業	15.5	14.7	14.1	13.4	13.1	12.6	11.6	9.7
6. 情報通信関連サービス業	20.8	20.8	20.7	20.3	19.6	19.7	20.4	21.2
7. 情報通信関連建設業	1.3	1.5	1.7	1.9	2.1	2.3	2.4	2.2
8. 研究	21.6	21.3	21.6	20.9	21.4	21.8	21.6	21.3
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

指数（1995年 = 100）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.0	102.1	97.6	94.8	94.6	93.6	91.4	87.2
2. 放送業	100.0	100.7	100.5	99.6	97.3	93.0	94.1	94.4
3. 情報サービス業	100.0	105.2	111.8	135.5	138.8	131.2	130.1	132.5
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.0	102.5	106.0	102.3	102.7	101.5	109.0	110.4
5. 情報通信関連製造業	100.0	96.5	93.4	92.2	90.5	85.3	77.5	62.3
6. 情報通信関連サービス業	100.0	101.8	102.5	104.1	100.8	99.0	101.2	101.4
7. 情報通信関連建設業	100.0	117.1	136.0	153.3	170.1	185.4	184.4	163.7
8. 研究	100.0	100.3	102.7	103.1	106.2	105.3	103.3	98.0
情報通信産業合計	100.0	101.5	102.6	106.5	107.0	104.2	103.0	99.2

10. 労働生産性（日本）（実質GDP÷雇用量）

単位：万円/人

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	1,558	1,812	2,281	2,677	2,842	3,064	3,229	3,290
郵便	845	879	896	899	896	919	930	972
固定電気通信	2,028	2,202	2,546	2,728	2,672	2,778	3,069	3,094
移動電気通信	1,621	2,691	4,730	6,728	7,917	8,512	8,289	8,213
電気通信に付帯するサービス	1,256	1,205	1,142	1,103	1,003	967	1,005	960
2. 放送業	1,713	1,527	1,502	1,626	1,656	1,573	1,437	1,584
公共放送	1,506	1,499	1,715	1,984	2,079	2,320	2,300	2,374
民間放送	2,270	2,007	1,836	1,984	1,993	1,618	1,460	1,774
有線放送	826	679	724	735	788	906	798	810
3. 情報サービス業	701	736	730	769	775	872	1,050	1,028
ソフトウェア	693	737	758	746	788	845	986	940
情報処理・提供サービス	713	734	687	811	754	925	1,167	1,199
4. 映像・音声・文字情報制作業	1,124	1,097	1,069	1,130	1,113	1,129	1,031	977
映像情報制作・配給	984	852	996	1,076	1,043	1,213	1,005	954
新聞	1,323	1,334	1,254	1,312	1,302	1,348	1,321	1,255
出版	987	973	899	940	874	722	668	636
ニュース供給	1,184	1,206	1,149	1,231	1,369	1,728	1,434	1,334
5. 情報通信関連製造業	837	1,176	1,524	1,562	1,810	2,348	2,623	2,937
通信ケーブル製造	1,091	1,600	1,749	1,943	2,321	2,767	2,346	2,847
有線通信機械器具製造	783	847	1,015	849	1,117	1,527	1,411	1,431
無線通信機械器具製造	869	1,794	2,941	3,228	3,633	4,884	4,243	4,474
ラジオ・テレビ受信機・ビデオ機器	642	693	773	858	1,141	1,780	2,477	3,194
電気音響機械器具製造	616	654	859	962	1,151	1,353	1,573	1,971
電子計算機・同付属装置製造	971	1,599	2,053	1,883	1,970	2,422	2,945	3,197
磁気テープ・磁気ディスク製造	1,332	2,648	3,018	3,656	4,822	5,954	6,839	7,297
事務用機械器具製造	920	865	941	1,031	1,325	1,565	1,387	1,294
情報記録物製造	1,764	1,468	2,105	1,734	1,934	1,765	1,408	1,167
6. 情報通信関連サービス業	1,148	1,340	1,409	1,476	1,441	1,575	1,633	1,679
情報通信機器賃貸業	3,303	3,992	4,461	5,139	5,129	5,632	6,543	7,401
広告業	1,184	1,347	1,282	1,411	1,218	1,283	1,063	939
印刷・製版・製本業	783	810	816	765	763	800	796	764
映画・劇場等	657	626	664	696	689	703	627	588
7. 情報通信関連建設業	766	584	598	666	798	838	759	757
電気通信施設建設業	766	584	598	666	798	838	759	757
8. 研究	873	922	951	997	995	1,060	1,070	1,142
研究	873	922	951	997	995	1,060	1,070	1,142
情報通信産業合計	1,029	1,165	1,288	1,358	1,400	1,563	1,647	1,677

（再掲） 情報通信産業 労働生産性（日本）

単位：万円/人

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	1,558	1,812	2,281	2,677	2,842	3,064	3,229	3,290
2. 放送業	1,713	1,527	1,502	1,626	1,656	1,573	1,437	1,584
3. 情報サービス業	701	736	730	769	775	872	1,050	1,028
4. 映像・音声・文字情報制作業	1,124	1,097	1,069	1,130	1,113	1,129	1,031	977
5. 情報通信関連製造業	837	1,176	1,524	1,562	1,810	2,348	2,623	2,937
6. 情報通信関連サービス業	1,148	1,340	1,409	1,476	1,441	1,575	1,633	1,679
7. 情報通信関連建設業	766	584	598	666	798	838	759	757
8. 研究	873	922	951	997	995	1,060	1,070	1,142
情報通信産業合計	1,029	1,165	1,288	1,358	1,400	1,563	1,647	1,677

平均との比較

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	151.4	155.5	177.2	197.1	203.0	196.0	196.1	196.2
2. 放送業	166.6	131.0	116.7	119.7	118.3	100.6	87.3	94.4
3. 情報サービス業	68.1	63.2	56.7	56.6	55.4	55.8	63.8	61.3
4. 映像・音声・文字情報制作業	109.3	94.2	83.0	83.2	79.5	72.2	62.6	58.2
5. 情報通信関連製造業	81.4	100.9	118.3	115.0	129.3	150.3	159.3	175.2
6. 情報通信関連サービス業	111.6	115.0	109.4	108.7	102.9	100.8	99.2	100.1
7. 情報通信関連建設業	74.4	50.1	46.4	49.0	57.0	53.6	46.1	45.1
8. 研究	84.9	79.1	73.9	73.4	71.1	67.8	65.0	68.1
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

指数（1995年 = 100）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.0	116.3	146.4	171.9	182.4	196.7	207.3	211.2
2. 放送業	100.0	89.1	87.7	94.9	96.7	91.8	83.9	92.4
3. 情報サービス業	100.0	105.0	104.2	109.8	110.6	124.4	149.8	146.7
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.0	97.6	95.0	100.5	98.9	100.4	91.7	86.8
5. 情報通信関連製造業	100.0	140.5	182.1	186.6	216.3	280.6	313.4	351.0
6. 情報通信関連サービス業	100.0	116.7	122.8	128.6	125.5	137.2	142.3	146.3
7. 情報通信関連建設業	100.0	76.2	78.0	87.0	104.2	109.4	99.1	98.9
8. 研究	100.0	105.6	109.0	114.2	114.0	121.4	122.6	130.8
情報通信産業合計	100.0	113.3	125.2	132.0	136.1	151.9	160.1	163.0

11. 実質国内生産額（米国）

単位：百万ドル（95年価格）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	282,879	315,467	341,785	372,333	430,733	491,858	534,777	537,971
郵便	54,340	56,314	57,661	59,682	60,706	62,370	59,983	58,083
電気通信	228,539	259,153	284,124	312,652	370,027	429,488	474,794	479,888
2. 放送	69,588	72,410	74,003	80,553	86,117	91,226	96,649	103,414
3. 情報サービス業	150,675	174,331	205,154	250,695	282,687	305,831	312,403	311,082
ソフトウェア業	105,624	122,858	147,599	190,116	212,877	229,808	228,796	225,123
情報サービス（除ソフトウェア）	45,051	51,473	57,555	60,579	69,810	76,023	83,607	85,960
4. 映像・音声・文字情報制作業	147,266	148,292	151,338	162,521	168,604	175,120	167,414	168,986
映画ビデオ制作	39,701	40,475	41,917	44,991	45,562	44,713	44,382	47,533
音声情報制作	12,320	12,933	12,883	11,967	13,469	14,747	14,763	16,267
新聞	37,732	36,593	37,134	39,865	41,068	42,214	36,905	35,833
出版	56,252	57,012	58,125	64,286	66,918	71,792	69,724	67,818
ニュース供給業	1,260	1,279	1,280	1,412	1,587	1,654	1,640	1,535
5. 情報通信関連製造業	207,234	238,962	290,741	331,674	376,361	416,485	376,517	348,005
事務用機械	11,517	12,106	11,411	11,841	11,229	8,522	7,214	5,804
コンピュータ	86,078	111,641	147,883	184,178	216,037	233,086	210,803	208,833
通信機器	60,866	64,790	74,205	78,366	91,347	103,744	96,224	75,350
テレビ・ラジオ	28,733	31,864	39,533	39,378	40,413	52,205	46,136	34,530
音響機器・ビデオ（家庭用）	11,600	9,010	8,442	8,652	9,478	9,962	9,901	10,218
磁気テープ	5,524	5,422	4,848	4,534	3,950	3,706	1,926	2,874
通信ケーブル	2,916	4,129	4,418	4,726	3,908	5,260	4,312	10,396
6. 情報通信関連サービス業	140,672	146,121	151,006	169,511	175,167	182,324	171,056	165,032
電子計算機賃貸	5,310	5,996	7,049	8,396	9,399	10,232	8,701	8,052
広告業	34,620	38,358	41,695	57,678	61,355	67,077	62,136	58,756
印刷・製版・製本等	94,136	94,975	95,128	95,836	96,501	96,965	92,090	89,144
映画館・劇業	6,606	6,791	7,134	7,601	7,912	8,050	8,129	9,081
7. 情報通信関連建設業	4,423	4,456	4,628	4,513	6,768	6,714	6,334	14,716
電気通信施設建設	4,423	4,456	4,628	4,513	6,768	6,714	6,334	14,716
8. 研究	183,614	193,596	204,218	215,368	228,313	242,529	252,775	258,611
研究	183,614	193,596	204,218	215,368	228,313	242,529	252,775	258,611
情報通信産業合計	1,186,350	1,293,635	1,422,874	1,587,167	1,754,749	1,912,088	1,917,924	1,907,817

（再掲） 情報通信産業 実質国内生産額（米国）

単位：百万ドル（95年価格）

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	282,879	315,467	341,785	372,333	430,733	491,858	534,777	537,971
2. 放送業	69,588	72,410	74,003	80,553	86,117	91,226	96,649	103,414
3. 情報サービス業	150,675	174,331	205,154	250,695	282,687	305,831	312,403	311,082
4. 映像・音声・文字情報制作業	147,266	148,292	151,338	162,521	168,604	175,120	167,414	168,986
5. 情報通信関連製造業	207,234	238,962	290,741	331,674	376,361	416,485	376,517	348,005
6. 情報通信関連サービス業	140,672	146,121	151,006	169,511	175,167	182,324	171,056	165,032
7. 情報通信関連建設	4,423	4,456	4,628	4,513	6,768	6,714	6,334	14,716
8. 研究	183,614	193,596	204,218	215,368	228,313	242,529	252,775	258,611
情報通信産業合計	1,186,350	1,293,635	1,422,874	1,587,167	1,754,749	1,912,088	1,917,924	1,907,817

構成

単位：%

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	23.8	24.4	24.0	23.5	24.5	25.7	27.9	28.2
2. 放送業	5.9	5.6	5.2	5.1	4.9	4.8	5.0	5.4
3. 情報サービス業	12.7	13.5	14.4	15.8	16.1	16.0	16.3	16.3
4. 映像・音声・文字情報制作業	12.4	11.5	10.6	10.2	9.6	9.2	8.7	8.9
5. 情報通信関連製造業	17.5	18.5	20.4	20.9	21.4	21.8	19.6	18.2
6. 情報通信関連サービス業	11.9	11.3	10.6	10.7	10.0	9.5	8.9	8.7
7. 情報通信関連建設	0.4	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3	0.8
8. 研究	15.5	15.0	14.4	13.6	13.0	12.7	13.2	13.6
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

指数

1995年 = 100

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.0	111.5	120.8	131.6	152.3	173.9	189.0	190.2
2. 放送業	100.0	104.1	106.3	115.8	123.8	131.1	138.9	148.6
3. 情報サービス業	100.0	115.7	136.2	166.4	187.6	203.0	207.3	206.5
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.0	100.7	102.8	110.4	114.5	118.9	113.7	114.7
5. 情報通信関連製造業	100.0	115.3	140.3	160.0	181.6	201.0	181.7	167.9
6. 情報通信関連サービス業	100.0	103.9	107.3	120.5	124.5	129.6	121.6	117.3
7. 情報通信関連建設	100.0	100.8	104.6	102.0	153.0	151.8	143.2	332.7
8. 研究	100.0	105.4	111.2	117.3	124.3	132.1	137.7	140.8
情報通信産業合計	100.0	109.0	119.9	133.8	147.9	161.2	161.7	160.8

12. 実質GDP (米国)

単位: 百万ドル(95年価格)

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	198,282	217,004	222,397	235,694	261,511	295,674	323,309	309,488
郵便	46,693	48,636	49,941	49,447	50,670	52,567	50,404	50,335
電気通信	151,589	168,368	172,456	186,247	210,841	243,107	272,905	259,154
2. 放送業	50,745	46,661	45,878	46,273	47,338	49,118	55,213	58,898
3. 情報サービス業	92,299	104,616	118,651	140,547	155,901	167,640	165,716	159,064
ソフトウェア業	64,702	73,727	85,364	106,585	117,401	125,969	121,366	113,638
情報サービス (ソフトウェアを除く)	27,597	30,889	33,287	33,962	38,500	41,672	44,350	45,427
4. 映像・音声・文字情報制作業	94,272	94,917	95,815	107,574	109,501	112,387	107,282	102,823
映画ビデオ制作	16,258	23,726	24,722	26,846	27,055	26,578	26,502	28,305
音声情報制作業	6,718	4,091	3,935	3,668	3,992	4,428	4,193	4,228
新聞	29,254	27,815	27,695	26,986	26,999	28,212	25,465	25,271
出版	41,270	38,492	38,649	49,168	50,445	52,106	50,101	44,037
ニュース供給業	772	793	813	906	1,010	1,063	1,021	983
5. 情報通信関連製造業	82,761	101,184	137,670	184,894	229,935	313,262	310,557	246,179
事務用機械	6,639	7,111	7,402	9,108	8,101	10,031	7,922	6,222
コンピュータ	32,931	43,329	55,276	75,596	83,006	106,462	91,914	77,966
通信機器	17,128	24,513	40,169	60,126	92,989	131,929	146,449	111,134
テレビ・ラジオ	19,862	19,645	27,284	30,905	36,131	52,617	51,660	36,758
音響機器・ビデオ(家庭用)	2,343	2,315	2,972	4,025	5,036	7,073	8,399	8,466
磁気テープ	2,788	2,801	2,882	3,389	3,357	3,164	2,646	2,719
通信ケーブル	1,069	1,471	1,685	1,744	1,314	1,984	1,568	2,914
6. 情報通信関連サービス業	81,527	80,564	80,776	88,766	90,294	93,717	86,529	80,379
電子計算機賃貸	4,012	4,387	5,088	6,086	6,832	7,351	6,216	6,792
広告業	19,428	21,053	22,611	30,655	32,026	34,597	32,731	31,182
印刷・製版・製本等	55,412	52,364	50,159	48,879	48,178	48,450	44,215	38,863
映画館・劇業	2,674	2,761	2,918	3,145	3,258	3,319	3,366	3,542
7. 情報通信関連建設業	2,035	2,095	2,135	1,988	2,774	2,661	2,456	6,171
電気通信施設建設	2,035	2,095	2,135	1,988	2,774	2,661	2,456	6,171
8. 研究	116,976	123,338	130,062	137,085	145,406	154,723	160,947	164,036
研究	116,976	123,338	130,062	137,085	145,406	154,723	160,947	164,036
情報通信産業合計	718,898	770,378	833,383	942,821	1,042,659	1,189,182	1,212,008	1,127,038

(再掲) 情報通信産業 実質GDP (米国)

単位: 百万ドル(95年価格)

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	198,282	217,004	222,397	235,694	261,511	295,674	323,309	309,488
2. 放送業	50,745	46,661	45,878	46,273	47,338	49,118	55,213	58,898
3. 情報サービス業	92,299	104,616	118,651	140,547	155,901	167,640	165,716	159,064
4. 映像・音声・文字情報制作業	94,272	94,917	95,815	107,574	109,501	112,387	107,282	102,823
5. 情報通信関連製造業	82,761	101,184	137,670	184,894	229,935	313,262	310,557	246,179
6. 情報通信関連サービス業	81,527	80,564	80,776	88,766	90,294	93,717	86,529	80,379
7. 情報通信関連建設	2,035	2,095	2,135	1,988	2,774	2,661	2,456	6,171
8. 研究	116,976	123,338	130,062	137,085	145,406	154,723	160,947	164,036
情報通信産業合計	718,898	770,378	833,383	942,821	1,042,659	1,189,182	1,212,008	1,127,038
全産業計	7,400,534	7,664,817	8,004,534	8,347,335	8,690,719	9,016,899	9,039,556	9,039,557

構成

単位: %

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	27.6	28.2	26.7	25.0	25.1	24.9	26.7	27.5
2. 放送業	7.1	6.1	5.5	4.9	4.5	4.1	4.6	5.2
3. 情報サービス業	12.8	13.6	14.2	14.9	15.0	14.1	13.7	14.1
4. 映像・音声・文字情報制作業	13.1	12.3	11.5	11.4	10.5	9.5	8.9	9.1
5. 情報通信関連製造業	11.5	13.1	16.5	19.6	22.1	26.3	25.6	21.8
6. 情報通信関連サービス業	11.3	10.5	9.7	9.4	8.7	7.9	7.1	7.1
7. 情報通信関連建設	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.5
8. 研究	16.3	16.0	15.6	14.5	13.9	13.0	13.3	14.6
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	101.0

指数

1995年 = 100

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.00	109.44	112.16	118.87	131.89	149.12	163.06	156.09
2. 放送業	100.00	91.95	90.41	91.19	93.29	96.79	108.80	116.07
3. 情報サービス業	100.00	113.34	128.55	152.27	168.91	181.63	179.54	172.34
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.00	100.68	101.64	114.11	116.15	119.22	113.80	109.07
5. 情報通信関連製造業	100.00	122.26	166.35	223.41	277.83	378.51	375.25	297.46
6. 情報通信関連サービス業	100.00	98.82	99.08	108.88	110.75	114.95	106.13	98.59
7. 情報通信関連建設	100.00	102.94	104.91	97.68	136.26	130.71	120.68	303.17
8. 研究	100.00	105.44	111.19	117.19	124.30	132.27	137.59	140.23
情報通信産業	100.00	107.16	115.93	131.15	145.04	165.42	168.59	156.77

13. 雇用者数 (米 国)

単位:千人

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	1,743	1,768	1,829	1,880	1,951	2,010	2,043	1,911
郵便	843	856	858	867	873	860	849	817
電気通信	900	911	971	1,013	1,079	1,150	1,194	1,094
2. 放送業	391	411	417	431	448	475	485	485
3. 情報サービス業	836	921	1,034	1,163	1,370	1,572	1,655	1,649
ソフトウェア業	426	477	546	626	725	830	893	888
情報サービス (ソフトウェアを除く)	410	444	487	538	645	742	762	761
4. 映像・音声・文字情報制作業	1,812	1,828	1,849	1,883	1,885	1,887	1,816	1,725
映画ビデオ制作	201	223	237	255	271	270	265	259
音声情報制作業	84	83	80	81	79	81	75	67
新聞	447	441	441	443	439	442	423	407
出版・印刷	1,072	1,073	1,083	1,094	1,084	1,083	1,043	982
ニュース供給業	9	9	8	10	11	11	10	10
5. 情報通信関連製造業	879	896	916	930	899	895	877	837
事務用機械・コンピュータ	352	362	376	382	368	361	361	361
通信機器・テレビ・ラジオ受信機	426	431	438	445	432	431	415	365
音響機器・ビデオ(家庭用)	56	55	54	55	54	54	54	54
磁気テープ	32	32	32	32	32	32	32	32
通信ケーブル	14	17	17	17	14	17	15	25
6. 情報通信関連サービス業	360	376	397	415	434	450	445	437
電子計算機賃貸	9	9	9	9	10	10	10	10
広告業	233	243	255	269	284	302	297	285
映画館・劇業	119	124	133	137	140	139	138	142
7. 情報通信関連建設業	55	57	59	60	84	87	114	275
電気通信施設建設	55	57	59	60	84	87	114	275
8. 研究	757	790	859	884	910	1,039	1,068	1,078
研究	757	790	859	884	910	1,039	1,068	1,078
情報通信産業合計	6,834	7,045	7,360	7,646	7,981	8,415	8,501	8,397

(再掲) 情報通信産業 雇用者数 (米 国)

単位:千人

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	1,743	1,768	1,829	1,880	1,951	2,010	2,043	1,911
2. 放送業	391	411	417	431	448	475	485	485
3. 情報サービス業	836	921	1,034	1,163	1,370	1,572	1,655	1,649
4. 映像・音声・文字情報制作業	1,812	1,828	1,849	1,883	1,885	1,887	1,816	1,725
5. 情報通信関連製造業	879	896	916	930	899	895	877	837
6. 情報通信関連サービス業	360	376	397	415	434	450	445	437
7. 情報通信関連建設	55	57	59	60	84	87	114	275
8. 研究	757	790	859	884	910	1,039	1,068	1,078
情報通信産業合計	6,834	7,045	7,360	7,646	7,981	8,415	8,501	8,397

構成

単位:%

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	25.5	25.1	24.8	24.6	24.4	23.9	24.0	22.8
2. 放送業	5.7	5.8	5.7	5.6	5.6	5.6	5.7	5.8
3. 情報サービス業	12.2	13.1	14.0	15.2	17.2	18.7	19.5	19.6
4. 映像・音声・文字情報制作業	26.5	25.9	25.1	24.6	23.6	22.4	21.4	20.5
5. 情報通信関連製造業	12.9	12.7	12.5	12.2	11.3	10.6	10.3	10.0
6. 情報通信関連サービス業	5.3	5.3	5.4	5.4	5.4	5.3	5.2	5.2
7. 情報通信関連建設	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1	1.0	1.3	3.3
8. 研究	11.1	11.2	11.7	11.6	11.4	12.3	12.6	12.8
情報通信産業合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

伸び

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年
1. 通信業	100.0	101.4	104.9	107.8	111.9	115.3	117.2	109.6
2. 放送業	100.0	105.0	106.6	110.2	114.6	121.3	123.9	124.1
3. 情報サービス業	100.0	110.2	123.6	139.2	163.9	188.0	198.0	197.2
4. 映像・音声・文字情報制作業	100.0	100.8	102.0	103.9	104.0	104.1	100.2	95.2
5. 情報通信関連製造業	100.0	102.0	104.3	105.8	102.3	101.9	99.8	95.2
6. 情報通信関連サービス業	100.0	104.2	110.1	115.1	120.4	124.8	123.4	121.3
7. 情報通信関連建設	100.0	104.2	108.2	109.7	153.7	159.7	208.9	504.6
8. 研究	100.0	104.3	113.5	116.8	120.1	137.2	141.0	142.3
情報通信産業	100.0	103.1	107.7	111.9	116.8	123.1	124.4	122.9

14. 名目国内生産額の他産業との比較

(単位:10億円)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	20,866	20,369	21,448	18,708	17,123	17,834	16,775	17,049
電気機械 (除情報通信機器)	34,119	35,170	36,836	33,313	34,184	37,218	32,727	29,656
輸送機械	41,702	42,187	44,676	41,500	40,464	41,870	42,542	45,396
建設 (除電気通信施設建設)	87,632	89,236	89,896	84,677	81,432	80,420	77,415	74,111
卸売	66,194	67,889	72,265	69,292	64,324	61,743	60,638	60,402
小売	40,980	42,348	41,555	40,125	39,099	37,731	37,658	36,717
運輸	42,027	40,341	40,267	39,163	37,794	37,949	38,470	37,896
情報通信産業	79,224	85,287	90,848	93,742	93,088	97,131	97,380	92,506
全産業	923,911	944,936	970,542	945,348	927,383	941,271	930,197	914,435

名目国内生産額の比較(構成)

(単位:%)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	2.26	2.16	2.21	1.98	1.85	1.89	1.80	1.86
電気機械(除情報通信機器)	3.69	3.72	3.80	3.52	3.69	3.95	3.52	3.24
輸送機械	4.51	4.46	4.60	4.39	4.36	4.45	4.57	4.96
建設(除電気通信施設建設)	9.48	9.44	9.26	8.96	8.78	8.54	8.32	8.10
卸売	7.16	7.18	7.45	7.33	6.94	6.56	6.52	6.61
小売	4.44	4.48	4.28	4.24	4.22	4.01	4.05	4.02
運輸	4.55	4.27	4.15	4.14	4.08	4.03	4.14	4.14
情報通信産業	8.57	9.03	9.36	9.92	10.04	10.32	10.47	10.12
全産業	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

名目国内生産額の比較(指数)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	100.0	97.6	102.8	89.7	82.1	85.5	80.4	81.7
電気機械(除情報通信機器)	100.0	103.1	108.0	97.6	100.2	109.1	95.9	86.9
輸送機械	100.0	101.2	107.1	99.5	97.0	100.4	102.0	108.9
建設(除電気通信施設建設)	100.0	101.8	102.6	96.6	92.9	91.8	88.3	84.6
卸売	100.0	102.6	109.2	104.7	97.2	93.3	91.6	91.2
小売	100.0	103.3	101.4	97.9	95.4	92.1	91.9	89.6
運輸	100.0	96.0	95.8	93.2	89.9	90.3	91.5	90.2
情報通信産業	100.0	107.7	114.7	118.3	117.5	122.6	122.9	116.8
全産業	100.0	102.3	105.0	102.3	100.4	101.9	100.7	99.0

名目国内生産額成長率の比較

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	-2.4	5.3	-12.8	-8.5	4.2	-5.9	1.6	-2.8
電気機械(除情報通信機器)	3.1	4.7	-9.6	2.6	8.9	-12.1	-9.4	-2.0
輸送機械	1.2	5.9	-7.1	-2.5	3.5	1.6	6.7	1.2
建設(除電気通信施設建設)	1.8	0.7	-5.8	-3.8	-1.2	-3.7	-4.3	-2.4
卸売	2.6	6.4	-4.1	-7.2	-4.0	-1.8	-0.4	-1.3
小売	3.3	-1.9	-3.4	-2.6	-3.5	-0.2	-2.5	-1.6
運輸	-4.0	-0.2	-2.7	-3.5	0.4	1.4	-1.5	-1.5
情報通信産業	7.7	6.5	3.2	-0.7	4.3	0.3	-5.0	2.2
全産業成長率	2.3	2.7	-2.6	-1.9	1.5	-1.2	-1.7	-0.1

名目国内生産額寄与度の比較(全産業成長率への寄与度)

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	-0.1	0.1	-0.3	-0.2	0.1	-0.1	0.0	-0.1
電気機械(除情報通信機器)	0.1	0.2	-0.4	0.1	0.3	-0.5	-0.3	-0.1
輸送機械	0.1	0.3	-0.3	-0.1	0.2	0.1	0.3	0.1
建設(除電気通信施設建設)	0.2	0.1	-0.5	-0.3	-0.1	-0.3	-0.4	-0.2
卸売	0.2	0.5	-0.3	-0.5	-0.3	-0.1	-0.0	-0.1
小売	0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	-0.0	-0.1	-0.1
運輸	-0.2	-0.0	-0.1	-0.1	0.0	0.1	-0.1	-0.1
情報通信産業	0.7	0.6	0.3	-0.1	0.4	0.0	-0.5	0.2
全産業成長率	2.3	2.7	-2.6	-1.9	1.5	-1.2	-1.7	-0.1

15. 実質国内生産額の他産業との比較

(単位:10億円)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	20,866	20,884	21,400	19,052	18,278	19,088	18,417	18,427
電気機械 (除情報通信機器)	34,119	36,891	39,839	36,410	39,973	45,578	43,014	41,905
輸送機械	41,702	41,893	43,793	40,122	40,659	43,399	44,364	47,489
建設 (除電気通信施設建設)	87,632	88,975	88,065	84,533	82,756	81,498	79,247	76,766
卸売	66,194	68,652	72,613	70,727	66,808	64,517	64,265	65,138
小売	40,980	42,831	41,602	40,185	39,376	38,486	39,100	38,885
運輸	42,027	39,984	39,614	38,906	37,851	37,647	38,612	37,958
情報通信産業	79,224	88,722	97,502	103,849	106,630	115,013	119,327	116,070
全産業	923,870	949,606	968,491	953,383	954,099	976,418	975,378	969,402

実質国内生産額の比較(構成)

(単位:%)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	2.26	2.20	2.21	2.00	1.92	1.95	1.89	1.90
電気機械(除情報通信機器)	3.69	3.88	4.11	3.82	4.19	4.67	4.41	4.32
輸送機械	4.51	4.41	4.52	4.21	4.26	4.44	4.55	4.90
建設(除電気通信施設建設)	9.49	9.37	9.09	8.87	8.67	8.35	8.12	7.92
卸売	7.16	7.23	7.50	7.42	7.00	6.61	6.59	6.72
小売	4.44	4.51	4.30	4.21	4.13	3.94	4.01	4.01
運輸	4.55	4.21	4.09	4.08	3.97	3.86	3.96	3.92
情報通信産業	8.58	9.34	10.07	10.89	11.18	11.78	12.23	11.97
全産業	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

実質国内生産額の比較(指数)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	100.0	100.1	102.6	91.3	87.6	91.5	88.3	88.3
電気機械(除情報通信機器)	100.0	108.1	116.8	106.7	117.2	133.6	126.1	122.8
輸送機械	100.0	100.5	105.0	96.2	97.5	104.1	106.4	113.9
建設(除電気通信施設建設)	100.0	101.5	100.5	96.5	94.4	93.0	90.4	87.6
卸売	100.0	103.7	109.7	106.8	100.9	97.5	97.1	98.4
小売	100.0	104.5	101.5	98.1	96.1	93.9	95.4	94.9
運輸	100.0	95.1	94.3	92.6	90.1	89.6	91.9	90.3
情報通信産業	100.0	112.0	123.1	131.1	134.6	145.2	150.6	146.5
全産業	100.0	102.8	104.8	103.2	103.3	105.7	105.6	104.9

実質国内生産額成長率の比較

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	0.1	2.5	-11.0	-4.1	4.4	-3.5	0.1	-1.8
電気機械(除情報通信機器)	8.1	8.0	-8.6	9.8	14.0	-5.6	-2.6	3.0
輸送機械	0.5	4.5	-8.4	1.3	6.7	2.2	7.0	1.9
建設(除電気通信施設建設)	1.5	-1.0	-4.0	-2.1	-1.5	-2.8	-3.1	-1.9
卸売	3.7	5.8	-2.6	-5.5	-3.4	-0.4	1.4	-0.2
小売	4.5	-2.9	-3.4	-2.0	-2.3	1.6	-0.6	-0.7
運輸	-4.9	-0.9	-1.8	-2.7	-0.5	2.6	-1.7	-1.4
情報通信産業	12.0	9.9	6.5	2.7	7.9	3.8	-2.7	5.6
全産業成長率	2.8	2.0	-1.6	0.1	2.3	-0.1	-0.6	0.7

実質国内生産額寄与度の比較(全産業成長率への寄与度)

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	0.0	0.1	-0.2	-0.1	0.1	-0.1	0.0	-0.0
電気機械(除情報通信機器)	0.3	0.3	-0.4	0.4	0.6	-0.3	-0.1	0.1
輸送機械	0.0	0.2	-0.4	0.1	0.3	0.1	0.3	0.1
建設(除電気通信施設建設)	0.1	-0.1	-0.4	-0.2	-0.1	-0.2	-0.3	-0.2
卸売	0.3	0.4	-0.2	-0.4	-0.2	-0.0	0.1	-0.0
小売	0.2	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.0	-0.0
運輸	-0.2	-0.0	-0.1	-0.1	-0.0	0.1	-0.1	-0.1
情報通信産業	1.0	0.9	0.7	0.3	0.9	0.4	-0.3	0.6
全産業成長率	2.8	2.0	-1.6	0.1	2.3	-0.1	-0.6	0.7

16名目GDPの他産業との比較

(単位:10億円)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	6,041	5,907	6,117	4,916	4,719	5,067	4,816	4,653
電気機械(除情報通信機器)	15,516	15,899	16,651	15,479	15,994	17,093	13,584	12,703
輸送機械	10,918	11,513	11,387	12,054	12,027	11,491	11,804	13,574
建設(除電気通信施設建設)	40,470	40,632	40,895	39,235	37,836	37,166	35,603	33,730
卸売	46,647	47,509	51,173	49,495	45,556	43,547	42,812	42,667
小売	29,142	30,080	29,457	27,886	27,544	26,524	26,463	25,815
運輸	26,455	25,405	25,209	24,394	23,901	23,814	23,611	23,459
情報通信産業	37,812	40,878	43,129	45,453	44,886	46,261	45,947	43,777
全産業	496,922	509,984	520,937	514,595	507,224	511,462	505,847	498,102

名目GDPの比較(構成)

(単位:%)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	1.2	1.2	1.2	1.0	0.9	1.0	1.0	0.9
電気機械(除情報通信機器)	3.1	3.1	3.2	3.0	3.2	3.3	2.7	2.6
輸送機械	2.2	2.3	2.2	2.3	2.4	2.2	2.3	2.7
建設(除電気通信施設建設)	8.1	8.0	7.9	7.6	7.5	7.3	7.0	6.8
卸売	9.4	9.3	9.8	9.6	9.0	8.5	8.5	8.6
小売	5.9	5.9	5.7	5.4	5.4	5.2	5.2	5.2
運輸	5.3	5.0	4.8	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
情報通信産業	7.6	8.0	8.3	8.8	8.8	9.0	9.1	8.8
全産業	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

名目GDPの比較(指数)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	100.0	97.8	101.3	81.4	78.1	83.9	79.7	77.0
電気機械(除情報通信機器)	100.0	102.5	107.3	99.8	103.1	110.2	87.5	81.9
輸送機械	100.0	105.4	104.3	110.4	110.2	105.2	108.1	124.3
建設(除電気通信施設建設)	100.0	100.4	101.0	96.9	93.5	91.8	88.0	83.3
卸売	100.0	101.8	109.7	106.1	97.7	93.4	91.8	91.5
小売	100.0	103.2	101.1	95.7	94.5	91.0	90.8	88.6
運輸	100.0	96.0	95.3	92.2	90.3	90.0	89.2	88.7
情報通信産業	100.0	108.1	114.1	120.2	118.7	122.3	121.5	115.8
全産業成長率	100.0	102.6	104.8	103.6	102.1	102.9	101.8	100.2

名目GDP成長率の比較

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	00~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	-2.2	3.6	-19.6	-4.0	7.4	-5.0	-3.4	-3.7
電気機械(除情報通信機器)	2.5	4.7	-7.0	3.3	6.9	-20.5	-6.5	-2.8
輸送機械	5.4	-1.1	5.9	-0.2	-4.5	2.7	15.0	3.2
建設(除電気通信施設建設)	0.4	0.6	-4.1	-3.6	-1.8	-4.2	-5.3	-2.6
卸売	1.8	7.7	-3.3	-8.0	-4.4	-1.7	-0.3	-1.3
小売	3.2	-2.1	-5.3	-1.2	-3.7	-0.2	-2.4	-1.7
運輸	-4.0	-0.8	-3.2	-2.0	-0.4	-0.9	-0.6	-1.7
情報通信産業	8.1	5.5	5.4	-1.2	3.1	-0.7	-4.7	2.1
全産業成長率	2.6	2.1	-1.2	-1.4	0.8	-1.1	-1.5	0.0

名目GDP寄与度の比較(全産業成長率への寄与度)

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	-0.03	0.04	-0.23	-0.04	0.07	-0.05	-0.03	-0.04
電気機械(除情報通信機器)	0.08	0.15	-0.23	0.10	0.22	-0.69	-0.17	-0.08
輸送機械	0.12	-0.02	0.13	-0.01	-0.11	0.06	0.35	0.08
建設(除電気通信施設建設)	0.03	0.05	-0.32	-0.27	-0.13	-0.31	-0.37	-0.19
卸売	0.17	0.72	-0.32	-0.77	-0.40	-0.14	-0.03	-0.11
小売	0.19	-0.12	-0.30	-0.07	-0.20	-0.01	-0.13	-0.10
運輸	-0.21	-0.04	-0.16	-0.10	-0.02	-0.04	-0.03	-0.09
情報通信産業	0.62	0.44	0.45	-0.11	0.27	-0.06	-0.43	0.17
全産業成長率	2.63	2.15	-1.22	-1.43	0.84	-1.10	-1.53	0.0

17.実質GDPの他産業との比較

(単位:10億円)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	6,041	6,102	6,277	5,062	5,068	5,585	5,398	5,345
電気機械(除情報通信機器)	15,516	16,874	18,736	17,394	19,818	23,341	21,109	21,325
輸送機械	10,918	10,729	10,253	10,297	11,477	12,039	12,184	13,606
建設(除電気通信施設建設)	40,470	40,225	39,688	38,582	37,856	36,837	35,928	34,700
卸売	46,647	48,099	51,361	50,513	47,350	45,639	45,644	46,488
小売	29,142	30,478	29,508	27,864	27,604	27,059	27,614	27,614
運輸	26,455	25,293	24,884	23,825	23,344	23,493	23,182	23,183
情報通信産業	37,812	43,491	48,575	53,191	55,085	59,862	62,359	61,107
全産業	496,912	513,893	523,421	517,515	517,811	532,542	534,852	532,962

実質GDPの比較(構成)

(単位:%)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
電気機械(除情報通信機器)	3.1	3.3	3.6	3.4	3.8	4.4	3.9	4.0
輸送機械	2.2	2.1	2.0	2.0	2.2	2.3	2.3	2.6
建設(除電気通信施設建設)	8.1	7.8	7.6	7.5	7.3	6.9	6.7	6.5
卸売	9.4	9.4	9.8	9.8	9.1	8.6	8.5	8.7
小売	5.9	5.9	5.6	5.4	5.3	5.1	5.2	5.2
運輸	5.3	4.9	4.8	4.6	4.5	4.4	4.3	4.3
情報通信産業	7.6	8.5	9.3	10.3	10.6	11.2	11.7	11.5
全産業	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

実質GDPの比較(指数)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	100.0	101.0	103.9	83.8	83.9	92.4	89.4	88.5
電気機械(除情報通信機器)	100.0	108.8	120.8	112.1	127.7	150.4	136.0	137.4
輸送機械	100.0	98.3	93.9	94.3	105.1	110.3	111.6	124.6
建設(除電気通信施設建設)	100.0	99.4	98.1	95.3	93.5	91.0	88.8	85.7
卸売	100.0	103.1	110.1	108.3	101.5	97.8	97.8	99.7
小売	100.0	104.6	101.3	95.6	94.7	92.9	94.8	94.8
運輸	100.0	95.6	94.1	90.1	88.2	88.8	87.6	87.6
情報通信産業	100.0	115.0	128.5	140.7	145.7	158.3	164.9	161.6
全産業成長率	100.0	103.4	105.3	104.1	104.2	107.2	107.6	107.3

実質GDP成長率の比較

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	00~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	1.0	2.9	-19.4	0.1	10.2	-3.3	-1.0	-1.7
電気機械(除情報通信機器)	8.8	11.0	-7.2	13.9	17.8	-9.6	1.0	4.6
輸送機械	-1.7	-4.4	0.4	11.5	4.9	1.2	11.7	3.2
建設(除電気通信施設建設)	-0.6	-1.3	-2.8	-1.9	-2.7	-2.5	-3.4	-2.2
卸売	3.1	6.8	-1.7	-6.3	-3.6	0.0	1.8	-0.0
小売	4.6	-3.2	-5.6	-0.9	-2.0	2.1	-0.0	-0.8
運輸	-4.4	-1.6	-4.3	-2.0	0.6	-1.3	0.0	-1.9
情報通信産業	15.0	11.7	9.5	3.6	8.7	4.2	-2.0	7.1
全産業成長率	3.4	1.9	-1.1	0.1	2.8	0.4	-0.4	1.0

実質GDP寄与度の比較(全産業成長率への寄与度)

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~2000年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	0.01	0.03	-0.23	0.00	0.10	-0.04	-0.01	-0.02
電気機械(除情報通信機器)	0.27	0.36	-0.26	0.47	0.68	-0.42	0.04	0.16
輸送機械	-0.04	-0.09	0.01	0.23	0.11	0.03	0.27	0.07
建設(除電気通信施設建設)	-0.05	-0.10	-0.21	-0.14	-0.20	-0.17	-0.23	-0.16
卸売	0.29	0.63	-0.16	-0.61	-0.33	0.00	0.16	-0.00
小売	0.27	-0.19	-0.31	-0.05	-0.11	0.10	-0.00	-0.04
運輸	-0.23	-0.08	-0.20	-0.09	0.03	-0.06	0.00	-0.09
情報通信産業	1.14	0.99	0.88	0.37	0.92	0.47	-0.23	0.65
全産業成長率	3.42	1.85	-1.13	0.06	2.84	0.43	-0.35	1.0

18.雇用者数の他産業との比較

(単位:万人)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	37	36	37	33	29	27	27	25
電気機械(除情報通信機器)	174	181	175	167	168	170	172	163
輸送機械	112	108	109	115	113	104	97	96
建設(除電気通信施設建設)	539	545	556	541	536	530	511	496
卸売	396	393	380	382	378	369	364	346
小売	571	591	610	616	621	630	637	631
運輸	325	332	335	332	332	340	336	333
情報通信産業	368	373	377	392	393	383	379	364
全産業	5,263	5,323	5,391	5,368	5,331	5,356	5,369	5,331

雇用者数の比較(構成)

(単位:%)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	0.7	0.7	0.7	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5
電気機械(除情報通信機器)	3.3	3.4	3.3	3.1	3.2	3.2	3.2	3.1
輸送機械	2.1	2.0	2.0	2.1	2.1	1.9	1.8	1.8
建設(除電気通信施設建設)	10.2	10.2	10.3	10.1	10.0	9.9	9.5	9.3
卸売	7.5	7.4	7.0	7.1	7.1	6.9	6.8	6.5
小売	10.8	11.1	11.3	11.5	11.6	11.8	11.9	11.8
運輸	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.4	6.3	6.2
情報通信産業	7.0	7.0	7.0	7.3	7.4	7.2	7.1	6.8
全産業	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

雇用者数の比較(指数)

(単位:%)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	100.0	99.4	99.9	89.2	79.5	74.7	73.1	67.3
電気機械(除情報通信機器)	100.0	103.9	100.6	96.1	96.6	97.4	98.7	93.5
輸送機械	100.0	96.4	97.3	102.7	100.9	92.9	86.6	85.7
建設(除電気通信施設建設)	100.0	101.1	103.2	100.3	99.4	98.3	94.8	92.0
卸売	100.0	99.2	96.0	96.5	95.5	93.2	91.9	87.4
小売	100.0	103.5	106.8	107.9	108.8	110.3	111.6	110.5
運輸	100.0	102.1	103.2	102.1	102.1	104.8	103.3	102.5
情報通信産業	100.0	101.5	102.6	106.5	107.0	104.2	103.0	99.2
全産業	100.0	101.1	102.4	102.0	101.3	101.8	102.0	101.3

雇用者数成長率の比較

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~'00年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	-0.6	0.5	-10.7	-10.9	-6.0	-2.1	-8.0	-5.51
電気機械(除情報通信機器)	3.9	-3.2	-4.5	0.5	0.9	1.3	-5.3	-0.95
輸送機械	-3.6	0.9	5.5	-1.7	-8.0	-6.7	-1.0	-2.18
建設(除電気通信施設建設)	1.1	2.0	-2.8	-0.9	-1.1	-3.6	-2.9	-1.18
卸売	-0.8	-3.3	0.5	-1.0	-2.4	-1.4	-4.9	-1.91
小売	3.5	3.2	1.0	0.8	1.4	1.1	-0.9	1.44
運輸	2.1	1.0	-1.0	0.0	2.6	-1.4	-0.8	0.35
情報通信産業	1.5	1.1	3.8	0.5	-2.6	-1.1	-3.8	-0.12
全産業成長率	1.14	1.28	-0.43	-0.69	0.47	0.24	-0.71	0.18

雇用者数の比較(寄与度)

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~'00年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	-0.0	0.0	-0.1	-0.1	-0.0	-0.0	-0.0	-0.0
電気機械(除情報通信機器)	0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.0	-0.2	-0.0
輸送機械	-0.1	0.0	0.1	-0.0	-0.2	-0.1	-0.0	-0.0
建設(除電気通信施設建設)	0.1	0.2	-0.3	-0.1	-0.1	-0.4	-0.3	-0.1
卸売	-0.1	-0.2	0.0	-0.1	-0.2	-0.1	-0.3	-0.1
小売	0.4	0.4	0.1	0.1	0.2	0.1	-0.1	0.2
運輸	0.1	0.1	-0.1	0.0	0.2	-0.1	-0.0	0.0
情報通信産業	0.1	0.1	0.3	0.0	-0.2	-0.1	-0.3	-0.0
全産業成長率	1.14	1.28	-0.43	-0.69	0.47	0.24	-0.71	0.18

19.労働生産性の他産業との比較

(単位:万円/人)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	1,649	1,677	1,715	1,549	1,741	2,041	2,015	2,169
電気機械(除情報通信機器)	890	932	1,069	1,039	1,177	1,375	1,227	1,309
輸送機械	975	993	941	895	1,016	1,158	1,256	1,417
建設(除電気通信施設建設)	751	738	713	714	707	695	703	699
卸売	1,178	1,224	1,352	1,322	1,253	1,237	1,254	1,344
小売	510	516	484	452	445	430	434	438
運輸	814	762	742	718	703	690	690	696
情報通信産業	1,029	1,165	1,288	1,358	1,400	1,563	1,647	1,677
全産業	944	965	971	964	971	994	996	1,000

労働生産性(GDPベース)の比較(指数)

(単位:%)

	95年	96年	97年	98年	99年	2000年	2001年	2002年
鉄鋼	100.0	101.7	104.0	94.0	105.6	123.8	122.2	131.5
電気機械(除情報通信機器)	100.0	104.7	120.1	116.7	132.2	154.4	137.8	147.0
輸送機械	100.0	101.9	96.5	91.9	104.2	118.8	128.9	145.4
建設(除電気通信施設建設)	100.0	98.3	95.0	95.1	94.1	92.6	93.7	93.2
卸売	100.0	103.9	114.7	112.3	106.3	105.0	106.5	114.1
小売	100.0	101.0	94.8	88.6	87.1	84.2	84.9	85.7
運輸	100.0	93.6	91.2	88.2	86.4	84.8	84.8	85.5
情報通信産業	100.0	113.3	125.2	132.0	136.1	151.9	160.1	163.0
全産業	100.0	102.3	102.8	102.1	102.9	105.3	105.5	105.9

労働生産性(GDPベース)成長率の比較

(単位:%)

	95~96年	96~97年	97~98年	98~99年	99~'00年	00~'01年	01~'02年	95~'02年 (年平均)
鉄鋼	1.7	2.3	-9.7	12.4	17.3	-1.3	7.7	4.0
電気機械(除情報通信機器)	4.7	14.7	-2.8	13.3	16.8	-10.7	6.7	5.7
輸送機械	1.9	-5.3	-4.8	13.4	14.0	8.5	12.8	5.5
建設(除電気通信施設建設)	-1.7	-3.3	0.1	-1.0	-1.6	1.1	-0.5	-1.0
卸売	3.9	10.4	-2.2	-5.3	-1.3	1.4	7.1	1.9
小売	1.0	-6.2	-6.5	-1.7	-3.4	0.9	0.9	-2.2
運輸	-6.4	-2.6	-3.3	-2.0	-1.9	0.1	0.8	-2.2
情報通信産業	13.3	10.5	5.5	3.1	11.6	5.4	1.8	7.2
全産業	2.3	0.6	-0.7	0.8	2.4	0.2	0.4	0.8

20.DVDビデオ、薄型テレビの輸出額、数量、単価

品目	貿易統計 9桁コード	貿易統計 品名
DVDビデオ	8521.90-000	ビデオの記録用又は再生用の機器(ビデオチューナーを自蔵するかしないかを問わない。) (磁気テープ式以外のもの)
薄型テレビ (液晶テレビ、プラズマTV)	8528.12-190	カラーのテレビジョン受信機器(テレビジョン受信用陰極線管を自蔵するもの以外のもの) (放送用のもの)

DVDビデオの輸出額、数量、単価の推移

	2000				2001			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金額(千円)	17,996,661	24,857,258	26,177,133	21,491,924	14,973,814	11,846,707	18,140,241	15,162,503
数量(台)	704,393	1,012,600	1,065,158	873,338	613,680	494,121	785,681	578,250
単価(千円/台)	25.5	24.5	24.6	24.6	24.4	24.0	23.1	26.2
輸出金額指数	120	166	175	144	100	79	121	101
輸出数量指数	115	165	174	142	100	81	128	94
輸出単価指数	105	101	101	101	100	98	95	107

	2002				2003			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金額(千円)	9,729,763	9,762,599	15,314,346	17,289,649	9,208,943	13,968,578	18,274,808	14,671,405
数量(台)	346,202	308,567	432,184	434,849	204,536	298,131	464,477	317,668
単価(千円/台)	28.1	31.6	35.4	39.8	45.0	46.9	39.3	46.2
輸出金額指数	65	65	102	115	62	93	122	98
輸出数量指数	56	50	70	71	33	49	76	52
輸出単価指数	115	130	145	163	185	192	161	189

薄型テレビの輸出額、数量、単価の推移

	2000				2001			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金額(千円)	3,431,232	3,321,970	4,196,606	4,806,509	6,111,129	5,818,653	8,711,480	9,147,496
数量(台)	243,637	246,136	296,887	246,296	290,074	209,644	294,202	241,810
単価(千円/台)	14.1	13.5	14.1	19.5	21.1	27.8	29.6	37.8
輸出金額指数	56	54	69	79	100	95	143	150
輸出数量指数	84	85	102	85	100	72	101	83
輸出単価指数	67	64	67	93	100	132	141	180

	2002				2003			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金額(千円)	12,655,345	14,471,169	20,058,623	24,125,252	18,947,552	25,489,239	32,376,300	43,338,208
数量(台)	174,774	141,688	238,337	284,426	149,043	220,169	271,539	338,303
単価(千円/台)	72.4	102.1	84.2	84.8	127.1	115.8	119.2	128.1
輸出金額指数	207	237	328	395	310	417	530	709
輸出数量指数	60	49	82	98	51	76	94	117
輸出単価指数	344	485	399	403	603	550	566	608

21. デジタルカメラ、カーナビの輸出額、数量、単価

品目	貿易統計 9桁コード	貿易統計 品名
デジタルカメラ	8525.40-000	ステルビデオカメラその他のビデオカメラレコーダー及びデジタルカメラ
カーナビ	8526.91-900	航行用無線機器(方向探知機以外のもの)

デジタルカメラの輸出額、数量、単価の推移

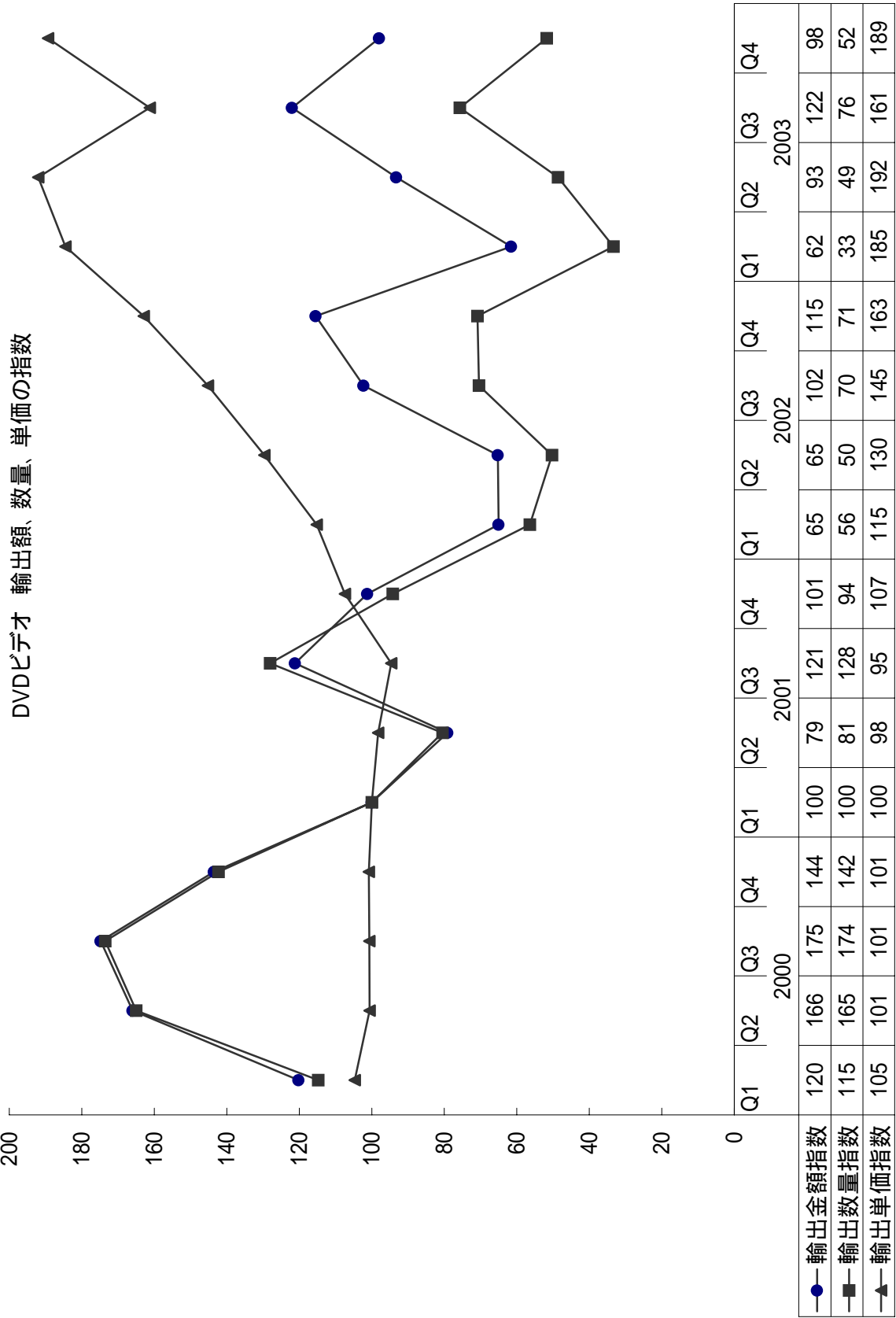
	2000				2001			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金額(千円)	125,399,503	178,836,974	199,803,838	223,746,319	142,888,744	202,657,427	197,858,605	211,907,491
数量(台)	2,862,109	4,021,320	4,453,154	4,829,299	3,033,620	4,209,528	4,254,477	4,876,830
単価(千円/台)	43.8	44.5	44.9	46.3	47.1	48.1	46.5	43.5
輸出金額指数	88	125	140	157	100	142	138	148
輸出数量指数	94	133	147	159	100	139	140	161
輸出単価指数	93	94	95	98	100	102	99	92

	2002				2003			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金額(千円)	175,391,123	246,753,651	246,454,484	295,036,659	202,253,970	297,584,924	278,243,492	327,025,022
数量(台)	3,847,710	5,695,508	5,899,381	7,878,680	6,124,888	8,314,353	8,388,508	10,702,182
単価(千円/台)	45.6	43.3	41.8	37.4	33.0	35.8	33.2	30.6
輸出金額指数	123	173	172	206	142	208	195	229
輸出数量指数	127	188	194	260	202	274	277	353
輸出単価指数	97	92	89	80	70	76	70	65

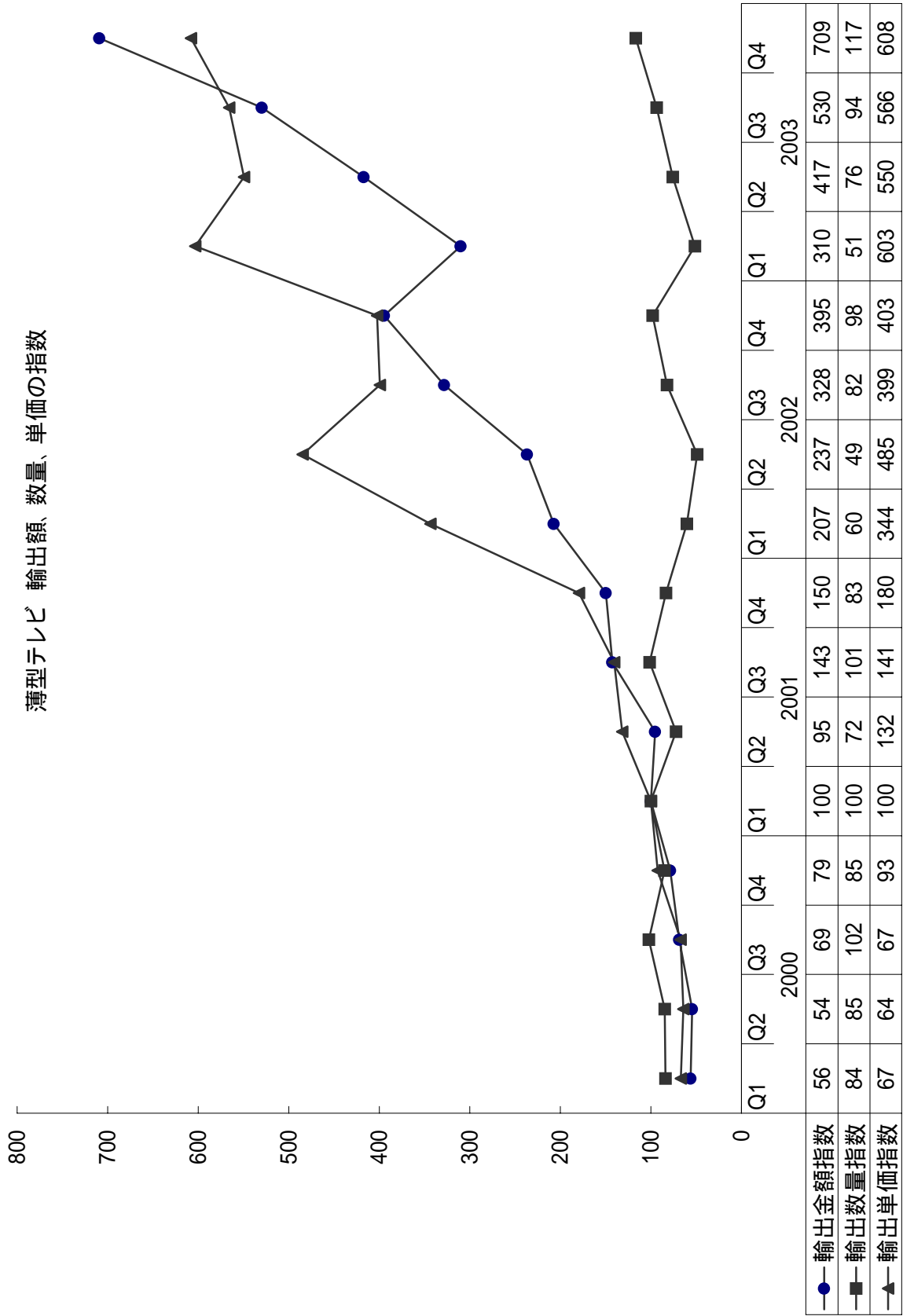
カーナビゲーションシステムの輸出額、数量、単価の推移

	2000				2001			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金額(千円)	4,021,751	4,730,314	4,855,974	3,328,734	3,329,424	4,523,407	4,625,663	5,164,169
数量(台)	222,192	269,872	286,505	176,549	178,633	236,793	228,500	254,588
単価(千円/台)	18.1	17.5	16.9	18.9	18.6	19.1	20.2	20.3
輸出金額指数	121	142	146	100	100	136	139	155
輸出数量指数	124	151	160	99	100	133	128	143
輸出単価指数	97	94	91	101	100	102	109	109

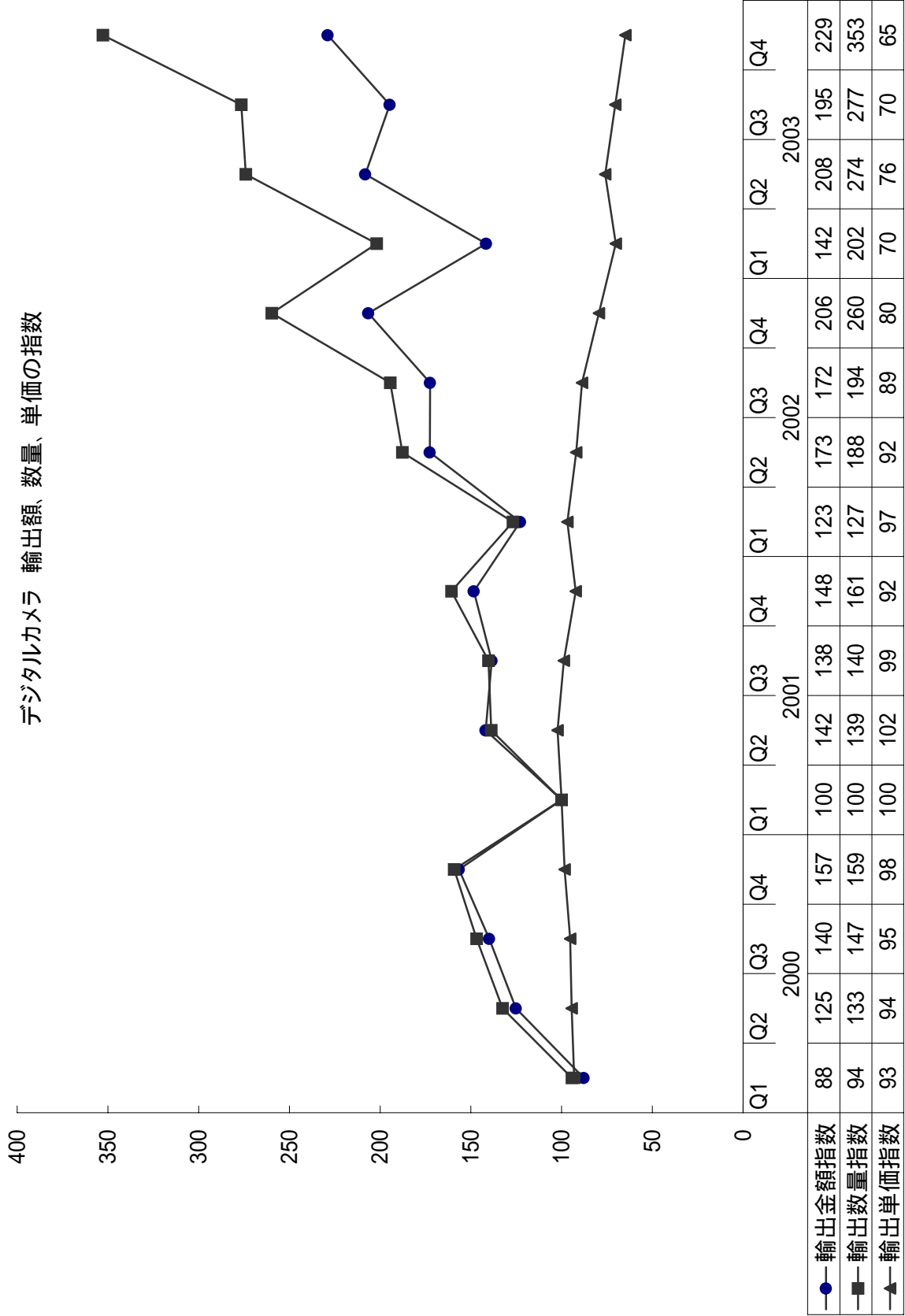
	2002				2003			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
金額(千円)	4,914,219	5,466,011	5,831,515	6,338,940	7,006,025	11,516,656	12,748,018	9,415,970
数量(台)	233,016	242,763	244,018	248,592	269,661	435,595	514,569	364,807
単価(千円/台)	21.1	22.5	23.9	25.5	26.0	26.4	24.8	25.8
輸出金額指数	148	164	175	190	210	346	383	283
輸出数量指数	130	136	137	139	151	244	288	204
輸出単価指数	113	121	128	137	139	142	133	138



薄型テレビ 輸出額、数量、単価の指数



デジタルカメラ 輸出額、数量、単価の指数



カーナビ 輸出額、数量、単価の指数

